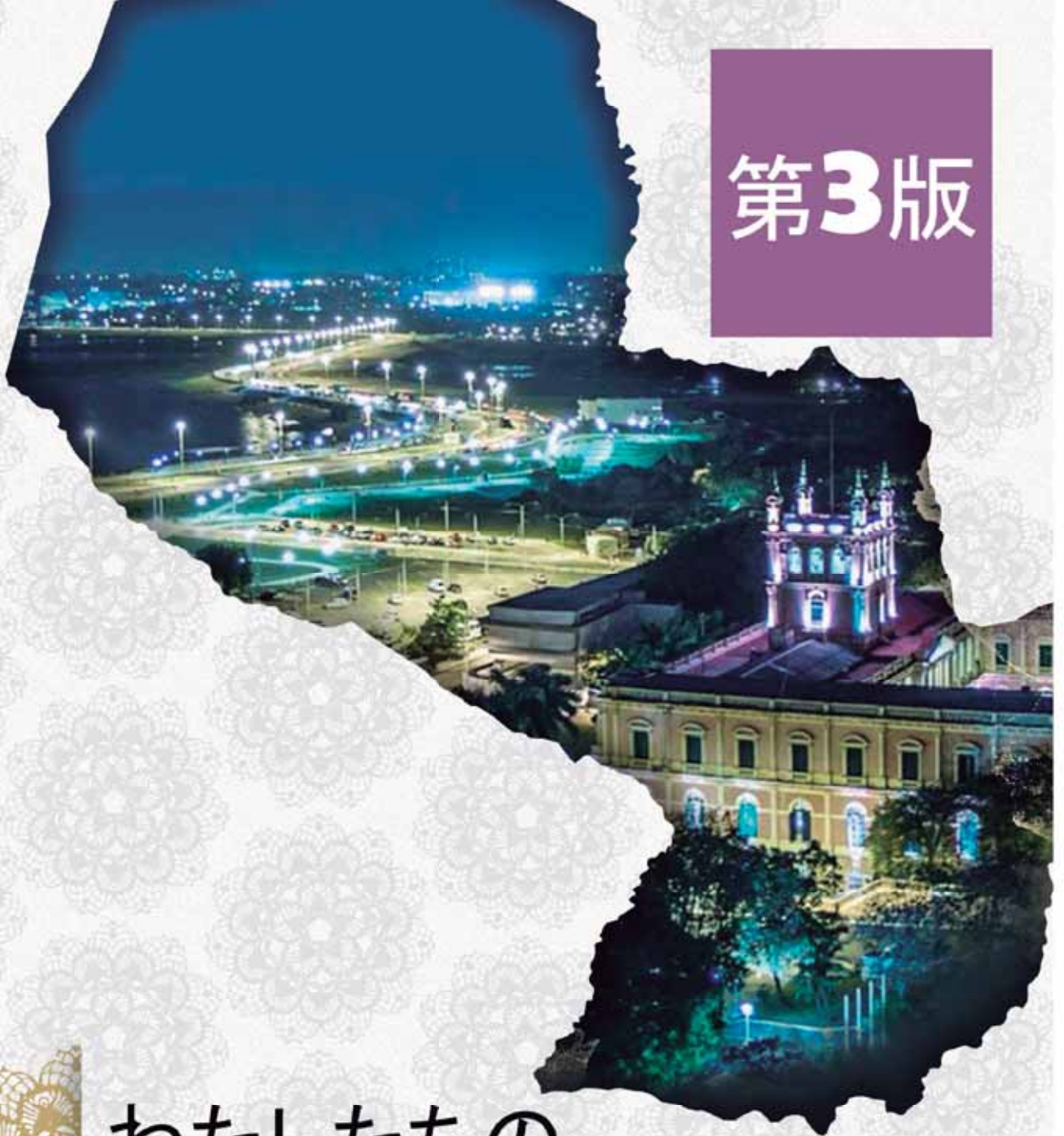


第3版



わたしたちの
パラグアイ



アスンシオン日本人学校



第**3**版

『わたしたちの パラグアイ』



小学 **3** ・ **4** 年向け
社会科副読本および
現地理解資料



は じ め に

アスンシオン日本人学校の教職員が、力を合わせて『わたしたちのパラグアイ 第3版』を完成させました。

アスンシオン日本人学校では、過去に4冊の社会科副読本が発行されました。『パラグアイ』『アスンシオンに生きる』『わたしたちのパラグアイ』『わたしたちのパラグアイ 第2版』これらに続いて、今回は全ページカラー写真の副読本です。

令和2年度(2020年度)から小学校の新学習指導要領がスタートします。その趣旨に沿いつつ、過去の副読本の良さも生かしながら、現在のパラグアイの状況に合うように改訂しました。

前の版と同様に、この副読本は第1部と第2部に分かれています。第1部は小学3・4年生が社会科で学ぶ内容を、アスンシオンやパラグアイにあてはめて編集しています。

第2部は、小学5年生以上の児童や中学生の生徒の皆さんを対象にして、私たちが暮らすパラグアイについて理解を深められるようにまとめました。

そして、今回の改訂で意識をしたのは、この副読本をアスンシオン日本人学校の子どもたちだけが使うのではなく、パラグアイ国内にある日本語学校の子どもたちも使える教材にする、ということです。日本語学校の子どもたちが日本語でパラグアイについて学ぶ。このことは、パラグアイへの理解を深めるだけでなく、日本や日本語の理解を深めることにもなる、と私たちは考えました。

この本での学びを通して、多くの皆さんがパラグアイと日本の両国を大切に思う気持ちが高まり、両国がさらに深い絆で結ばれていくことを願っています。

2020年3月

アスンシオン日本人学校長

加藤 雅亮



しがいち
飛行機から見た新市街地



2019 年 12 月撮影 日本人学校は青色の円の中

2013 年撮影



■ 6年ほどで学校周辺はどのように変化したのでしょうか。

左ページの写真の上下を見比べてみましょう。

■ 街で見かける看板など（それぞれどんな意味があるのでしょうか？）



■ パラグアイの人々



アルパを弾く人

©2019 Kado Madoka



アオポイの生地を織る人

©2019 Kado Madoka



ダンスを踊る人たち



ニヤンドウティのお店の人

©2019 Kado Madoka



募金を集める消防士

©2019 Kado Madoka



インディヘナの子どもたち

©2019 Kado

■ アスンシオン市にあるもの



国立美術館



ロマ・サン・ヘロニモの階段



セントロにある郵便局の私書箱



新市街地のビル



市電が走っていた名残のレール



ランパレの丘に立つ像

■ アスンシオン市の近くにあるもの

イカパライ湖畔^{こはん}（アレグア）



南米サッカー連盟本部^{れんめい}（ルケ）



教会（アレグア）



シルピオ・ペッティロッシ^{こくさい}国際空港（ルケ）



セロ・コイの柱状節理^{ちゅうじょうせつり}（アレグア）



道路沿いに並ぶイチゴの出店^{も なら}（アレグア）



■ アスンシオン市から遠いところにあるもの

世界遺産トリニダー遺跡



イタイプダム



エンカルナシオンのコスタネラ



モンダウの滝



チャコ地方の木 パロ・ボラチョ



セロ・ペロ

©2019 Kado Madoka



©2019 Kado Madoka

わたしたちのパラグアイ もくじ

第1部

わたしたちのくらすアスンシオン

1 わたしのまち みんなのまち	16
1 学校のまわり	18
2 アスンシオン市の様子	22
2 はたらく人とわたしたちのくらし	32
1 スーパーマーケットではたらく人	34
2 農家の仕事	40
3 くらしを守る	44
1 火事からくらしを守る	46
2 事故や事件からくらしを守る	52
4 す住みよいくらしをつくる	56
1 水はどこから	58
2 ごみのしやりと利用	62
5 のこしたいもの つたえたいもの	68
1 パラグアイの日本人移住地の歴史	70
2 アスンシオン日本人学校につたわるねがい	74





ASUNCIÓN パラグアイ共和国について学ぼう

第2部

1 国土と自然

- 1 国土 80
- 2 気候 82
- 3 代表的な植物・鳥・動物 83

2 パラグアイの歴史

- 1 先住民の時代 86
- 2 探検の時代 87
- 3 植民地時代 88
- 4 独立から現代まで 90

3 パラグアイの人々の暮らし

- 1 一日の生活 94
- 2 パラグアイ料理 95
- 3 パラグアイの飲み物 98
- 4 人々の服装 99
- 5 人々の住まい 100
- 6 スポーツ 101
- 7 音楽 102
- 8 祝いごと 104
- 9 宗教 105
- 10 あいさつ 105
- 11 言語 106
- 12 国旗と国歌 107
- 13 祝日 108
- 14 インディヘナの人々 110
- 15 パラグアイの学校 112

4 産業と経済

- 1 パラグアイのおもな産業 120
- 2 交通網 122
- 3 伝統工芸 124

5 政治

6 パラグアイの国際関係

7 日本とのつながり

- 1 パラグアイへの移住の歴史 132
- 2 移住地探訪 136
- 3 一世の皆さんをたずねて 140
- 4 活躍する日系人の皆さん 144
- 5 日本とパラグアイの経済・文化交流 146
- 6 パラグアイにある日本の機関 151
- 参考資料 154
- 協力機関名・協力者名 156
- 執筆者および担当か所 156



第1部

わたしたちのくらすアシンシオン





小学3・4年向け 社会科副読本



1

わたしのまち みんなのまち



アスンシオンにはどんな場所があるのだろう。



学校の近くのことならたくさん知っていることがあるよ。

ぼくたちが住んでいるまちは、どんな所なんだろう。





めあて

わたしたちのまちはどの
ような様子なのでしょうか。



1

学校のまわり



学校のまわり
をたんけんしよ
う。

どんな場所が
見つかるでしょ
うか。

計画を立てよう

学校のまわりには、ふしぎがいっぱい。みんなは学
校のまわりにどんな場所ばしょがあるか知っているかな。さ
あ、地図を持ってふしぎ発見はっけんに出かけよう。

たんけんするときの約束やくそく……

- ・先生の言うことをしっかりと聞く（ふざけない）。
- ・車やまわりの安全あんぜんに気をつける。
- ・気づいたこと、わかったこと、ふしぎに思った
ことがあったらすぐにメモする。

持ちもの

- ・白地図はくちず・メモ・筆記用具ひっきようぐ・カメラ







■ たんけんに出かけよう

じっさいにまちに出かけて、写真の場所をさがしてみよう。見つけれたらチェックをしたり、場所の名前を書きこんだりしよう。

■ たんけんで調べてくること

- 建物の様子 ➡ ・大きさ・数 ・集まり方
 道の様子 ➡ ・広さ ・車の量
 土地の様子や使われ方 ➡ ・畑 ・空き地 ・公園など
 そのほか ➡ ・新しく変わっているところ

学校の近くの公園



()



()



()

気づいたこと・わかったこと

お店やスーパーマーケット



()



()



()



()

はくぶつかん こうきょう
博物館や公共しせつ



()



()



()



()



2

アスンシオン市の様子



アスンシオン市には、どんなふしぎやひみつがあるのでしょうか。

まなびのポイント

通学路や家の近くにあるお気に入りの場所をしょうかいしよう。

■ アスンシオンはどんなまち

学校のまわりのほかにも、アスンシオン市にはいろいろな場所があります。みなさんは、どんな場所に行ったことがありますか。家の近くにあるお気に入りの場所や、これまで行ったことのある場所をしょうかいしましょう。

お気に入りの場所をしょうかいするための絵地図をつくろう。



絵地図

ほうい
方位や目じるし、道の様子などを絵でかいた地図を、絵地図といいます。

たいよう 太陽のふしぎ

日本では太陽は東からのぼり、南でてっぺんについたあと、西にしずんでいきます。パラグアイでも同じでしょうか。調べてみましょう。

■ アスンシオン市の様子を調べよう

それぞれ調べたい場所を決めて、いろいろな方法で調べてみましょう。どのような方法で、どんな場所を調べたらいいでしょうか。

調べる場所

- ・市内で一番にぎやかなところ。
- ・高い建物が多いところ。
- ・緑が多いところ。

調べること

- ・土地の様子や使われ方。
- ・どんな建物があるか。どんな人がいるか。
- ・わたしたちの学校のまわりにはないふしぎやひみつ。

調べ方

- ・様子がわかる写真や地図をさがす。
- ・調べる場所に住んでいる人や行ったことのある人に聞く。
- ・じっさいに行ってみる。



たてもの あつ
■ 建物が集まるにぎやかなところ

セントロ地区 (Centro)

セントロにはパラグアイの国の大切な建物がたくさんあります。国のれきしを学べる博物館や、にぎやかなお店がならんでいます。さあ、たんけんしてみましょう。



博物館

しぜん ぶんか
自然や文化、れきし
などについてのしりょ
うを集めて人々に見せ
るしせつ。



A. 国立英^{えい}ゆ^{きねん}う記念堂（れいびよう）

セントロの中心地の英^{えい}ゆ^{きねん}う広場にあり、国の英^{えい}ゆ^{きねん}うたちがまつられています。
初^{しょ}代^{だい}大^{だい}とうりょうのカルロス・アントニオ・ロペス、2代大^{だい}とうりょうフランシスコ・ソラーノ・ロペス、3代大^{だい}とうりょうシリロ・アントニオ・リバロラがここにねむっています。



B. どく立^{りつ}の家^{はくぶ}記念博物館^{かん}

1811年5月、ペドロ・フアン・カバリエロがこの家でスペインからのどく立^{りつ}をせん言^{げん}しました。

どく立とは？

りょう土^ど（土地）、
国民^す（住んでいる人）、
主^{しゅ}けん（国のことを決めるけんり）がそ
ろっており、ほかの
国からそのことがみ
とめられること。



C. 大とうりょうふ

19世紀の後半に、2代大とうりょう^{せいぎ}フランシスコ・ソラーノ・ロペスの家として建てられました。今は、外国のよう人をむかえたり、ぎ式^{ぎしき}を行ったりする場所^{ばしょ}になっています。



D. 国会ぎじどう

左の建物^{たてもの}は古い国会ぎじどう。右は2003年6月に完成^{かんせい}した新しいものです。この二つは近くにあります。



E. カテドラル（大せいどう）

バロック様式の祭だんがあります。ちょうこくはパラグアイに昔からくらしていた先住民であるグアラニー族と、スペイン人のきょうぞんを表しています。



F. コスタネラ

パラグアイ川の川ぞいのコスタネラ大通りは、2012年ごろから遊歩道や人工ビーチの開発が進んでいます。週末にはたくさんの市民がおとずれる人気のスポットです。



G. パルマ通り

「パルマ (Palma)」とはヤシの木という意味です。パラグアイの国旗にヤシの葉が使われていることから、通りの名前になっています。昔はメインストリートとしてにぎわっていました。今でも歩道にはたくさんのお店が出ています。



H. 鉄道博物館

南米で最も古い機関車の駅。まきをねん料にして走っていました。以前はエンカルナシオンまで走っていましたが、1990年代に使われなくなりました。駅の中は博物館になっており、昔の駅の様子を知ることができたり、機関車をさわったり、乗ったりすることができます。



新市街（ショッピング・デル・ソルのまわり）

かつてはセントロ地区がアスンシオンの一番の中心地でしたが、近年では市の東側に大きなショッピングモールができ、新しくオフィスやマンションが立ちならぶようになりました。そのえいきょうで、多くの人がそちらに出かけるようになってきています。ショッピングモールのまわりにはどんなものがあるでしょうか。



緑の多いところ

様々な公園

IPS（社会保険病院）のとなりにあるサルー公園（Parque de la salud）や、サイクリングコースもあるニュー・グアス公園（Parque Ñu Guasú）には緑が多く、たくさんの人が集まり、市民の健康づくりに役立っています。



ハルディン・ボタニコ (Jardín Botánico)

市内で一番大きな公園です。動物園^{どうぶつえん}や博物館^{はくぶつかん}、サッカー場やゴルフ場があります。公園内にはとても大きな木があるなど、めずらしい植物^{しょくぶつ}がたくさんあります。出かけて行って写真^{しゃしん}をとったり、絵をスケッチしてみたりしましょう。



気づいたこと・わかったこと





2

はたらく人とわたしたちの暮らし



大きなスーパーマーケットでは、働^{はたら}いている人がたくさんいるね。



やさい野菜をつくっている人も知っているよ。

働いている人は、どのようなことをしているのだろう。





めあて

わたしたちのまちで働く人の
仕事の様子や、仕事とわたしたち
たちの生活とのつながりを調
べてみましょう。





1

スーパーマーケットではたらく人



スーパーマーケットの人から話を聞こう。

わたしたちがよく利用しているスーパーマーケットでは、たくさんの人が^{はたら}働いています。お店の中には、買い物に来たお客^{きやく}さんもたくさんいます。スーパーマーケットが、どのようにしてたくさんのお客さんに買い物に来てもらえるようにくふうしているのかを調べてみましょう。



■ 買う人になって考えよう

買い物のしかたについてくわしく調べるために、家の人に聞いてみましょう。

どんなことに気をつけて品物を選びますか。

()
()
()

お店にもっとこうしてほしいというねがいはありませんか。

()

家の人、いろいろなねがいをもって、買い物をしているということがわかりました。

スーパーマーケットでは、買う人のねがいに合わせて、どのようなくふうがあるか、見学したり、お店の人にインタビューしたりしてみましょう。

海のない国のおいしいお魚

スーパーで売っている魚にはどんなものがあるでしょうか。

ドラド (Dorado)、スルビ (Surubí)、ティラピア (Tilapia) と聞いて、どの魚のことかわかりますか。ドラドは名前のとおり金色の魚で、英語ではリバータイガーといいます。スルビはナマズのような大きな魚です。ティラピアは白身がおいしい魚で、あちこちで養殖されています。これらはすべて川でとれる魚です。魚をとりすぎないようにきん漁期間 (魚をとってはいけない期間) があります。



パラグアイのスーパー
は、^{はか}量り売りが多い！

パラグアイのスーパー
は日本とちがい、^{やさい}野菜や
肉、そうざいなどを買う
ときは、^{おも}重さによる量り
売りが多いです。

■ お店の人になって考えよう

みなでお店の中を見学しました。お店の人の
^{あんない}案内で、売り場のおくにあるドアの中にも入って
みました。売り場でも、ドアの向こうでも、たく
さんの人が働いていました。
^{はたら}

お店の人にインタビューしてみました。



^{しなもの}品物をならべるホルへさんの話

わたしは、売り場の^{しなもの}品物を見回って、少
なくなった品物を^た足したり、お客さんが買
うときにほしいものがすぐに見つかったり
するようにならべたりしています。



量り売りコーナー



肉売りのラモンさんの話

わたしの仕事は、お客さんの注文^{ちゅうもん}にすぐにこたえられるように、肉がきたら受け取^うって切り分け、しゅるいごとにカウンターに出すことです。牛肉は15しゅるいくらいおいてあります。いつも新せんな肉を出すことに気をつけています。

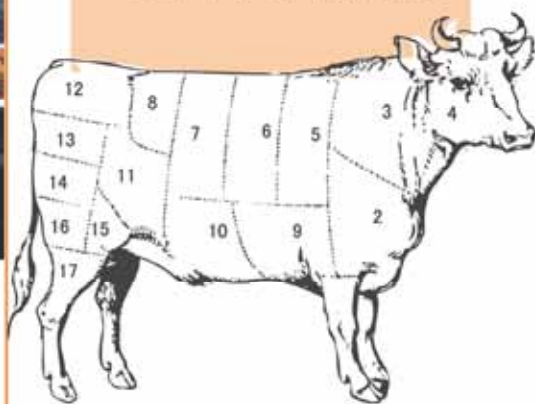
ぎゅうにく
牛肉にはいろいろな
ぶい
部位がある！

スーパーにおいてある肉にはいろいろな大きさや形のものがありますね。たとえば牛肉では、あばら肉（Costillas）や牛タン（Lengua）など、牛の体のあちこちの部位から切り分けたかたまりを売っています。みなさんが知っている牛肉の部位にはどのようなものがあるかな。



そうざい売りのファンさんの話

わたしはおそうざいをつくって売っています。お客さんがほしいものを選び、すぐ^{えら}に取れるようにならべています。えい生面^{せいめん}や、いつも温かい^{あた}おそうざいを出せるように気をつけています。





ちゅう車場は大切！

多くの人が車を^{うんでん}運転するパラグアイでは、スーパーにちゅう車場があるかどうかがとても重要^{じゅうよう}です。

しょうがいのある人や、にんぷの人（おなかに赤ちゃんのいる女の人）がせん用^{つか}に使えるちゅう車場も用意されています。



パン売り場のカロリーナさんの話

パンはお店でつくっています。2cm くらいの小さなパンから、フランスパンのような大きなパンがあります。カウンターにいて大事^{だいじ}にしていることは、お客^{きゃく}さんにあいさつをすることと笑顔^{えがお}でいることです。また、買ってくれた人にいつもかんしゃの気持ちをもつようにしています。



レジで働く^{はたら}マリエラさんの話

わたしはレジで会計をする仕事^{しごと}をしています。お客さんが気持ちよくレジで会計できるように、どのお客さんに対してもていねいに話すことを心がけています。そして、どんなときでも冷静^{れいせい}でいるようにしています。



店長のセルヒオさんの話

このお店では、およそ150人の人が働いています。お客さんがほしいものを気持ちよく買えるように、みんなでくふうしています。店長の私も、よい品物をいつも用意するようにしています。

せん伝^{でん}もとても大切です。大きなかんぱんで店の場所^{ばしょ}がすぐわかるようにしたり、テレビで放送^{ほうそう}したり、チラシをつくって近所^{きんじょ}の家に配^{くば}ったりします。

■たくさんのお客さんが来るひみつをさぐろう

見学をしている間にも、お客さんがやってきます。そこで、お客さんにもインタビューを試みました。すると、このスーパーを選^{えら}んだ理由^{りゆう}としては、「家や仕事場から近い」「品物が安い」という答えが多くありました。



車で売りに来る店

- ・西島ミリ安さんのパン屋さんが、学校や大使館^{たいしかん}などに車でパンを売りに来てくれます。ケーキやとうふ、お米なども売っています。
- ・お客さんのほうから買いに行かなくてもすむので、とても便利です。

日本食料品店「さくら」^{しよくりょうひんてん}

- ・いろいろなしゅるいの日本食がおいであります。日本やブラジルから多く品物を持ってきました。
- ・パラグアイ人に対しても、日本料理のつくり方を教えてくれます。

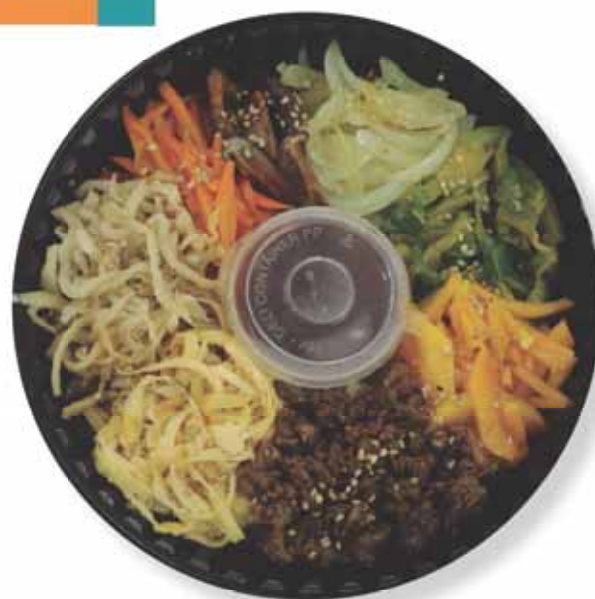




2

のうかしごと 農家の仕事

農家の人は、ど
のような思いで野
菜づくりをしてい
るのだろう。



学校で注文^{ちゅうもん}して食べているおべんとうの中には、
たくさんの野菜^{やさい}が入っています。この野菜は
どこで、どのようにつくられているのでしょう。
しら^{しら}調べることにしました。



調べるめあてをつかもう

- ・知りたいこと、ふしぎに思ったことを、みんなで出し合おう。
- ・出し合ったぎもんをもとに、何を調べたらよいか、話し合おう。
- ・調べることを仲間分けして、ノートに書き出そう。



農家の一日 野菜づくりの様子

野菜農家の林さんの一日は夜明け前からはじまります。毎日の仕事は朝の6時半からはじまり、お昼の休けいをはさんで、夕方5時まで野菜の世話をしています。

毎日の仕事は、おもに「水やり」「しゅうかく」「出荷」です。とても広い畑の世話を、林さんと手伝いの人の二人で、手さぎょうで行っているため、とても時間がかかります。その分、あいじょうこめてつくられた野菜はとても大きく立派です。

野菜はどこから？

わたしたちがパラグアイで食べている野菜は、どこからやってきているものが多いのでしょうか。調べてみましょう。



パラグアイの主食

パラグアイ人の主食の一つに、マンディオカがあげられます。日本ではキャッサバとよばれており、日本で人気のタピオカの原料でもあります。



おいしい野菜のひみつをさぐろう

おべんとうに入っている野菜は、農家の林さんという方がつくっています。おいしい野菜をつくるためにくふうしていることや、苦労されていることをたずねてみました。

農家の林さんの話

パラグアイでは、冬でも気温が夏のように高かったり、急げきに気温が変わったりすることが多くあります。白菜や大根などの冬野菜をつくる時には寒いほうがいいのでこまります。その分、冬の時期でも、なすやトマトなどの夏野菜をつくるのは好都合です。急に寒くなった時には、野菜のそばで炭をたいてほ温するなどのくふうもしています。

葉野菜は、虫や鳥が食べてしまうので、ネットをはって野菜を守っています。



野菜はどこへ

林さんがつくった野菜は、アスンシオンのアバ
スト市場という大きな市場や、親せきの方がひら
いているおべんとう屋さんに出荷されています。
おべんとう屋さんでは、林さんの野菜を使っつかて毎
日様々さまざまなおかずをつくり、アスンシオンでくらす
人たちにとどけています。

アバスト市場

アスンシオン市の中央
ちゅうおう
卸売市場。野菜や果物、
おろしうりいちば
肉など、様々なものが売
られています。



気づいたこと・わかったこと



アスンシオンの火事



事故を起こした車

3 まも くらしを守る

■わたしたちのくらしを守るために

みなさんは、災害や事故・事件について、考えたことがありますか。
ここでは、くらしの安全について、考えてみよう。

アスンシオン市はどれくらい安全な場所
なのかな。



救急車がサイレンを鳴らしながら、
走っていくのを見たことがあるよ。



どんな人たちが、くらしを守るために
働いているのかな。



日本人学校のひなん訓練（地震）



日本人学校のひなん訓練（火事）



■上二つの写真では、いったい何を^{しやせん}しているのかな？

■左上の写真では、どうして、つくえの足をつかんでいるのかな。

■右上の写真で、女の子が持^もっているのは、何かな。学校のどこにあるか、どうやって使^{つか}うのか、わかりますか。

めあて

わたしたちのくらしを守るために、アスンションでは、どのような人たちが、どのように働いているのでしょうか。

1

かじ まも 火事からくらしを守る



火事の様子



アスンシオンの消防自動車



アスンシオン市内では、火事がどれくらい起きているのでしょうか。そのげんいんについて話し合おう。

調べるめあてをつかみ、何を調べるか決めよう。

- 知りたいこと、ふしぎに思ったことを、みんなで出し合おう。(火事のげんいんや数、火を消すしくみ、働く人など)
- 出し合った意見をもとに、何を調べたら良いか決めよう。

みなさんは、火事を見たことがありますか。もし、自分の家や学校で火事が起こったら、どうしたらよいのでしょうか。そして、どんな人がかけつけてしょうかつどう消火活動をするのでしょうか。また、家や学校のまわりにはどんな消火のための道具があるのでしょうか。わたしたちが気をつけたらよいことについて学習しましょう。

火事が起きたら、だれがどのようにして、まちの安全を守るのでしょうか。消防しせつをたずねて、調べてみよう。



消防団員の人を使うヘルメット



アスンシオンの消防しせつのマーク



消防自動車

上の写真は、アスンシオン市内の Plaza de las Américas の角にある消防しせつです。Estación Plaza de las Américas という名前、Cuerpo de Bomberos Voluntarios de Asunción (CBVA) という組織の消防しせつです。

名前の中に「Voluntarios」とあるように、消防しせつで働く人の多くは、ふだんはそれぞれが別な仕事をしていて、時間を合わせてボランティアで活動をしています。日本でいう、地いきの人々が参加してつくる消防団と同じような働きになります。



用語

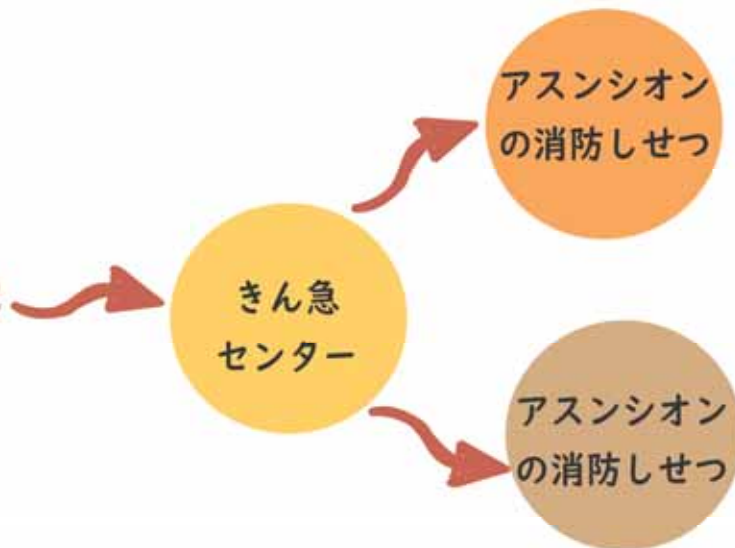
■ Voluntarios (ボランティア)

日本語でも使われる「ボランティア」と同じで、自主的に活動することです。

■ 132 番のしくみ



132 番のしくみ



まちで見かける 132 のサイン



ゲート校の外かべにある消火せん

■ 火事が起きたら 132 に電話！

日本では火事が起きたら 119 番に電話ですね。

パラグアイでは 132 番です。ちがいますよ！

132 番にかけると、きん急センターにつながります。そこから、近くの消防しせつに、無線でれんらくが入ります。れんらくが入ると、消防士や、消防団員（ボンベロス）は急いで防火服を着て、消防車に乗って出かけます。火事発生から 3 分たつと火が大きくなり、5 分たつとばく発することがあるため、できるだけ早く出動します。タンク車は 1500L の水がつめますが、足りない場合は、もう一台消防車をよびます。

消火せんがある場所では、消火せんにはホースをセットして消火を行います。消火せんは、人がたくさん集まるショッピングセンターや、スーパー、ホテルやマンションに取り付けられています。学校の近くではどこに、どんな形の消火せんがあるか、さがしてみましよう。

■ 消防しせつ

アスンシオンには、市が運^{うん}えいする CBVA と、国が運^{うん}えいする CBVP の2しゅるいの消防しせつがあります。

道に立ってば金集めをしているボンベロスさんをよく見かけます。集めたお金は、救^{きゅうじょ}助に使う道^{どうぐ}具をしゅう理したり、新しく買ったりするために使うそうです。

■ 消防車や防火服

アスンシオンで使われている消防車はきふでいた
だいたものなので、外国せいです。イギリスせい
や日本せいの消防車は、右ハンドルです。はしご
は 30m までのびます。消防士が着る服は、「防火服」
という熱^{ねつ}に強い服で、かわいていれば 8 ~ 9kg で
すが、消火の時に水にぬれると、2 倍の重^{おも}さになり
ます。ヘルメットや長ぐつは、重い物が落^おちてもた
えられるようなそ材^{ざい}でできています。



市の消防しせつのマーク



国の消防しせつのマーク



防火服



■ 救助の道具



消防士さんが救助の道具を見せてくれました

災害の時にはいろいろな道具を使います。道具のおかげで、かんたんに人を持ち上げたり、鉄の板を切ったりすることができます。

左の写真の道具は、交通事故で車の中にとじこめられた人を助ける時に使うのだそうです。これらの道具も、消防車や防火服と同じく、外国からのきふで手に入れたものを大事に使っているそうです。

用語

ヌエバイタリア

ヌエバイタリアは、アスンシオンから車で1時間、バスだと2時間はなれた場所にある町です。

岩本さんたちは、そこで消防団員として活動をされています

■ 日系の岩本さんと同じ消防団の方たち

アスンシオンこう外のヌエバイタリアの消防団で活動している日系の岩本さんとその仲間の方にインタビューをして、消防団の活動と仕事のやりがいについて聞きました。



わたしは、大学生です。日本料理のレストラン、デリシアスハポネサスで働きながら消防活動をしています。自分たちのまちを守れるのがうれしいです。万が一、災害が起こった時のために、仲間と一っしょに消防の勉強や訓練をがんばっています。



岩本さん

また、岩本さんといっしょに消防活動をしている
仲間の方からも、話を聞くことができました。

カルロスさん



ふだんは、けいび^{うんてんし}運転士の
仕事をしています。消防団員
としてのほこりをもっていま
す。

安全^{あんぜん}にけがなく活動するの
が大事です。そのために訓練
は かかせません。わたしの
息子^{むすこ}も、消防団員ですよ。

エドワルドさん



ヘルマンさん



じつは、ヌエバイタリアには消防団がありませんでし
た。だから、自分たちが消防団をつくったんですよ。

みなさん、火事や事故^{じこ}が起きないように、安全に気を
つけて生活してください。



2018年度のハチドリ^{ハチドリ}発表会に来てくれました。後ろの右の人は、カルロスさんの息子さんです。防火服を着てくれました。



2

事故や事件からくらしを守る



アスンシオンやパラグアイのその他の市では、どのような交通事故や事件が起きているのでしょうか。

また、事故や事件からくらしを守るために、だれがどんな仕事をしているのか、調べてみましょう。

アスンシオンの道路でもたくさんの車、バイク、バスが走っています。近ごろは、自転車に乗る人も見かけるようになりました。安全に運転できているのでしょうか。

みなさんは、学校や、家から学校までの道で、あぶないと感じる場所はありませんか。マンションから道路に出るところや、家の中にも、小さなけがや大きな事故につながる場所があるようです。みんなで話し合ってみましょう。

左の写真は、アスンシオンのけいさつしょ
です。けいさつ官の方に話を聞いてみました。

■けいさつしょの中の様子

911番に電話をすると、事件や事故が起
こった場所から近いけいさつしょに通ほうが
入ります。通ほうを受ける無線室には、いつ
も必ずだれかいます。

また、けいさつ官は夜も交代で働くため、
かみん室があります。ほかにも、りゅう置所、
食どう、そして、かみの毛を切ってくれる所
がけいさつしょの中にあります。



りゅう置所

りゅう置所とは、は
んざいをおかした人が、
しばらくの間、生活す
る場所だよ。



無線室の無線

かみん室

「かみん」とは、短い時間
だけ、横になって、つかれ
をとることです。けいさつ
官はかみん室で交代で体を
やすめています。万が一の
時にしっかり動けるように
するための大事な場所です。



かみん室

コラム

アスンシオンで、サイレンを鳴らしながら、車と車の細いすき間を通して、事故や事件の場所や、病院へ向かっている救急車を見たことがありますか。

救急車は、日本のような公的な運搬ではない民間のものもあり、助けてもらう場合は、お金がかかります。

■下の写真は、パトカーの後ろのざ席の様子です。

黄色いマルで囲まれた部分を見てください。

中から開けられないようになっています。

■自動車事故や事件はどれくらいあるのかな

このけいさつしょのエリア内では、1日に10けんほどの自動車事故があるそうです。

また、事件は様々なものがあり、例えば、けんじゅうを使った事件は、1か月に6～7けんあるのだそうです。

■パトカーの中はどことなくふうがされているかな

パトカーに乗って、地いきのパトロールにいっしょに行くことができました。アスンシオン市のエリア内を中心にパトロールしながら、けいさつ官は時々、地いきの人たちに声をかけていました。

パトカーの後ろのざ席のまどは、金ぞくのこうしておおわれ、まどやドアを開けしめするボタンやレバーはすべて黒いカバーでおおわれていました。



パトカーの後ろのざ席

右の写真のたて物に見覚えはありますか。日本人学校も、けいさつの人たちが、事故や事件から守ってくれています。

どのような仕事をしているのか、聞いてみよう。



ブルーノ 隊長のお話

わたしたちは事件や事故からみなさんを守ります。学校の外では、「暗いところを歩かない」「まい子にならない」「まい子になったら知らない人にたよらず、せい服を着た人や、けいさつ官に話す」「信号のある交差点をわたる」「けいたい電話などをむやみに取り出さない」ようにして自分の身を守ることが大事です。



4

す 住みよいくらしをつくる

ここでは、わたしたちのくらしにかかせない、水やごみしよりについて考えよう。

水道の水って、どこから来るのかな。



アスンシオンで、ごみを^{あつ}集めている大きな車を見たことがあるよ。



バイクのような乗り物で、ダンボールやボトルを集めている人もいるね。どこへ^{はこ}運んでいるのかな。





めあて

わたしたちのま
ちの健康^{けんこう}で住みよ
いくらしをささ
えているしくみや
人々の働き^{はたら}を調べ
てみましょう。

上の写真は、日本人学校で
大かつやくをしている道具^{どうぐ}で
す。次のことを考えてみよう。

- どこにあるかな。
- どんな点で、みんなの役^{やく}に
立っているのかな。





歯みがきの様子



日本人学校のトイレ

1

水はどこから



あなたが、飲んだり手をあらったりする水は、どこから来るのでしょうか。また、水をきれいにするしくみについて考えてみましょう。

アスンシオン市の水のしよりのしくみについて知っていることを出し合いしましょう。

わたしたちは、どんな時に水を使っていますか。書き出してみよう。

上の写真にあるように、飲み水、歯みがき、トイレ、水泳で使うプールの水、そして、植物を育てる時など、水は、さまざまな場面で、人間や動植物が生きるために、なくてはならない大事なものです。

■ 暮らしの中の水

あつ 暑い日が多いアスンシオンで生活をしていると、水^{すい}とうの水がすぐに空^{から}っぽになりますね。飲み水だけでも、たくさん必要^{ひつよう}です。次のことがらについても、考えてみましょう。

- ① 毎日、水がどれくらい使われているか。
- ② わたしたちが使った水は、どのようなしくみで、きれいな水になるのか。

■ じゃ口の水はどこから

水道^{かんけい}に関係のある学校のせつびをさがそう。次の問題^{もんだい}の答えを、じっさいにさがして見つけよう。

- ① じゃ口の数はいくつあるのだろう。
- ② 水のタンクはどこにあるのだろう。
- ③ 水道のメーターはどこにあるのだろう。
- ④ 水道管^{かん}の見えるところをさがしてみよう。



水道のメーター



左の二つの問いの答えを、メモしよう。

- ① 1日に

L

- ② 水がきれいになるしくみ

左の四つの問いの答えを、メモしよう。

- ① じゃ口の数

こ

- ② 水のタンク^{ばしょ}の場所

- ③ 水道のメーターの場所

- ④ 水道管が見える場所

■ きれいな水をつくるくふう

ビニャスクエじょう水場を見学しました。ビニャスクエじょう水場はハルディン・ボタニコの近くの、パラグアイ川に面したところにありました。





車に書いてある^{エサップ}ESSAPとは、水をきれいにする会社の名前です。この会社はビニャスクエ以外にも、アスンシオン市内にいくつかじょうすい場をもっています。

コラム

- じょう水場の水は、アスンシオン市内のいくつかの場所に、ポンプで送られ、さらにそこから、各家庭に水が送られます。
- じょう水場の近くで停電が続くと、電気で動くポンプで水を送ることができず、家庭に水がとどけられなくなります。
- 水がじゃ口から出ないことを、だん水^{すい}といいます。

じょう水場の人の話

ここは、アスンシオンとそのまわりのじょう水場としては最も大きいしせつです。およそ60人が働いており、夜や休みの日でも必ずだれかが働くという、2交代^{こうたい}せいで仕事^{しごと}をしています。冬はわりと水がきれいですが、夏は水がよごれやすくなり、管理が大変です。毎日何度も水のじょうたい^{じょうたい}をチェックしますが、暑い時期^{あつじき}は特にチェックの回数がふえます。ここできれいになった水は飲めますが、家庭にとどくまでに水道管が古い場合は、飲めないことがあります。

みなさんのために水をきれいにするこの仕事をほこらしく思います。



お話をしてくれた方



水質チェックの様子



アスンシオンのごみしゅう集の様子



2

ごみのしりょうと利用



わたしたちが住むアスンシオン市では、ごみはどのように集められ、どのようにしりょうされているのでしょうか。ごみのしりょうのしくみについて知っていることを出し合ひしましょう。

用語

「まぜればごみ、分ければしげん」

ごみをしゅるいごとに分けて出すことで、新聞などの紙は、もう一度、紙に、びんなどのガラスは道路をつくる材料にと、ごみを再利用することができ、わたしたちの生活に役立ちます。

「まぜればごみ、分ければしげん」という言葉を聞いたことがありますか。また、みなさんの家では、ごみをどのように出していますか。

日本では、地いきによって決められた分け方で、ごみを分別して再利用しようという考えが広く行きわたっています。

では、アスンシオンでは、ごみの分別は行われているのでしょうか。うちの方にたずねてみましょう。そして、働く人やごみの問題などについて、考えたり、調べたりしてみましょう。

■ たくさんのごみ

学校や家では毎日ごみが出ます。家から出る1週間分のごみを分別し、どんなごみがあるか調べてみましょう。(○をつける)

日付 ごみのしゅるい	/	/	/	/	/	/	/
(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	
生ごみ							
紙ごみ							
ポリぶくろ							
トレイ							
びん							
かん							
ペットボトル							
牛にゅうパック							
新聞・ざっし・ダンボール							
プラスチック							
ぬのるい 布類							
家具などのそ大ごみ							
その他							



右の二つのことについて、学校の先生たちにたずねてみましょう。答えがわかったら、メモをしましょう。

①ごみはいつ集めにくるか。

家

学校

②ごみの分別はどうなっているか。

■ごみを^{あつ}集める

校門の左手に、ごみを置くための鉄かごがあるのを知っていますか。高さは1mくらいで、^{じめん}地面に、しっかり^{こてい}固定されています。

スクールバスに乗っていると、まちのあちこちに、同じようなかごがあるのが目につくでしょう。みなさんの家の前にもかごがあるか、かくにんしてみましょう。

次のことについて、知っていますか。

①ごみはいつ^{あつ}集めにくるか。(家・学校)

②ごみの^{ぶんべつ}分別はどうなっているか。

■ごみ^{しゅう}集車

鉄かごに置かれたごみは、きまった曜日に集められて、ごみ^{はこ}しゅう集場へ運ばれます。



■ごみのしゅう集と集め方

ごみは、1週間に3回集められます。

ごみをしゅう集するのは、アスンシオン市が行います。

パラグアイでは、家庭^{かてい}から出されるごみは、もえるごみもしげんごみもいっしょに集められます。出されたごみの内ようをよく見てみると、トレイ、かん、びん、ペットボトル、生ごみ、紙ごみなどが、一つのごみぶくろにまざっています。つまり、アスンシオンではごみは分別されていない、ということがわかります。

■アスンシオン市のごみの量^{りょう}

アスンシオンでは毎日一人あたり、およそ1.25kgのごみを出しているといわれています。アスンシオン市全体では、毎日およそ800～900t(トン)のごみが出ています。月にすると、およそ2万1000tものごみが出ているそうです。



コラム

アスンシオンでは、ごみは分別されず、そのまましよりされます。しかし、バイクや車で、ペットボトルやびん、かん、ダンボールを集めている人を見かけたことがありますか。また、学校でも、にたような活動^{かつどう}をしていますね。

ペットボトルなどのしげんごみは、お金にかえることができます。





ごみしり場の入り口でしゅう集車の重さを量っている様子

■ごみをしりする

集められたごみは「ランバレのおか」の近くにある「カテウラしり場」に運ばれます。ここは EMPPO 社が運搬しています。しり場の入口でまずしゅう集車の重さを量り、次に、第1ごみしり場にごみを置きます。ここでは、かんやペットボトルなどのしげんになりそうな物を、ごみを集める人がもらっていきます。残りのごみはふたたびトラックに積みこまれ、さらに、約1km先の最終しり場へ運ばれます。

ごみは地下にうめられるのではなく、地面の上に積まれていきます。大がたの機械で整理した後、においが広がるのをふせぐために、上からすなをかぶせるのだそうです。

ごみしり会社の方の話

わたしたちはアスンシオン市内のごみを一手に引き受けています。1985年から2005年までは市がごみしゅう集も、ごみしりも両方行っていましたが、2005年より後は、ごみしゅう集は市が、ごみしりは、わたしたちの会社が行っています。

計画的にごみしりを行う努力をしていますが、日本や他国のように、「ごみ分別がしっかり行える」ようにアスンシオン市を変えるのはなかなかむずかしいと感じています。少なくとも、「もえるごみ」と「もえないごみ」を分け、「リサイクルできるもの」は、通りで回しゅうしている人にわたすなどの、一人ひとりの心がけがより良い社会へとつながると思います。



お話をしてくれた方

2004 年のカテウラしより場



2013 年のカテウラしより場



2004 年 道路わきにもごみが落ちている



2013 年 ごみすて場以外はいつもきれい

しげんごみのゆくえ

アスンシオン市内で集められたしげんごみは、リサイクルされ、ふたたび活用されます。日本人学校でも、「リサイクル活動」で紙類を集め、リサイクル工場に持っていき、再生されています。

わたしたちにできること

ごみは毎年ふえています。アスンシオン市でも平きんすると、毎年約 10 パーセントずつふえているそうです。ごみをへらし、かんきょうを守るために、わたしたちは、どのようなことができるのでしょうか。ごみとこれからの社会について考え、どんなことができるのか話し合ってみましょう。

コラム

9 月の学校行事「セマナデラアミスタ」で交流する学校へ、サッカーボールをプレゼントしますね。あのボールは、リサイクルでえたお金で買っています。



2018 年のリサイクル活動



5 のこしたいもの つたえたいもの



パラグアイには、日本人の移住地がいく
つあるのかな。

日本からパラグアイへの移住はいつ
ごろはじまったのだろう。



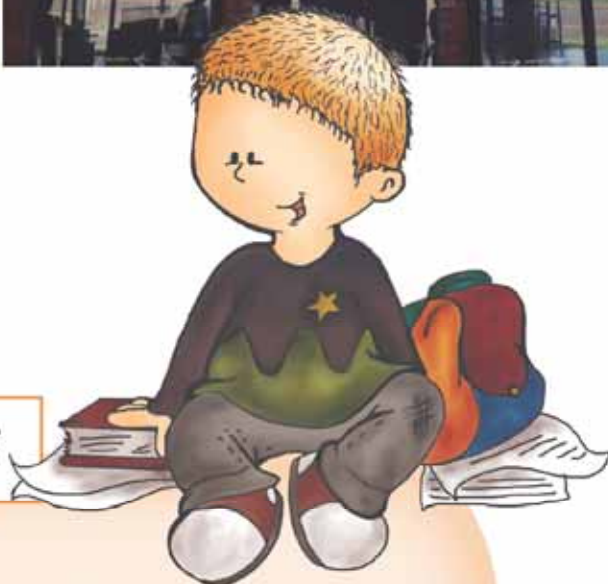
遠くはなれた日本とパラグアイはどのように
つながっているのか知りたいね。





めあて

パラグアイへの
日本人の移住の
歴史や、日本人移
住地の様子を調べ
てみよう。





南米最古の鉄道

牛車に乗ってラ・コルメナまで移動



1

パラグアイの日本人移住地の歴史



パラグアイの日本人移住地の歴史について学びましょう。

コラム

ラ・コルメナの名前はどこからつけられたのでしょうか。

La colmenaはスペイン語で「ミツバチの巣箱」という意味です。いっしょうけんめいに働く日本人にふさわしい名前ということでつけられたと言われています。



■最初の移住地

日本から初めてパラグアイへの移住が行われたのは、1936年(昭和11年)8月のことです。アスンシオンから130kmほどはなれたラ・コルメナに、11家族81名の人々が移住してきました。今では車を使って2時間で行くことができるラ・コルメナですが、当時は汽車に4時間乗り、さらに駅から10時間以上牛車に乗ってやっとついたそうです。移住してきた人々は、次の日からさっそく仕事にとりかかりました。まず住めるよう仮小屋をたて、井戸をほり、山を切りひらき、道をつくり、移住地での生活をはじめたのです。



めん花



めん花をつんでかんそうさせる

■ 移住地の農業^{のうぎょう}

ラ・コルメナにきた日本人は、めん花を中心に農業を行いました。パラグアイ政府がめん花をつくることに力を入れていたからです。最初はくわで土地をたがやしていましたが、しだいに馬や牛を使うようになりました。そのころの道路は、大雨がふるたびにぬかるみになり、とりいれためん花、トウモロコシ、豆などを運ぶのに何日もかかることもありました。このようなきびしい生活でしたが、人々は豊かな自然の中で開たくを進めました。

■ 戦争によるえいきょう^{せんそう}

1941年12月、日本は他の国との戦争をはじめました。そのためパラグアイと日本は国交がとだえてしまい、日本人の移住は中止されました。日本語学校のへいさ、集会をひらくことをきん止されるなど、移住した人々は不自由な生活を送りました。



学校は？

パラグアイへ日本人が移住したのは1936年8月ですが、同じ年の11月には日本から先生が来て日本語学校が開かれました。午前中は日本語の授業、午後はパラグアイ人の先生により、スペイン語での授業が行われていました。

当時の学校や生活の様子をつたえるもの





げんせいりん すき
原生林を進む人々



入植当時のテント生活



トラックで移住地に

せんご いじゅう 戦後の移住がはじまる

1945年の日本の敗戦により、日本国内は仕事のない人々であふれていました。そこでふたたび海外移住に目が向けられました。パラグアイ政府はラ・コルメナへの日本人の移住をきよかしました。しかし、ラ・コルメナには移住してきた人が新しく住めるような土地が、もうわずかしかなかったため、新しい移住地がつくられました。

上の地図に、出てきた移住地の場所を調べて印をつけてみよう。

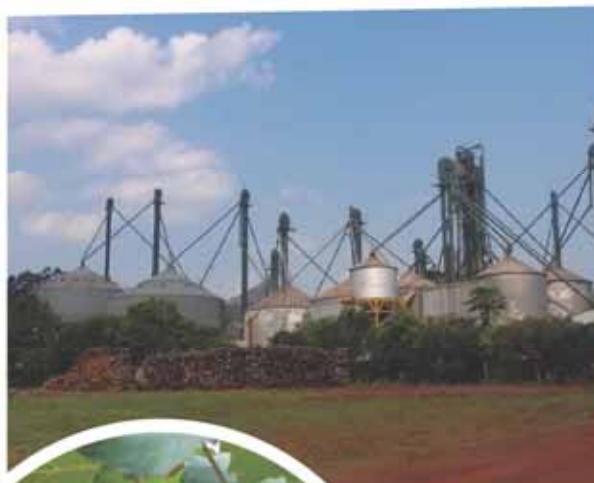
年	主なできごと
1945	戦争が終わる
1946	日本国憲法がつくられる
1952	日本が主権を回復
1956	国際連合に加盟
1956	個人所得、戦前水準に回復
1964	東京オリンピックが開かれる
1967	国民総生産世界3位
1968	国民総生産世界2位

パラグアイへの移住のピーク

1950年代にチャベス、ラパス、パラグアイ北部のアマンバイへ日本からの移住者がぞくぞくとやってきました。1960年には世界最大とよばれたアルトパラナ（ピラポ）移住地が、次の年にはイグアス移住地がつくられました。そのころ、日本でも仕事がふえてきたため、移住者の数はへっていきました。1990年代には、日本政府による移住は終わりを告げました。



ラパスでつくられた小麦粉



ピラボ農協こくもつ集荷貯蔵サイロ



イグアスの大豆と小麦の畑



ラ・コルメナでつくられているぶどう「ナイアガラ」



コラム

ヘクタール (ha)

たて 100 m × 横 100 m の面積のことです。

社会 5 年生の教科書に「北海道の十勝地方の農家は平均で 40 ヘクタールの畑を持っています。これは、全国の農家の平均と比べて 20 倍以上の広さです。」とあります。パラグアイのある移住地の農家の畑の面積は 250 ヘクタールと広く、またもっと広い畑をもつ農家もあるそうです。

■ ラ・コルメナ移住地の農業

はじめはめん花が中心でしたが、1948 年にはぶどうなどの果物がつくられるようになりました。1965 年にアスンシオンと移住地が道路でむすばれると、アスンシオンへの農作物の出荷が便利になり、トマトをはじめとする野菜や果物の農業が発てんしました。

■ そのほかの移住地の農業

入植後、大豆・小麦・グレープフルーツ・養さんなどいろいろな農業が行われましたが、大豆のねだんが上がったため、大豆中心の農業にうつてきました。1980 年代には、イグアス移住地で、大豆と小麦を同じ畑で続けてつくる方法も取り入れられ、今では、どの移住地でも、トラクターやコンバインなどの大きな機械を使って、広々とした畑に、夏は大豆、冬は小麦が植えつけられるようになりました。



昔の水泳の授業



鉄ぼうの移動

2

アスンシオン日本人学校につたわるねがい

■ 昔のアスンシオン日本人学校

わたしたちの学校につたわるねがいをさぐってみましょう。

「あれっ、今のプールとはちがうよ。」
「みんなが鉄ぼうを動かしているよ。」



校章

昔の写真をよく見てみると、今とちがうことにたくさん気づくことができそうです。多くの人たちのねがいで、少しずつ変化をとげたのが、今のアスンシオン日本人学校です。

今と昔をくらべながら、わたしたちの学校について調べてみましょう。



学校のかんばん



元気の輪テーブル



方角を表す方位盤

■ 調べるテーマを決めよう^き

学校にあるアルバムを手がかりにして、気になったことを調べてみましょう。

テーマの例^{れい}

校章^{こうしょう}は、いつ、だれが、どのようなねがいでつくったのだろう。校歌^{こうか}の歌しにはどのようなねがいがこめられているのだろう。

■ 調べる方法^{ほうほう}

- ・ 学校にある古いアルバムから、テーマにかんする写真^{あつ}を集める。
- ・ 昔の様子^{ようす}について、知っている先生にちよくせつ聞く。
- ・ 学校の昔のことがわかる本（そう立記念^{きねん}し）^{つか}を使って調べる。

■ 調べたことをまとめよう

- ・ 新聞などにしてまとめてみましょう。



テーマを見つけるヒント

プール、校しゃ、鉄ぼう、かんばんから、ねがいやひみつをさがることができるかもしれません。

そう立記念しと副読本^{ふくよくほん}





アスンシオン日本人学校の沿革 えんかく

1972 (昭和 47) 年

■ 三育学院で週 5 日の補習授業がはじまる。

1979 (昭和 54) 年

■ 補習授業校とみとめられ、日本から先生が 1 名来られる。

1981 (昭和 56) 年

■ 三育学院から、今の場所のとなりにひっこしをする。

1982 (昭和 57) 年

■ 日本人学校としてみとめられ、日本から 4 名の先生が来られる。
■ 開校記念式典をする。
■ 大使公邸のプールで、水泳の授業がはじまる。

2000 (平成 12) 年

■ 校門の横にけいび用のつめ所ができる。
■ 西側にレンガのかべができる。

1999 (平成 11) 年

■ プール正面に日よけ用の屋根ができる。
■ 黒板がマグネット黒板になる。

1995 (平成 7) 年

■ 校門に自動開閉装置がつく。

2001 (平成 13) 年

■ マルチメディアルームが完成する。非常ベルがつく。
■ そう立 20 周年記念式典が行われる。

2004 (平成 16) 年

■ 自動開閉式二重門、けいさつ官のつめ所の工事が完りようする。

2006 (平成 18) 年

■ 秋篠宮殿下が学校に来られる。

2011 (平成 23) 年

■ そう立 30 周年記念式典が行われる。「元気の輪」テーブル完成。

2012 (平成 24) 年

■ 大とうりょうだんがいさい判による政情不安により、移動教室の日程が変こうになる(2泊から1泊)。そのよく日はりん時休校になる。

2013 (平成 25) 年

■ 放課後学習会・土曜学習会の開始。

2015 (平成 27) 年

■ ローマ法王来バにより、りん時休校になる。



1983 (昭和 58) 年

- 校舎 (小学棟・中学棟) と体育館建設がはじまる。
- 校歌ができる。

1984 (昭和 59) 年

- 日本からスクールバスがとどく。
- 校舎と体育館が完成して、落成記念式典が行われる。
- 校旗ができて校章が決まる。

1985 (昭和 60) 年

- 特別教室が新たに作られる。

1986 (昭和 61) 年

- 鉄道を移動する。
- 常陸宮・同妃殿下が学校に来られる。
- バスの車庫と用務員室ができる。

1988 (昭和 63) 年

- 学習発表会で初めてダンスパラグアージュをおどる。

1989 (平成元) 年

- プールができる。

1990 (平成 2) 年

- ふつう教室にエアコンがつく。
- 校長室と保健室が新たに作られる。

1991 (平成 3) 年

- そう立 10 周年記念式典が行われる。

2016 (平成 28) 年

- 秋篠宮眞子内親王殿下来バ。かんげい式典へ参加する。
- 体育館へき面工事完りょう。
- 日本人移住 80 周年記念式典へ参加する。
- 小学部 5・6 年生「英語科」授業開始。
- 「チャレンジスクール」(長期休業期間学習会) 開始。

2017 (平成 29) 年

- 海外子女教育財団プロジェクトチーム来校。
- 校地北側ようへき新規設置工事完りょう。
- 新たにかんしカメラ・職員室モニターテレビがつく。

2018 (平成 30) 年

- 「高知ファインディングドッグス」駒田かんとく・北古味副社長来校。
- 安倍内かく総理大臣来バ。児童生徒によるコメボルお出むかえ。

2019 (令和元) 年

- AG5 の取り組みによる「パラグアイ版 移住すごろく」完成。
- 令和へ改元。

2020 (令和 2) 年

- 新型コロナウイルスの世界的な流行によりりん時休校になる。

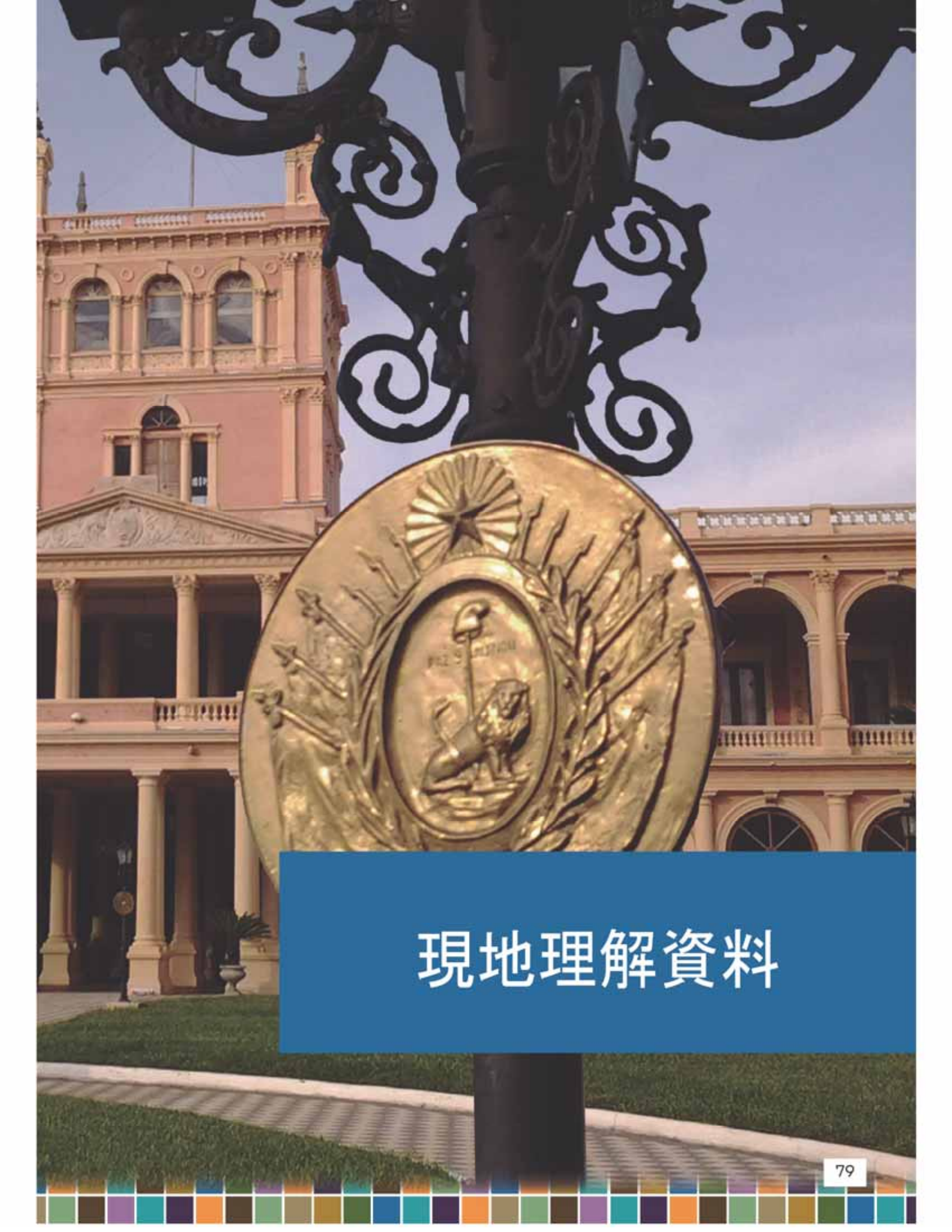




第2部

パラグアイ共和国について学ぼう





現地理解資料

私たちが住んでいるパラグアイって、どんな国が知りたいね。

位置

パラグアイは南アメリカ大陸のほぼ中央にあり、北はボリビア、東はブラジル、南と西はアルゼンチンの三つの国に囲まれた内陸国です。

南北は南緯^{なんい}19度18分～27度30分、東西は西経^{せいけい}54度19分～62度38分の位置にあり、国土の中央を東西に南回帰線^{みなみかいきせん}が横切っています。これを北半球に置き換えれば沖縄^{おきなわ}よりも赤道^{たいわん}に近く、ほぼ台湾と同じぐらいの緯度になります。

地球儀で見ると日本のほぼ反対側にあり、日本から最も遠い国の一つです。



面積

面積は40万6752km²で、日本の国土面積の37万7973km²と比べると約1.1倍の大きさです。パラグアイには中央を南北に縦断^{じゅうだん}するようにパラグアイ川、ブラジル・アルゼンチンとの国境^{こっきょう}に沿ってパラナ川という二つの大きな川が流れています。この二つの川は合流してアルゼンチンを流れ、ウルグアイ川とともにラプラタ川として大西洋に注ぎこみます。

パラグアイはパラグアイ川を境^{さかい}に、東西二つの地域^{ちいき}にわけることができます。西側はチャコ地方（チャコ・パラグアージョ）と呼ばれる、国土の約60%を占める大平原が続いています。この地域は乾燥した灌木地帯^{かんぼう}で、土壌に塩分が含まれているため農業には適^{てき}さず、おもに放牧に利用され畜産業^{ちくさん}がさかんです。東側の地域は森林の多い丘陵地帯^{きゅうりょう}と平原の入り組んだ地形です。土壌はティエラロッサと呼ばれる肥沃な赤土で農作物もよく育ちます。

人口

パラグアイには約715万人（2019年）の人が住んでいます。このうちの約97%はパラグアイ川の東側に住み、チャコ地方に住んでいるのはわずか3%です。2018年のパラグアイ政府国勢調査の人口統計によると、人口の多い都市としてはアスンシオン市の約52万人、エステ市の約30万人、ルケ市の約28万人、サンロレンソ市の約26万人、カピアタ市の約24万人、ランパレ市の約18万人、フェルナンド・デ・ラ・モラ市の約18万人、エンカルナシオン市の約13万人などがあります。この中で、エステ市とエンカルナシオン市以外の都市はすべてアスンシオン近郊にあり、周辺の市の人口を合計した首都圏人口は約215万人となり、都市への人口集中がうかがえます。1980年の国全体の人口が約318万人、1990年が約422万人、2000年が約532万人、2010年が約625万人と、国内の人口は年々増加しています。40年前（1972年）の首都圏の人口が約50万人だったことを考えると、アスンシオン近郊の人口増加が顕著です。

パラグアイ人のほとんどはスペイン人とインディヘナ（グアラニー族など）との混血です（95%）。ほかに、新しくヨーロッパから移住してきた人が2%、先住民のインディヘナが1.2%、東洋人1%などが住んでいます。日系人の人口は7255人です（日系人人口センサス 2017年6月時点）。



グラフ1：パラグアイ国内の人口推移（2008年～2019年）
2008～2018年は世界銀行の国データ、2019年のみ国勢調査データによる

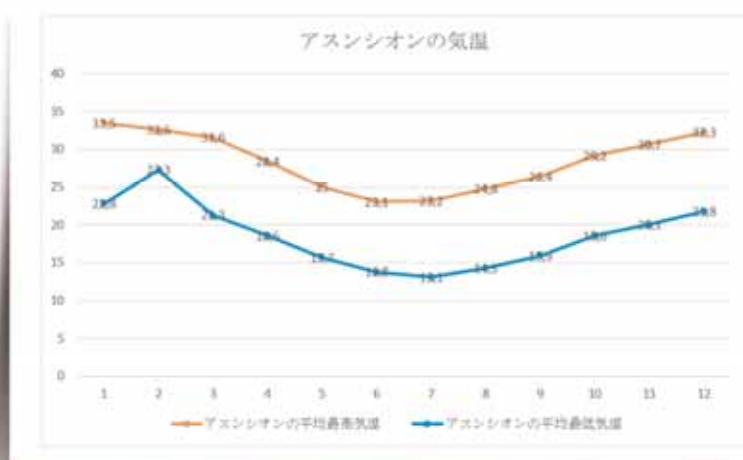
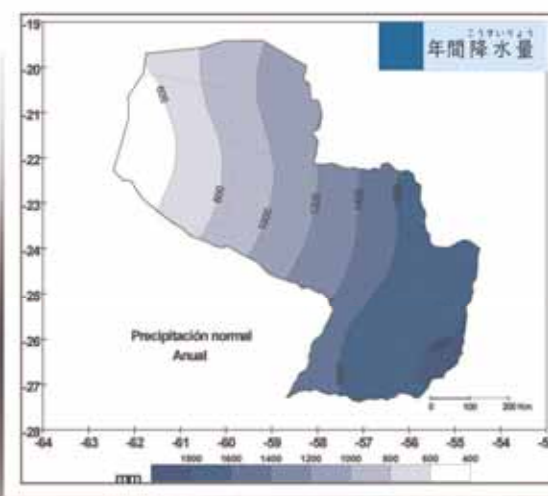


2

気候

パラグアイの気候を調べてみよう。

南半球に位置するパラグアイは、季節は日本と逆におとず訪れ11月から3月までが夏、7月と8月が冬となります。北に行くほど気温が高く、南へ行くほど低くなります。北のブラジル方面から吹く風は熱く湿っており、逆に南のアルゼンチンから吹く風は冷たく乾燥しています。西側ほど乾燥しており、東側へ向かうほど湿潤な気候となります。従って、西部のチャコ地方は高温乾燥地帯で、東部は一部山地や森林地帯をのぞいて亜熱帯性気候です。内陸国であるため、寒暖の差が激しく夏のチャコ地方では気温が45℃になることがしばしばありますが、南のエンカルナシオンでは、冬の気温は0℃近くになり霜が降りる場合もあります。



3 代表的な植物・動物・鳥

(1) 植物

ラパーチョ (Lapacho)^{ラ パ チ ョ}

マメ科の木でいくつかの種類があります。ピンクの花を咲かせる種のほかに、黄色、白などの花を咲かせるものもあります。花の時期は春先で、咲く時期が種類によって少しずつ違います。ピンクの花を咲かす木は15～25m程に成長します。



グアラニー語：Tojy

ボラーチョ (Palo Borracho)^{パ ロ ボ ラ チ ョ}

8～16mに成長する木で、木の幹の中央がふくらんだユニークな形をしています。表面には固い棘が無数にあります。乾燥に強く、チャコ地方でよく見られます。夏の終わりから秋にかけて黄色や白の花をつけます。



グアラニー語：Samu'u

ステビア (Stevia)^{ステビア}

パラグアイ原産のキク科の植物で、グアラニー語ではカアヘエと呼びます。70～80cmまで成長します。葉に強いあまみがあり、甘味料として加工され、スーパーマーケットで売られています。また薬草として市場でも売られています。



グアラニー語：Ka'a he'e

ブルクジャ (Pasionaria)^{パ シ オ ナ リ ア}

パラグアイの国花です。葉は長楕円形または長円形で長さ10～15cm、花は香りがよく7～10cmの大きさです。通常は夏の終わりから初秋にかけて花が咲き、蜂や鳥をひきつけます。果実はパッションフルーツとして市場でも売られています。



グアラニー語：Mburucuya

(2) 動物・鳥

■ チャコペッカリー (Pecari quimilero)

イノシシに似た動物で、1万5000年前に絶滅したと考えられていましたが、チャコ地方で1972年に生きた個体が見つかりました。チャコペッカリーはほかのペッカリーに比べ、頭が大きく、肩の上に白い首輪のような模様があるのが特徴です。社会的な群れをつくって生活し、群れの中の一頭が死ぬとほかのものはそのまわりを離れようとしなないという変わった性質があります。このことが数が減る一つの原因になっています。



グアラニー語: Tagua

■ アルマジロ (Armadillo)

南米固有のほ乳類で、いくつかの種類がありますが、写真のような毛の生えたものはチャコ地方にしかいません。砂地で生活し夜行性ですが、冬には昼間活動することもあります。発達した爪を使って直径8～15cmの穴を掘り巣にしています。1匹がいくつかの巣をつくり、その範囲は3～4ha（ヘクタール）に及びます。食用にされることもあります。



グアラニー語: Tatu

■ ワニ (Cocodrilo)

パラグアイには3種類のワニがいますが、ジャカレ・フ (Jakare Hu) とよばれる写真のようなワニが最も数が多いです。川・湖・沼周辺の湿地帯に多数生息しています。チャコ地方では乾期になると数少ない湿地にたくさんのワニが集まる様子を見ることができます。



グアラニー語: Jakare

■ カピバラ (Carpincho)^{カルピンチョ}

世界最大のネズミの仲間で、体重が60kgにもなります。全身が固い毛でおおわれています。湿地帯で生活し、1匹のオス（リーダー）を中心に10匹前後の群れをつくって活動したり、単独で行動したりすることもあります。リーダーは鼻の上にこぶ状のふくらみが発達しているため、一目見てわかります。



グアラニー語：Kapi'iva

■ レア (Avestruz)^{アベスツルス}

アメリカ大陸最大の鳥で、身長1.5mに達します。草原や灌木地帯に生息し、組織化された群れをつくり陸上生活をしています。卵の世話とかえった後の雛の世話はオスがします。食用にしたり羽を装飾に使ったりするために狙われることが多いですが、捕獲禁止にはなっていないため、数は減少しています。



グアラニー語：Nandú

■ ピューマ (Puma)^{プマ}

大型のネコ科の動物で、適応力があり、北アメリカから南米最南端ティエラ・デル・フエゴまで広く分布しています。人間に対しては非常に警戒心が強く、見かけることはまれです。森林地帯で生活しますが、森林面積の減少やえさ不足、家畜の敵として殺されてしまうこともあり、国内では減少しています。



グアラニー語：Jaguarete

■ ハチドリ (Picaflor)^{ピカフロール}

世界最小の鳥。体重は2～20g、全長6cmほどです。空中で静止するホバリング飛行を行い「ブンブン」と蜂のように羽音を立てるためハチドリと名づけられています。



グアラニー語：Mainumby



インディヘナの人々

昔の人々の狩りの様子



1 先住民の時代

国ができる前のパラグアイは、どんな様子だったのだろう。

日本の歴史 1

日本の農耕のはじまりは「弥生時代から」とされているが、現在ではそれより古い縄文時代の後期（紀元前 2000 年～1000 年）にはじまったとされる。

旧石器時代（先土器時代）：紀元前 1 万 4000 年以前。

縄文時代：紀元前 1 万 4000 年頃～紀元前 3 世紀頃まで。

弥生時代：紀元前 3 世紀頃～紀元後 3 世紀中頃まで

239 年 邪馬台国の女王、卑弥呼が中国に使いを送る。

古墳時代：3 世紀中頃～6 世紀頃まで。

飛鳥時代：592 年～710 年

604 年 聖徳太子が「十七箇の憲法」を定める。

645 年 大化の改新が起こる。

701 年 大宝律令ができる。

アンデス地域では、紀元前 2000 年頃には農耕がはじまったとされます。しかし、この頃はまだパラグアイにグアラニー族と呼ばれる人々はいませんでした。アマゾン川流域からグアラニー族の祖先が移動してきたのは、紀元前 2000 年頃から紀元前 500 年頃までの間で、約 1500 年以上にわたって段階的に移住してきたと考えられています。

グアラニー族の祖先がパラグアイにやってきた頃、その土地にはすでにほかの先住民がいました。この先住民は、農耕はせずに狩猟や採集を行い、石器のみで土器はもたなかったとされます。

しかし、グアラニー族の祖先は土器をすでにもっていました。そして、マンディオカやトウモロコシ、豆類などを栽培する農耕をはじめました。土器をもっていたため煮炊きすることができ、こうした食糧を主食とすることができたのです。そのため、グアラニー族の祖先は先住民よりも豊かで大規模な集団社会をつくることができました。

グアラニー族は温和な性格で、各村は選挙か世襲によって首長が決められていたといえます。ふだんは年寄りを中心にして政治が行われ、戦争になると首長は最高指導者としてみんなに指示をしたようです。

奈良時代：710 年～794 年

710 年 奈良に平城京がつくられる。

752 年 聖武天皇が東大寺の大仏をつくる。

奈良の大仏



2 たんけん 探検の時代

15世紀の頃、当時のヨーロッパ人は豊かなアジアの物産を強く求めていました。

ポルトガルは冒険商人を先頭にアフリカ西海岸を南下し、喜望峰を回ってインドに達していました。そこで、スペインはポルトガルに対抗して大西洋を西回りでアジアに行く航路を開くためにコロンブスを支援しました。これは、南北のアメリカ大陸の存在が、まだヨーロッパ人に知られていなかったため、大西洋を西に進めばアジアのインドに到達すると思われていたからでした。そして、1492年にコロンブスがアメリカ大陸を発見したのですが、彼は、そこをインドの一部だと信じていました。そのため、カリブ海の島々を、現在も「西インド諸島」と呼んでいます。このようにして、ヨーロッパの人たちにアメリカ大陸が知られるようになるのですが、アメリカ大陸には独自の文化がすでに栄えていました。そこで、スペイン人は、先住民たちを武力で征服していったのです。

パラグアイに16世紀初めスペイン人が足を踏み入れるのは、彼らが大西洋側から太平洋側にあるインカ帝国へ向かうルートを見つける途中でのことです。

1516年に、スペイン人ファン・ディアス・デ・ソリスの探検隊が、ラ・プラタ地方からウルグアイ川をさかのぼりましたが、途中でインディヘナにおそわれて引き返しました。

1524年には、ポルトガル人アレホ・ガルシアらがパラグアイまでの探検に成功しました。その時は、現在のアスンシオンを通り、ボリビアからペルーの東部地方まで行きましたが、帰りにインディヘナに殺されてしまいました。この人が、ヨーロッパ人でパラグアイに足跡を残した最初の人です。

1526年にスペイン国王につかえるイタリア人セバスチャン・ガボットは、ラ・プラタ川からパラナ川をのぼりパラグアイ川の調査もしました。

日本の歴史 2

平安時代：794年～1185年

794年 京都に平安京がつくられる。以後、明治時代がはじまる1868年まで天皇は京都にいた。

1016年 藤原道長が摂政となる。

この頃、現在の日本語のもととなる「かな文字」がつけられ、紫式部が「源氏物語」を、清少納言が「枕草子」をかな文字で書く。ひらがなは漢字をくずした形からつけられ、カタカナは漢字の一部分を使ってつけられた。



平安時代の貴族の女性

鎌倉時代：1185年～1333年（かつては1192年を鎌倉時代のはじまりとしていたが、現在では、守護・地頭の置かれた1185年をはじまりとする説が有力）源氏が執権の北条氏が鎌倉幕府の政治をおこなった。

1274年・1281年、元が日本を攻めてくる（元寇）。

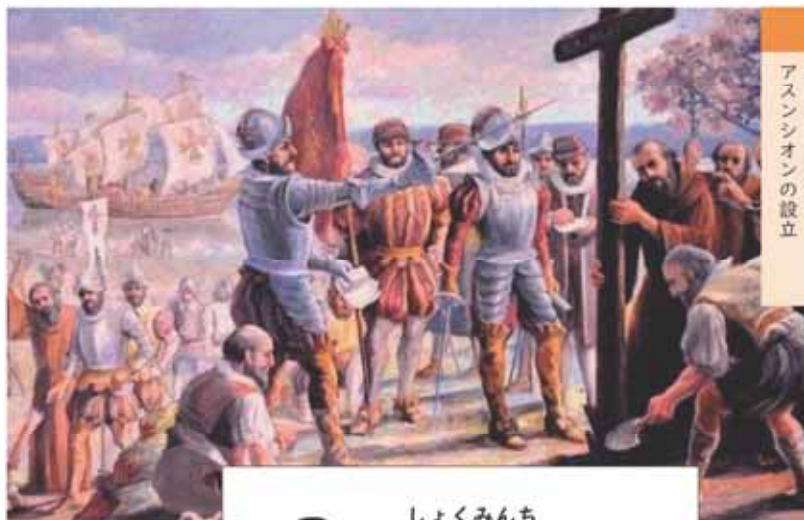
室町時代：1338年～1573年 足利氏が将軍となった時代。京都に金閣寺や銀閣寺がつけられた。



金閣寺と銀閣寺

この頃できた書院造と呼ばれる和室の形が、今の日本の和室につながっている。茶の湯や生け花、墨絵もこの時代からはじまった。

1549年 スペインのフランシスコ・ザビエル（イエズス会）がキリスト教を日本に伝える。



アスンシオンの設立



植民地時代のアスンシオン

3 しょくみんち 植民地時代

日本の歴史 3

あづちもやま
安土桃山時代：1573 年 ~ 1603 年

せんごく だいみょう さい
戦国大名が競い合う中、
おだ のぶなが とよとみひでよし とくがわいやす
織田信長・豊臣秀吉・徳川家康
らが全国統一をめざした時代。
秀吉が全国を統一。



姫路城



織田信長



豊臣秀吉



徳川家康

どのようにしてパラグアイの国ができたのだろう。

1541 年 9 月 16 日に市とすることが宣言されて、アスンシオンにスペインの総督府（植民地を治める者が政治をおこなうところ）が置かれました。ドミンゴ・マルティネス・デ・イララはアスンシオンの町を設計して家を次々と建設していきましました。イララが、パラグアイの創建者といわれるのもそのためです。また、アスンシオンを中心として、周辺の市がつくられていったので、このころのアスンシオンは「市の母」と呼ばれていました。ブエノスアイレスに総督府が移ったとされる 1580 年まで、アスンシオンは、スペインの植民地行政の中心となっていたのです。

当時、先住民であるインディヘナの人々は、スペイン人に対して攻撃的な人たちと友好的な人たちがいたようです。その中でグアラニー族の人たちはスペイン人に対して友好的な態度を取り、総督イララも彼らを尊重しました。そして、1540 年にイララがスペイン人とインディヘナとの結婚を正式なものとして認めてから、約 300 年もの間は諸外国との交流も少なかったために、スペイン人とグアラニー族との混血が進み、現在のパラグアイ人の特徴ができあがっていきましました。パラグアイ人の多くが中肉・中背で小麦色の皮膚、黒か栗色の髪の色、黒もしくは明るい灰色の目をしているのはこのためです。



世界遺産トリニダー遺跡

1986年に制作されたイギリス映画『ミッション』(The Mission)は、18世紀、スペイン植民地下のパラナ川上流(現在のパラグアイ付近)を舞台に、先住民グアラニー族へのキリスト教布教をしていたイエズス会宣教師たちの生き方、彼らの理想と植民地社会の現実や政治権力者の思いとの葛藤を描いています(1986年度カンヌ国際映画祭パルム・ドール賞受賞作品)。グアラニー族が音楽に高い関心をもっていた様子も登場します。

総督エルナンド・アリアス・デ・サーベドらは、インディヘナにキリスト教を伝道し教育を行なうために、伝道者の派遣をスペイン王にたのみました。そこで、1609年にイエズス会の宣教師がパラグアイにやってきました。宣教師はインディヘナとともに伝道村をつくり、農業や簡単な手工芸を教えました。しかし、これらの村ができあがった生産物を売り出すようになると、ほかの植民者との対立が生まれ、今度はスペイン政府から弾圧を受けるようになりました。

そして、1767年にはイエズス会の宣教師は追い出され村もなくなってしまいました。パラグアイ南部から隣接するアルゼンチン北東部にあるキリスト教関係の遺跡はこのときのものです。

トリニダー遺跡は、パラグアイで唯一ユネスコの世界遺産に指定されている場所です。

スペインの植民地時代は、政治や経済のしくみはスペインだけに利益がもたらされるようになっていたので、パラグアイに住む人たちはしだいにスペイン政府に不満をもち、独立を願うようになってきました。

1810年には、隣国アルゼンチンがスペインから独立し、独立の気運は高まっていきました。

日本の歴史 4

江戸時代：1603年～1867年

徳川家康によって江戸(今の東京)に幕府が開かれ、15代にわたって徳川家が将軍を務めた時代。大きな戦いはなくなり安定した時代が続いた。浮世絵が描かれるようになった。

葛飾北斎の風景画の浮世絵



喜多川歌麿の美人画の浮世絵



1613年 江戸幕府がキリスト教を禁止する。

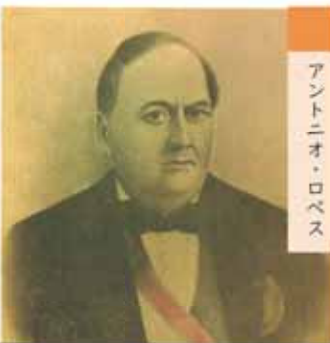
1639年 ポルトガル船の来航を禁止し鎖国が完成した。この後はオランダと中国、朝鮮と琉球王国など限られた国とのみ交易を行う。

1853年 アメリカのペリーが来航し、日本に開国を求めた。

1867年 江戸幕府が政治の権限を朝廷に返した(大政奉還)。これにより武士の政治が終わる。



独立した頃のセントロ（模型）



アントニオ・ロペス

多くの犠牲者を出した三国戦争



4 独立から現代まで

独立後のパラグアイの様子を見てみよう。

日本の歴史 5

明治時代：1868年～1912年

日本の近代化が進められた時代。また大日本帝国憲法が公布された。

明治時代の東京の様子



1894年 日清戦争

朝鮮半島をめぐる争いにより、中国と戦争になった。

1904年 日露戦争

朝鮮半島と満州の権益をめぐる争いにより、ロシアと戦争になった。

1910年 韓国を日本に併合する。

大正時代：1912年～1926年

1914年 第一次世界大戦 日本は連合国側につき、戦勝国となる。

1923年 関東大震災が起こる。

独立宣言

1811年5月14日ペドロ・ファン・カバリエーロを中心とする革命軍は州知事の建物などを占領し、翌日15日に独立を宣言しました。5月14日と15日は、現在も独立記念日の祝日となっています。1814年にホセ・ガスパル・ロドリゲス・デ・フランシアが政権をとり、その後27年間は独裁政治のもとで鎖国政策がとられました。

1844年にカルロス・アントニオ・ロペスが共和国憲法のもとで初代大統領に就任しました。彼は鎖国政策をとりやめて、外国の進んだ技術を積極的に取り入れ、産業の発展や教育の充実に力を入れました。南米初の鉄道（1861年開業、日本の鉄道開業は1872年）や製鉄所の建設、欧米への留学生派遣などをおこない、この時代、パラグアイは南米で一番の国力をもっていました。

三国戦争

1862年、カルロス・アントニオ・ロペス大統領が死去し、息子のフランシスコ・ソラーノ・ロペスがマリスカル・ロペス（ロペス元帥）として大統領となりました。ソラーノ・ロペス大統領はパラグアイの英雄として有名です。

当時、ブラジル、ウルグアイ、アルゼンチンは領土問題で互いに主張をゆずりませんでした。そして、領土問題をきっかけにして、1864年から1870年の間、パラグアイ・ブラジル・アルゼンチンの戦争が行われました。これが三国戦争です。パラグアイの青年男子のほとんどは戦死してしまうという悲惨な戦争でした。ついにセロ・コラの戦いでソラーノ・ロペス大統領らが戦死してパラグアイは降伏しました。この戦争でパラグアイの豊かな土地はアルゼンチンやブラジルにわたってしまい、国土は約半分になってしまいました。

■ チャコ戦争

ボリビアはチリとの戦いに敗れて太平洋への出口を失ったため、パラグアイのチャコ地方に土地を求めました。そして、1932年にボリビアとパラグアイの間でチャコ戦争がはじまりました。1935年にアメリカ・アルゼンチン・チリ・ペルーの調停によって戦争は終わりました。チャコ戦争では12万人もの兵士が投入され、死者や行方不明者は3万5000人にものぼりました。チャコ地方の一部はボリビアの領土となり、パラグアイの国土は現在の形になりました。

■ 混迷から独裁へ

2度の戦争のために経済はおとろえ、国は貧しくなり、政治も安定しませんでした。クーデターや内乱が起きて、1940年以降7年間にわたる安定期を除いては、不安定な時代が続きました。

1936年に、日本からの移民が初めてパラグアイに渡りましたが、第二次世界大戦が始まると、パラグアイは日独伊枢軸国と国交断絶を宣言し、この期間は日本からの移民は途絶えることになりました。

パラグアイは、1945年2月に連合国側に加わり、戦勝国となりました。

1954年5月コロラド党の内紛をきっかけに、アルフレッド・ストロエスネル陸軍司令官がクーデターを起こして政権をとり、8月には大統領となり、独裁的な権力を手に入れました。それ以来35年の間に8度の選挙で再選され続けて、政治は安定し経済開発が進み国力の向上が見られました。ストロエスネル大統領は親日家としても知られ、1959年には日本と移住協定を結んでいます。

日本の歴史 6

昭和時代：1926年～1989年

太平洋戦争（第二次世界大戦）前を「戦前」、大戦後を「戦後」と呼び、敗戦を機に民主国家とっていった時代。

1931年 満州事変

1937年 日中戦争

1941年～1945年 太平洋戦争

アメリカを中心とした連合国と全面的な戦争に突入する。

1945年6月23日 沖縄戦終結、

8月6日 広島に原子爆弾投下、

原爆投下後の広島



8月9日 長崎に原子爆弾投下、

8月15日 終戦

1947年 日本国憲法発布

1951年 サンフランシスコ講和会議

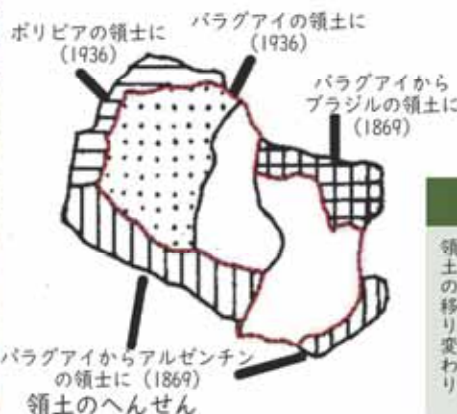
1952年 日本が独立を回復



チャコ戦争 ポケロン戦場あとにたつ兵士の像



ポケロン戦場あと この木の中に兵士が入って銃をかまえていた



領土の移り変わり



がいこうかんけいじゅうねん
 外交関係樹立100周年の記念
 ログマークを披露する安倍
 首相とベニテス大統領

日本の歴史 7

1964年 東京オリンピック開催
 この頃、新幹線や高速道路が東京
 -大阪間に整備される



東京オリンピック (1964年)

1966年 人口が1億人を突破
 1970年 大阪万国博覧会開催
 1972年 札幌オリンピック開催
 沖縄がアメリカから日本に
 返還される

1983年 東京ディズニーランド開園
 平成時代: 1989年 ~ 2019年

1995年 阪神・淡路大震災発生



阪神・淡路大震災

2011年 東日本大震災発生

民主化の時代へ

1989年の2月にクーデターによって政権をにぎったアンド
 レス・ロドリゲス 将軍は臨時革命政権を担当し、翌年の5
 月1日には大統領選挙で正式に大統領に就任しました。

1993年、初の本格的な国民選挙によってファン・カルロ
 ス・ワスモッシ大統領が選ばれました。その後、1998年5月
 には、大統領選挙でクパス・クラウが大統領に就任しまし
 ましたが、反対派との対立が深まり1999年に辞任しました。そして、
 憲法の決まりによって上院議長であったルイス・ゴンザレ
 ス・マッキーが大統領に就任しました。

2003年に就任したニカノル・ドゥアルテ大統領は日本を
 訪問し、小泉純一郎 首相と首脳会談を開いて日パの友好協
 力関係を継続・強化していくことを確認しました。

2008年には元神父のフェルナド・ルゴ大統領が就任し、61
 年間続いた赤党（コロラド党）の政権が終わりを告げました。
 しかし、2012年6月に弾劾裁判により罷免されると、フェデ
 リコ・フランコ副大統領が大統領に昇格しました。2013年
 4月の大統領選挙でオラシオ・カルテスが当選し、赤党が再
 び政権を握ることになりました。

2018年の大統領選挙では、与党の赤党から立候補したマリ
 オ・アブド・ベニテス上院議員が当選を果たし、8月に第40
 代大統領に就任しました。就任式では、パラグアイは中国で
 はなく台湾と国交を結んでいるため、台湾の蔡英文総統が出
 席をし、主賓の扱いを受けていました。また、2018年12月
 には、安倍晋三首相が日本の首相としては初めてパラグアイ
 を訪問しました。



100周年に際して
たてられた記念碑
とプレート



アスンシオン日本人学校を秋篠宮様のご訪問

秋篠宮様の日本人学
校ご訪問を記念して
つくられたプレート

■日本とパラグアイのこれから

2019年に日本とパラグアイは外交関係樹立100周年という大きな節目を迎えました。この年には、日本政府・大使館・日本人会などが主催で、さまざまな行事がおこなわれました。

また、日本の皇室も、パラグアイへ移り住んだ日本人のことを以前から大切に思ってくださいています。これからも両国が手を取り合って助け合い、より良い友好関係が続いていくように、私たちも努力していきましょう。

皇室のパラグアイ訪問

- 1978年 6月 皇太子（今の明仁上皇）・同妃両殿下
ブラジル国日本人移住70周年記念式典ご参列
- 1986年 9月 常陸宮・同妃両殿下
パラグアイ国日本人移住50周年記念式典ご参列
- 2006年 11月1日～11月4日 秋篠宮殿下
パラグアイ国日本人移住70周年の機会にパラグアイ国より招待
11月2日 アスンシオン日本人学校をご訪問

2016年 眞子さま（秋篠宮殿下のご長女、当時24歳）のパラグアイ訪問

- 9月7日 フランクフルト、サンパウロ経由でアスンシオンへ
独立の家、観光情報センターで伝統工芸の制作場等をご視察
- 9月8日 日本パラグアイ学院ご訪問、歓迎式典（日本人学校の発表等）
陶芸博物館ご視察、大統領主催夕食会
- 9月9日 パラグアイ日本人移住80周年記念歓迎式典、日本国大使夫妻主催夕食会
- 9月10日 ラ・コルメナ・パラグアイ日本文化協会主催歓迎昼食会
- 9月11日 チャベス日本人会・日本語学校ご視察、ラパス農協等ご視察、
エンカルナシオン日本人会・日本語学校ご視察、イタプア県知事主催歓迎夕食会
- 9月12日 トリニダー遺跡ご視察、ピラゴ日本人会ご視察、イタプア県日本人会歓迎昼食会
- 9月13日 イグアス移住資料館・イグアス農協ご視察、アルト・パラナ県日本人会移住者歓迎昼食会
イタイブダム・先住民族博物館ご視察
- 9月14日 シウダー・デル・エステからフォス・ド・イグアス（ブラジル）へ、イグアスの滝ご視察
フォス・ド・イグアス空港からサンパウロ・フランクフルト経由で日本へ

上記のほかに、それぞれの地区で日本人移住者や日系人の方とご引見されています。



イグアス移住地を訪れた眞子さま



市場の肉屋で働く人々



市場でくだもの売る人々

パラグアイの人々の毎日のくらしを見てみよう。

「シエスタ (Siesta)」とは？

シエスタは伝統的なスペインの習慣で、パラグアイをはじめ旧スペイン植民地であるアルゼンチンやウルグアイでも見られます。12時から3時間ほど休み、その間に家にもどって昼寝をするなどゆっくり過ごし、また仕事に行きます。パラグアイの夏はとても暑く、気温が40度近くまで上がるので、昼間は仕事をやめて休むのは理にかなっているといえます。

しかし最近では、昼休みを入れることで仕事の能率が上がらないこと、エアコンが普及して夏でも快適に仕事ができること、家と職場を往き来するのが大変になっていることなどの理由により、シエスタをする会社や店が減ってきています。

パラグアイの人たちは朝がとても早いです。公立の学校やアスンシオン市役所は朝7時から始まります。そのほかの職種によっては6時ごろから働きはじめるところもありますが、一般的には7時30分～8時にはほとんどのところが仕事をはじめています。

朝がとても早いので、朝ご飯 (Desayuno) は軽めです。マテ茶やコシード (煎ったマテ茶をあまくして飲むもの) だけの人もいます。そのかわり、9～10時ごろにメディアマニャーナ (Media mañana) と呼ばれる遅い朝食をとります。ソージョやトルティーリャなどです。昼食 (Almuerzo) はしっかり食べます。プチェロ、ポリポリ、ギソ、ニョッキ、タジャリンなどが一般的なメニューといえます。お昼を食べたあとは「シエスタ (Siesta)」といって、昼休みをとる習慣があります。

午後には、だいたい5時ごろメディアタルデ (Media tarde または Merienda) と呼ばれるおやつ (軽食) として、チパやエンパナーダなどを食べます。そのため夕食は8時や9時ごろに軽めにすませます。レストランは、夜7時ごろから開店し、9時～11時ごろにぎやかになります。

2 パラグアイ料理^{りょうり}



主食のマンディオカ（キャッサバ）



アサードの様子

だいひょうてき
パラグアイの代表的な料理には、どんなものがあるのだろう。

パラグアイの食事では、肉とマンディオカ（Mandioca）が最もよく食べられます。マンディオカは、キャッサバと呼ばれるいもの一種で、ゆでたり、ふかしたりして肉と一緒に食べます。日本でいう米のようなものにあたり、インディヘナの時代から主食としてパラグアイ人の暮らしを支えています。マンディオカはタピオカの原料でもあります。

パラグアイの代表的な肉料理といえばアサードです。アサードは、牛、豚の肉や、ソーセージなどを炭火で焼いて食べる、パラグアイ流のバーベキューです。週末には家族で集まって家でアサードを食べることが多く、特に日曜日は外に出るとあちらこちらからアサードのいい香りがしてきます。近所の人や友人たちをさそってアサードを食べることもあります。家で用意するときは、一人あたりの肉の量はだいたい 500g として計算します。味付けはおもに塩ですが、ニンニクやコショウなどを使う場合もあります。

チパ（Chipa）

マンディオカの粉（Almidón de mandioca）とコーンミール（トウモロコシの粉〈Harina de maíz〉）でつくる無発酵パン。これにパラグアイチーズ（Queso Paraguái）というナチュラルチーズ、ラード、卵、牛乳、塩をまぜて生地をつくります。

生地はオーブンで焼きますが、もともとはタタクア（Tatacuá）と呼ばれる石窯で焼くのが伝統的なつくり方です。ドーナツ状の形をしているものが一般的ですが、楕円形のものや、ねじった形のものなど、家庭や店によっていろいろな形があります。



チパ



いろいろなチパ

■エンパナーダ (Empanada)

大きなギョウザのような形をした揚げミートパイ。中身は牛ひき肉、ゆで卵^{たまご}、玉ねぎ、ピーマン、パセリを塩コショウとクミンなどで味付けたものが一般的。ほかに鶏肉^{とり}のもの、ハムとチーズのものなどいろいろあります。小麦粉^{こむぎこ}でできた皮で包^{つつ}んで油で揚げてつくりますが、オーブンで焼いたものもあります。また、パステル・マンディオ (Pastel mandi'o) はゆでたマンディオカで皮をつくります。これらはパラグアイのファストフードの代表格といえます。



エンパナーダ

■ソパ・パラグアージャ (Sopa paraguaya)

コーンミールとパラグアイチーズでつくる、トウモロコシの塩味のケーキ。炒めた玉ねぎ、ラード、卵、牛乳（または水）をまぜて生地をつくり、型^{かた}に入れてオーブンで焼きます。

「ソパ・パラグアージャ」を日本語に直訳すると「パラグアイ風スープ」となります。その由来は、トウモロコシスープをつくっている時にうっかり火をそのままにして水分を飛ばし過ぎてしまい、後で見たら鍋^{なべ}の底にこのケーキができていたから、と伝えられています。

別の言い伝えでは、19世紀半ばに当時の大統領カルロス・アントニオ・ロペスが、出されたポレンタ（クリーム状のトウモロコシ・スープ）に、トウモロコシの粉^{こな}をさらに加えてオーブンで焼くように提案し、できあがったものが今のソパ・パラグアージャになったともいわれています。



ソパ・パラグアージャ



ソパ・ソオ

■ソパ・ソオ (Sopa So'o)

「ソオ」とはグアラニー語で「肉」の意味です。ソパ・パラグアージャの中に牛ひき肉が入ったもので、こちらはより食べごたえがあります。このほかに、チパの中に牛ひき肉が入ったチパ・ソオ（写真右）もよく食べられています。



チパ・ソオ

■チパ・グアス (Chipa guasu)

トウモロコシの実をつぶし、卵、牛乳にたっぷりのパラグアイチーズをまぜてオーブンで焼いてつくるグラタンのような料理。ラードやバターで炒めた玉ねぎを入れることもあります。こちらもパラグアイの家庭でよく食べられています。こげ目のカリッとした部分と玉ねぎのしっとりした食感^{しょっかん}がとてもおいしいです。



チパ・グアス

■ ボリボリ (Vori vori)

骨付きの牛肉、玉ねぎ、ニンジン、カボチャ、ジャガイモなどの野菜を使ってつくるスープで、これに「ボリ」が入ればボリボリの完成です。「ボリ」というのは、コーンミールでできた小さなお団子です。コーンミールにちぎったパラグアイチーズをまぜ、上記のスープのだし汁を入れて手で丸めてつくります。

最も代表的なパラグアイ料理の一つで、牛肉だけではなくとり肉のものもあります。



ボリボリ

■ ソージョ (Soyo)

牛ひき肉と野菜のスープ。ニンニク、玉ねぎ、トマト、ニンジン、ピーマンなどの野菜を粗みじん切りにして炒め、そこに水に浸しておいた牛ひき肉とお米（または短いパスタ）を入れて煮込みます。オレガノやパセリなどの香草をかけてできあがりですが、最後に卵やチーズを入れる場合もあります。野菜のうまみが牛ひき肉の味を引き出している、とてもおいしく精のつく料理です。

ソージョと一緒によく食べられているのがトルティーリャ (Tortilla) で、これは小麦粉にパラグアイチーズ、卵、牛乳を加えて塩で味付けした生地を少量の油で揚げてつくります。生地に刻んだネギを入れてもたいへんおいしくできます。



ソージョ



トルティーリャ

■ ギソ (Guiso)

米を牛肉ベースのトマトスープに入れて煮込んだ、パラグアイ風リゾットです。

煮込んで柔らかくなった牛肉や、ニンジン・ジャガイモなどの野菜がトマト味のお米によく合っています。



ギソ

■ ミラネサ (Milanesa)

牛肉に衣をつけて油で揚げた、いわゆる牛カツ。鶏肉に衣をつけて油で揚げていたイタリア系の移民に影響を受けた料理の一つ。パンにはさんでハンバーガーのようにして食べるのも人気で、屋台メニューの定番となっています。



ミラネサ

■ プチエロ (Puchero)

肉と野菜たっぷりの具だくさんのスープです。骨付きの牛肉に、刻みニンニク、玉ねぎ、ピーマン、ニンジン、カボチャ、ジャガイモなどの野菜を煮込んでつくります。お肉は「プチエロ」と呼ばれる部位のほか、「オソブッコ (Osobuco)」、「ファルダ (Falda)」という部分などを使います。お肉とたっぷりの野菜の旨味が出たスープに、塩でシンプルに味付けするのが基本ですが、トマトピューレを使う場合もあります。

ハーブ (パクチー、パセリ、ネギなど) を入れると風味豊かに仕上がるほか、短いパスタやお米を入れることもあります。



プチエロ

3 パラグアイの飲み物

水筒のようなものをもっている人をよく見かけるけど、あれは何だろう。

パラグアイの伝統的な飲み物といえばマテ茶 (Mate) です。マテ茶の茶葉のことをジェルバ (Yerba) といい、これに熱いお湯を注いで飲むのがマテ、水で冷やした冷たい水で飲むのがテレレ (Tereré) です。マテ茶は周辺のブラジル、アルゼンチン、ウルグアイでも飲まれています。テレレを飲むのはパラグアイだけです。

ジェルバを入れるコップはグアンパ (Guampa) と呼ばれており、現在は木やアルミでできたものが一般的ですが、昔は牛の角を逆さまにしてコップにしていました。これにボンビーリャ (Bombilla) という、茶葉をこす穴があいているストローをさして飲みます。寒い日にはマテを、暑い日にはテレレを、家族や友達、仕事仲間などとも一緒に回し飲むのがパラグアイ流です。

次に示すのは、代表的なグアンパとボンビーリャです。



テルモ (Termo) という魔法瓶にお湯や水を入れて、仕事場などに持って行くこともあります。マテ用のテルモとテレレ用のテルモは形が違います。どちらにも牛革や合皮のカバーがついていて、グアンパとボンビーリャを差し込めるようになっています。



テルモ

マテ茶を飲むときに、ジェルパと一緒に薬草^{やくそう} (Yuyo) を入れることがあります。薬草にはいろいろな種類^{しゅるい}があり、効能^{こうのう}もそれぞれちがっています。たとえばカアレ (Ka'arē) は、日本語ではアリタソウという、50cm ~ 1m ほどにまで成長する草で、腹痛^{ふくつう}の時によく飲まれます。またアンパウ (Ambay) は 15m ほどのセクロピアという木の葉っぱで、こちらは咳^{せき}やたんによく効きます。薬草は街角^{まちかど}などでも売っているのを見かけますが、自分の家の庭にあるものをつんで入れることも多いです。どの薬草がどの病気に効くかというのは、パラグアイの先人^{せんじん}の知恵^{ちえ}というべき貴重な知識^{ちしき}です。



街角で薬草を売っている様子

話し合ってみよう！

- ・本にのっていない料理では、これまでにどんなものを食べたことがあるだろう。
- ・パラグアイの料理に多く使われている食材は何だろう。なぜその食材が多く使われているのか考えてみよう。
- ・パラグアイでは、できたての料理を食べる習慣^{しゅうかん}があります。つくり置きをしないようにするのはなぜだろう。

4 人々の服装^{ふくそう}

パラグアイの人々は、どんな服装で生活しているだろう。
また、民族衣装^{みんぞくいしょう}はどのようなものだろう。

日常生活は、私たちと変わらない服装です。学校も指定の制服^{せいふく}や体操服^{たいそうふく}などがあります。民族衣装には、アオポイというパラグアイ独特^{どくとく}の刺繍^{ししゅう}をした服があります。ダンサパラグアージャなどでも、こうした服は使われます。



ダンサパラグアージャ



アオポイ





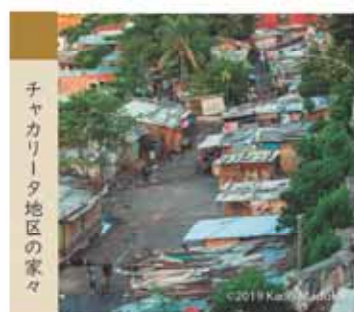
アスンシオンの高層ビル群

5 人々の住まい

パラグアイの住居の特ちょうは何だろう。



学校周辺の一般的な住居



チャカリータ地区の家々

スペイン人がパラグアイにやってきたときにはじめてのコロニアル様式がパラグアイの伝統的な建築様式といえます。シンプルな切妻屋根に赤い瓦、白い漆喰の壁の家が中庭を囲むように四角く配置されています。家屋には屋根裏がなく天井が高いのが特ちょうとなっています。日本とちがって地震がほとんどないため、壁はレンガを積むだけの家が多いようです。

パラグアイでは貧富の差が日本より激しく、広い庭にプールがついた豪邸がある一方で、板ばりや床のない家に住んでいる人も少なくありません。都市部か、地方かによっても住宅事情には違いがあります。

パラグアイでは家といえば、アパートやマンションなどではなく、一戸建てを意味します。しかし近年アスンシオン市内では、5～20階くらいの「高層マンション」がたくさん建設されるようになり、その数はどんどん増えてきています。背景には、アスンシオンでは空いている土地が少なくなっていること、土地の値段が高くなってきていることなどがあるようです。また、「コンドミニオ」（集合住宅）といって、10～20戸くらいの家を一つの大きな堀で囲み、プールやバーベキューができる共同スペースを設けている住宅もあります。

話し合ってみよう！

- ・パラグアイの夏の暑さはたいへん厳しく、暑い時期もとても長いです。そのため、夏を涼しく過ごせるように家屋にはどのような工夫がしてあるでしょう。
- ・たとえば、天井が高いことや床が石造りだと、どんな良さがあるでしょう。



パラグアイ代表を応援するサッカーファン



はだしてサッカーをする少年たち

©2019 Kado Madoka

6 スポーツ

パラグアイで人気があるのはどんなスポーツだろう。

パラグアイで一番人気があるスポーツはサッカーです。大人も子どももサッカーが大好きで、少しでも広場があれば、チームにわかれてボールをけりはじめます。国内はサッカーのクラブチームがたくさんあり、試合の日になると、道路脇でそれぞれのチームの旗やユニフォームなどが売られます。ワールドカップなどの大きな大会があると、仕事場であってもテレビの前で応援します。試合に勝ったときは旗を振り回したり、車のクラクションを鳴らしたり、花火を打ち上げたりして、街中がお祭り騒ぎになります。

ほかに盛んなスポーツというと、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、テニス、ゴルフなどです。しかし競技人口（それぞれのスポーツをしている人の数）では、サッカーをする人の数をはるかに多いです。サッカーのように足や頭・胸を使ってバレーボールをするピキ・バレーボールも、住宅街の広場でおこなわれています。

ここアスンシオンでは、2018年にパデル、2019年にビーチサッカーのワールドカップが開かれました。



パデル

©2019 Kado Madoka



ビーチサッカー

おもなプロサッカーチームとクラブ創立年



オリンピア
1902年創立



グアラニ
1903年創立



ナシオナル
1904年創立



リベルタッド
1905年創立



セロポルテーニョ
1912年創立



エスボルティーボ
ルケーニョ
1921年創立



アルパ博物館



音楽鑑賞会

7

おんがく 音楽

どくとく
パラグアイ独特の音楽とは、どのようなものだろう。

インディヘナ（グアラニー族）の音楽とヨーロッパ（おもにスペイン）の音楽がうまくとけあって、パラグアイ独特の音楽が発達しました。大きくわけて2種類あり、一つはグアラニア（Guaranía）と呼ばれるゆっくりした曲と、もう一つはポルカ（Polka）と呼ばれる速いテンポの曲です。

これらの曲を、アルパという楽器で演奏します。アルパはスペイン語でハープを意味しています。大きさはヨーロッパのグランドハープほど大きくなく、音色は明るくきれいな音です。歌の伴奏だけでなく、ソロの楽器としても使われます。風や水の音、小鳥のさえずりなど自然をテーマにした曲が多くつくられています。ほとんどの曲は楽譜がないので、目で見て耳で聞いて覚えて演奏します。

アルパは爪ではじくようにして演奏します。決まりとしては親指・人差し指・中指・薬指を使い、小指はあまり使いません。左手でリズムを刻み、右手でハーモニーを伴ったメロディを演奏します。メロディは薬指と親指で1オクターブ同時に引くのが基本です。通常、弦は38本ですが、36本や42本の場合もあります。弦はヘ長調の音階で調律されています。半音が出ないため、リャベ（Llave）という器具を使って半音を出します。最近では、アルパ本体に半音操作のできるレバーがつけられているクロマティックタイプもあります。

アルパのほかに、ギターも多くの人に人気のある楽器です。街かどでギターをひいている人を見かけますが、音楽が生活の中にとけ込んでいることがわかります。



オーケストラをバックに演奏する日本人学校の生徒

ダンス

ダンサパラグアージャ（Danza Paraguaya：パラグアイのダンスの意）は、ヨーロッパの文化とパラグアイ独自の文化が合わさり生まれたといわれています。色々な踊りのバリエーション（ポルカと呼ばれる男女ペアの踊りや、ガロペラ（Galopera）と呼ばれる男女ペアや女性グループによる踊りなど）がありますが、その一つに、頭にボトルを乗せて踊るボトルダンス（Danza botella）があります。これは、踊っている間にどんどんボトルを重ねて乗せていくのですが、あまりに高くなりすぎるので、ボトルを乗せる係の人はハシゴを使って乗せます。6～8本くらいから、時には10本も乗せる場合があります。一番上のボトルには、パラグアイの国旗と同色の、赤・白・青のリボンがつけられています。

ダンサパラグアージャを踊る時、男性はアオポイのシャツに黒いズボンにファハ（帯）、そして黒いリボンのついた帽子をかぶります。女性は裾がふわりとひるがえる、フリルの長いスカートを身につけ、髪は三つ編みにします。伝統的な衣装を身につけた人々がアルパやギターの音色に合わせて踊る姿は大変に華やかです。

カテウラ・リサイクル・オーケストラ

アスンシオンのカテウラ地区で結成された楽団で、リサイクルという名の通り、ごみをリサイクルした楽器で演奏します。カテウラにはパラグアイ最大ともいわれるごみの廃棄場があります。この地区および周辺地区には、学校に行けないなどの問題をかかえた子どもたちが多く住んでおり、元音楽教師であったファヴィオ・チャベスさんがそれらの子どもたちを集め音楽を教えていた際、生徒の使う楽器が足りなくなったことをきっかけに、ごみ山の中から空きカンなどを探し、楽器をつくるように試みただけです。アルミのカンとフォークでバイオリンを、水道管やカギでフルートを、ピンのフタでサックスをつくり出しました。

一般のオーケストラのように高価な楽器をもっているわけではありませんが、限られた資源を使い、心をゆさぶる情熱にあふれた音色を奏でるティーンエイジャーたちの姿はパラグアイ国内だけではなく海外からも注目を集め、世界中の国々に招待されてコンサートを行うまでになりました。2013年には日本にも来日し、コンサートを行っています。



ボトルダンスの練習風景

©2019 Kodo Madoka

“EL MUNDO NOS ENVÍA BASURA,
NOSOTROS LE DEVOLVEMOS MÚSICA”
-Favio Chávez

「世界はわたしたちにごみを送る。わたしたちはそれを音楽で返す。」

ファヴィオさんの言葉



リサイクル・オーケストラ
のコンサート（2019年）

8 いわ 祝いごと

パラグアイでは、年齢に関するどんな祝いごとがあるだろう。



< 1 歳の誕生日 >

パラグアイでは子どもの満1歳の誕生日を盛大にお祝いする風習があります。日本でも、子どもの成長を願う七五三がありますね。お祝いのしかたはそれぞれですが、自宅で祝ったり、またはイベント会場を借りてお祝いしたりする場合もあります。風船などで飾り付けをし、招待された子どもたちが食べられるようにお菓子もたくさん並べられます。ピエロや手品師などを呼んでショーをする場合もあります。バースデーソングを歌ってケーキの上のロウソクを吹き消したあとは、中にお菓子や小さなおもちゃなどが詰まった「ピニャータ (Piñata)」というくす玉を割るのも子どもたちの楽しみになっています。

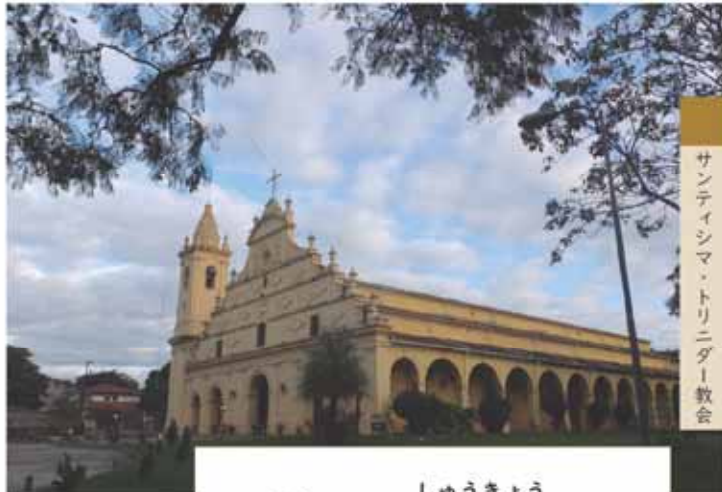


< 15 歳の誕生日 (キンセ・アーニョス) >

女の子が15歳の誕生日を迎えると「キンセ・アーニョス (15 años、スペイン語で15歳の意)」として盛大な誕生日パーティーをします。一般的に、誕生日を迎えた主役の女の子は白いドレスを着ます。欧米で貴族の令嬢たちが社交界にデビューするのが、ある時代には15歳だったことから、現在では一人前の女性になったことをお祝いする風習としてこのように残っているといわれています。

話し合ってみよう！

- ・日本では、「七五三」のとき、どのようなことをするのだろう。
- ・「キンセ・アーニョス」は、形式はずいぶんちがうものの、大人の仲間入りという点では、日本の成人式のようなものです。日本では大人の仲間入りをするときに、どのような儀式があるのだろう。



サンティシマ・トリニダー教会



セントロのカテドラルの内部

9

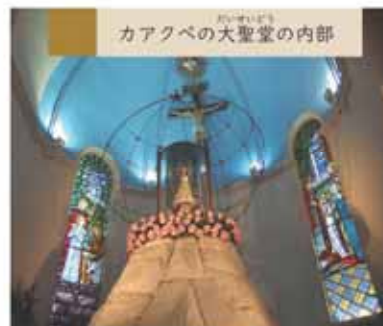
しゅうきょう 宗教

パラグアイの人々は、どんな宗教を信仰しているのだろう。

多くの人がキリスト教を信仰しています。国民の88%はローマ・カトリック教、プロテスタントが8%、無信教が2%、その他が2%とされています。憲法で国の宗教はキリスト教のカトリックと決められていますが、信教の自由が認められているので、ほかの宗教がだめというわけではありません。ユダヤ教や日本の各種宗教なども活動しています。

12月8日の祝日、「カアクペの日」には、多くの人が歩いてカアクペという街にある大聖堂をめざして歩きます。そして、大統領も出席して、その大聖堂でミサが行われます。

ほかにも「セマナ・サンタ」「クリスマス」も、キリスト教に関係した祝日になっています。



カアクペの大聖堂の内部



カアクペをめざして歩く人々

10

あいさつ

パラグアイの人にあいさつする時は、どうしたらいいのだろう。

パラグアイにはおおらかな人が多く、知らない人でも出会った時には、「オラ (¡Hola!)」(やあ)とか「コモエスタス (¿Cómo estás?)」(元気?)、別れる時には「アディオス (Adiós)」(さようなら)「アスタ・ルエゴ (Hasta luego)」(またね)と、気軽に声をかけてくれます。

また言葉ではなく、直接触れ合うことであいさつの気持ちを表すことがあります。女の人どうしでは両ほほに軽くキスをします。仲のいい男の人にも同じようにすることがあります。男の人どうしでは握手をしたり、抱き合っただけで背中をポンポンとたたき合ったりします。



ハグをしてあいさつのキスをしている様子

スペイン語とグアラニー語はどのようにちがうのだろう。

スペイン語とグアラニー語が使われており、この二つが国語に指定されています。パラグアイでは、昔この地域に住んでいたインディヘナの言葉であるグアラニー語を大切にしていこうという動きがあり、国のカリキュラムで必修科目となっています。また地方ではスペイン語よりもグアラニー語の方が日常の言葉として使われることが多くあります。

テレビ、新聞などはスペイン語が使われていますが、グアラニー語によるテレビ番組やラジオ番組も放送されています。

日本語	スペイン語	グアラニー語
おはようございます	Buenos días(ブエノス・ dias)	Mba'êichapa neko'ê?(ハ・イシャハ・ネコエ) Mba'êichapa nde pyhareve?(ハ・イシャハ・デ・ブ・ハレベ)
こんにちは	Buenas tardes(ブエナス・タデス)	Mba'êichapa nde ka'aru?(ハ・イシャハ・デ・カアル)
こんばんは	Buenas noches(ブエナス・ノチェス)	Mba'êichapa nde pyhare?(ハ・イシャハ・デ・ブ・ハレ)
お元気ですか	¿Cómo estás?(コモ・イスタス)	Mba'êichapa?(ハ・イシャハ)
とてもいいです	¡Muy bien!(マイ・ビエン)	Iporãiterei(イポ・ライテレイ)
さようなら	Adiós(アディオス)	Jajoechapeve(ジャ・ジャ・ヨ・イシャハ・ベ)
ありがとう	Gracias(グラシアス)	Aguije(アグ・イジェ)
どういたしまして	De nada(デ・ナダ)	Mba'êvére(ハ・エベレ)
お願いします	Por favor(ポル・ファボール)	Ikatupio(イカトゥピオ)
ごめんなさい	Perdón(ペルドン)	Che nyrōmi(シェ・ニロミ)
はい／いいえ	Sí(シー) / No(ノー)	Héê(ヘエ) / Nahāniri(ナハニリ)
わたし／あなた	Yo(ジョ) / Usted(ウステ)	Che(シェ) / Nde(ンデ)
たくさん／少し	Mucho(ムチョ) / Poco(ポコ)	Heta(ヘタ) / Mbovy(ボブ)
暑い	Hace calor(アセ・カール)	Haku(ハク)
寒い	Hace frío(アセ・フリオ)	Ho'ysā(ホウサ)
食べたい	Quiero comer(キエロ・コメル)	Che akaruse(シェ・アカルセ)
飲みたい	Quiero beber(キエロ・ベベール)	Che ha'use(シェ・ハウセ)
とてもおいしい	Muy rico(マイ・リコ)	Heterei(ヘッテレイ)
友達	Amigo(アミーゴ)	Angiru(アンギル)
1, 2, 3, 4, 5	Uno, Dos, Tres, Cuatro, Cinco (ウノ, ドス, トレス, クアトロ, シンコ)	Petei, Mokōi, Mbohapy, Irundy, Po (ペテイ, モッコイ, ヌボ・ハフ・ウ, イルト・ウ, ポ)
6, 7, 8, 9, 10	Seis, Siete, Ocho, Nueve, Diez (セイス, シエテ, オチョ, ヌエベ, ディエス)	Potei, Pokōi, Poapy, Poryndy, Pa (ポテイ, ポ・コイ, ポ・アブ, ポ・ルト・ウ, ハ)

12 こっき こっか 国旗と国歌



パラグアイの国旗と国歌には、どのような意味があるのだろう。

パラグアイの国旗は、上から赤・白・青の三色で、赤は「正義」、白は「平和」、青は「自由」を表しています。また国章は世界でただ一つ、表と裏でデザインがちがっています（図柄が表と裏で逆向きになる国旗は、サウジアラビアやモルドバなどに見られます）。

表の国章の中の星は「希望」を意味し、パラグアイがスペインから独立をした5月の明け方を照らす星を象徴しています。その周りを左のヤシの枝と右のオリーブの枝が丸く囲んでいるのは「栄光」を表しており、さらにその周りにスペイン語で国名が書かれています。

裏の国章は「フリギア帽」と呼ばれる帽子が掛かっている槍と、それを守るライオン、さらにその周りにスペイン語で「平和と正義」を意味する文字が書かれています。帽子は隷従から自由への解放の象徴であり、槍はパラグアイ人の戦う精神、ライオンは勇敢なパラグアイの民や兵士を意味し、自分たちの自由を守っていることを表しています。



日本人学校の二つの国旗の写真

パラグアイ国歌（歌詞の和訳）

不幸なアメリカの民を 3世紀もの間、王権が虐げた
だが、ある日 民の怒りがついに爆発し
「もうたくさんだ！」と叫び 王権を滅ぼした
我らの先祖は堂々と戦い 栄光を勝ち取った
そして、高貴な王冠を打ち砕き 勝利の帽子を高く掲げた
パラグアイ人たちよ！ 死を覚悟して共和国を守れ！
我らの勇気が自由をもたらした
独裁者も奴隷も存在しない 団結と平等が支配するところでは

作詞：フランシスコ・アクー
ニャ・デ・フィゲロア
作曲：フランシスコ・ホセ・
デバリ
編曲：レンベルト・ヒメネス

（1846年制定）

パラグアイでは、どんな祝日があるだろう。

パラグアイの祝日

1月1日 がんじつ 元日	6月12日 チャコ平和の日
3月1日 えいゆう 英雄の日	8月15日 アスンシオン市 せうりつきねんじ 創立記念日
3月下旬～4月中旬 ちゆうじゆん (毎年日が変わる) セマナ・サンタ	9月29日 ポケロンの日
5月1日 メーデー	12月8日 カアクベの日
5月14・15日 どくりつきねんじ 独立記念日	12月25日 クリスマス

日本の祝日

1月1日	元日
1月第2月曜日	せいじん 成人の日
2月11日	けんこくねん 建国記念の日
2月23日	てんのうたんじよう 天皇誕生日
3月21日前後	しゆんぶん 春分の日
4月29日	しょうわ 昭和の日
5月3日	けんぽうきねん 憲法記念日
5月4日	みどりの日
5月5日	こどもの日
7月第3月曜日	海の日
8月11日	山の日
9月第3月曜日	けいろう 敬老の日
9月23日前後	しゅうぶん 秋分の日
10月第2月曜日	スポーツの日
11月3日	文化の日
11月23日	きんろうかんしゃ 勤労感謝の日

1 英雄の日 (3月1日)

19世紀中頃、ブラジル・アルゼンチン・ウルグアイを相手 あいて におこなった戦争 (三国戦争) で当時の大統領だったフランシスコ・ソラノ・ロペスが戦死した日です。彼の愛国心をたたえてこの日が祝日になりました。

2 セマナ・サンタ<イースター> (3月下旬～4月中旬)

セマナ・サンタを日本語に訳すと「聖なる週」となります。英語ではイースター (復活祭) といい、イエス・キリストが十字架にかけられてから復活するまでを記念した、キリスト教のとても重要な行事です。日は決まっておらず、毎年、月の満ち欠けによって祝日が変わります。北半球の欧米では「春分の日」の後の最初の満月の次の日曜日がイースターとされています。土曜・日曜と合わせて4連休とする場合が多く、1年の中で最も長い連休となります。

3 独立記念日 (5月14日・15日)

1811年、スペインの植民地だったパラグアイが独立を宣言したことを記念してつくられました。アスンシオン市のセントロ (中心部) で、軍隊や警察、学生の行進があります。

4 チャコ平和の日 (6月12日)

1932年、ボリビアを相手に戦ったチャコ戦争が終わった日で、戦死した人々をたたえます。戦争後、平和議定書（平和のための取り決め）が結ばれました。



墜落したボリビア機の前に立つ
パラグアイ兵士

5 アスンシオン市創立記念日 (8月15日)

1537年、ヨーロッパから来た探検隊がパラグアイ川東岸にグアラニー族の協力のもと、砦をつくり、この日に完成させました。これが、今のアスンシオン市のはじまりです。

6 ポケロンの日 (9月29日)

ボリビアを相手に戦ったチャコ戦争では、ポケロンという場所を攻め取ったことが終戦のきっかけとなりました。このできごとを記念してつくられました。



カアクペ大聖堂

7 カアクペの日 (12月8日)

カアクペは、パラグアイの宗教の首都といわれている場所です。この日はパラグアイで一番大きなキリスト教のお祭りの日で、全国各地からカアクペを目指して人々が歩いて集まってきます。カアクペ大聖堂にあるマリア（イエス・キリストの母）の像に誓いをたて、願いがかなったら感謝の気持ちを胸に歩いてカアクペまで行き、ミサに参加するのです。多くのパラグアイ人が一生に一度はお参りに行きたいと思っています。

8 クリスマス (12月25日)

キリスト教信者が多いこの国で、1年でもっとも尊ばれる日です。イエス・キリストが誕生したのを祝い、前日の夜から25日にかけて、あちこちで花火や爆竹の音が鳴りひびきます。パラグアイで最もにぎやかで、大切にされている日です。



ショッピングセンターのクリスマス飾り



14 インディヘナの人々

インディヘナの人々は、どのような暮らしをしているのだろう。



かつての部族分布

スペイン人がパラグアイにやってくる以前から住んでいた人々をインディヘナ（先住民）と呼びます。パラグアイに住むインディヘナの人々は総人口の約1.5%にあたる11万3000人といわれています。その内、約56%の人たちがチャコ地方に住んでいます。インディヘナの人々は、かつては簡単な農業や狩り・漁・採集で生計をたてていましたが、現在では、働きに出かけたり、手工芸品をつくって売ったり、農業をしたりして生活する人たちが増えてきています。パラグアイのインディヘナは、使う言葉によって、大きく5つの語族にわかれ、さらにその中は17の部族にわかれます。それぞれの語族においても部族間では微妙に言葉が違うそうです。

スペイン人と友好的な関係を築いていったのは、おもにグアラニー語族（⑫～⑰）の人たちです。かつては、それぞれの部族は左の図のように自分たちのテリトリーをもっていましたが、現在では必ずしもこのとおりではありません。

インディヘナの語族と部族

サムコ語族：	①アジョレオ族 ②イシル族
マタコ語族：	③ニヴァクレ族 ④マカ族 ⑤マンジュイ
マスコイ語族：	⑥エンヘット族 ⑦グアナ族 ⑧サナパナ族 ⑨アンガイテ族 ⑩トバ・マスコイ族
グアイクル語族：	⑪コム・リク族
グアラニー語族：	⑫グアラニー・オシデンタレス族 ⑬グアラニー・ニャンデバ族 ⑭バイ・タブイテラ族 ⑮ンピア族 ⑯アバ ⑰アチェ族

＜このページは「わたしたちのパラグアイ 第2版（2014）」より引用しています＞



マカ族の村をたずねて

マカ族の人たちは、独特の機織り^{どくとく はたお}で布をおり、バッグやファハなどをつくっています。できた布製品^{ぬのせいひん}は空港やバスターミナル、セントロなど人がよく集まるところで、笛、ネックレスなどといっしょに売られています。ですから、マカ族は私たちが一番よく見かけるインディヘナの人たちです。マカ族の村はパラグアイ国内で4か所あり、あわせて2000人ほどの人がいるようです。学校から車で20分ぐらいのところにある、ハルディン・ボタニコの近くのマカ族の村をたずねてみました。

村の中には日本国大使館が草の根援助で建てた集会所があり、木でつくられた簡単な家や、教会、学校、診療所^{しんりょうじょ}、サッカークラウンドやバレーボールコートがありました。訪問するとなかならずといっていいほど、民族衣装^{みんぞくいしょう}に着替えて踊りを見せてくれたり、いっしょに写真に写ってくれたりします。踊りを披露したり、写真にいっしょに写ったりするのも、マカ族の人たちが生活するのに必要なお金を得るための大切な手段^{しゅだん}なのです。

マカ語講座

（日本語＝スペイン語＝マカ語）

やあ＝オラ＝サナン

ありがとう＝グラ
シアス＝テレビシイ

友だち＝アミーゴ＝
ワアイカ



マカ族のカシケ（酋長）

マカ族のカシケ（酋長）、シュミュエイさんの話

私たちは、以前はチャコ地方に住んでいました。

その後何度か村の場所が変わり、1985年にハルディン・ボタニコの裏にあった村が洪水で流されてしまったので、ここにやってきました。わたしが若者のころまでは、狩りをして生活をしていましたよ。わたしの家は代々カシケで、わたしの父もカシケでした。世の中が変わってきたのでわたしが最後のカシケかも知れません。若者達にマカ族の伝統と文化を伝えなければならないと思っています。

15 パラグアイの学校

日 本			パラグアイ		
年齢			年齢		
23	6	大学	23	6	大学
22	5		22	5	
21	4		21	4	
20	3		20	3	
19	2		19	2	高等師範学校
18	1	高等専門学校	18	1	
17	3		17	3	人文科学、技術、商業 (中等教育)
16	2		16	2	
15	1	高等学校	15	1	
14	3		14	9	第3サイクル (基礎教育)
13	2		13	8	
12	1	中学校 (義務教育)	12	7	
11	6		11	6	第2サイクル (基礎教育)
10	5		10	5	
9	4	小学校 (義務教育)	9	4	
8	3		8	3	第1サイクル (基礎教育)
7	2		7	2	
6	1	就学前教育	6	1	
5			5		就学前教育

パラグアイの学校は、日本人学校とどのようなちがいがあるのだろう。

パラグアイの初等教育 (La Educación Escolar Básica <EEB>) は9年間の義務教育となっています。小学校1年から3年が第1サイクル、4年生から6年生が第2サイクル、そして7年生から9年生 (日本では中学1年から3年に相当) が第3サイクルとなっています。就学前教育 (ニベル・イニシアル <Nivel Inicial>) は公立学校や私立学校に併設された幼稚園があります。対象は年中 (4歳)、年長 (5歳) が多くですが、年少 (3歳) またはそれ以前 (2歳) から通える学校も私立などで一部あります。初等教育を卒業すると、日本の高校1年生から3年生に相当する中等教育があり、いわゆる普通科以外にも、職業学校や専門学校などがあります。その後、高等教育、つまり大学があります。

公立学校の授業は午前の部 (およそ7時～11時) に通う子と午後の部 (およそ13時～17時) に通う子にわかれているので、半日の学校生活となります。ですから、給食を食べたりお弁当を持て行ったりする習慣はありません。しかし、休み時間にカンティーナ (売店) でジュースやエンパナーダやサンドイッチなどを買ったり、家からおやつを持ってきたりして食べる児童生徒が多く見られます。また、近年では午前と午後にわたって全日授業をする学校も増えています。

授業が始まる前に校庭で国旗をあげ、国歌を歌います。テストは1年間に7月と10月で2回ありますが、成績が悪いと2月に追試験を受けて、それでもだめだったらもう一度同じ学年を勉強します。

学校で使われている教科書は学年ごと・科目ごとにわかれています。



国語



社会



数学



自然科学と保健



グラナニー語

月

日

学校で取り上げる記念行事

ここにあげている記念日^{きねんじ}については、全校朝会^{ぜんこうちようかい}で由来^{ゆらい}などを紹介^{しょうかい}したり、みんなで活動したりします。

2月	24日	パラグアイ女性（じょせい）の日
3月	1日 移動祝日	英雄（えいゆう）の日 セマナ・サンタ
4月	7日 14日 19日 23日 30日	健康（けんこう）の日 アメリカの日 インディオの日 本の日 先生の日
5月	1日 14・15日 15日 20日 20日 31日	メーデー 独立記念日（どくりつきねんじ） 母の日 農業（のうぎょう）の日・パラグアイ国歌の日 ベルナルディーノ・カバリエーロ将軍（しょうぐん）の誕生日 禁煙（きんえん）の日
6月	5日 12日 16日 19日 25日	生活環境（せいかつかんきょう）の日 平和（へいわ）の日 父の日 木の日 パラグアイの本の日
7月	24日 30日	フランシスコ・ソラノ・ロベス将軍（しょうぐん）の誕生日 友情（ゆうじょう）の日
8月	15日 15・16日 22日 30日	国旗（こっき）の日 アスンシオン市創立（そうりつ）の日 アコスタ・ニュの日 パラグアイ伝統文化（でんとうぶんか）の日 警察官（けいさつかん）の日
9月	7日 8日 20日 21日 22日 29日	ホセ・F・エスティガリビアの日 工業（こうぎょう）の日 アルファベットの日 ロドリゲス・デ・フランシア博士（はかせ）の日 青年の日 クルバイトウの戦い（たたかい）の日 ボケロンの戦い（たたかい）の日
10月	4日 5日 11日 12日 16日 31日	動物（どうぶつ）の日 道の日 パラグアイの詩人（しじん）の日 イスパニアの日 栄養（えいよう）の日 貯蓄（ちょちく）の日
11月	1日 16日 24日	諸聖人（しよせいじん）の日 電子通信（でんしつうしん）の日 国際連合（こくさいれんごう）の日
12月	8日 25日	カアクベの日 クリスマスの日

パラグアイ国の文部省が決めている1年間の学校活動（＜＞内は2019年）

2月中旬～下旬 ^{ちゅうじゅん げりゅん}	<2月21日>	新年度前期授業開始 ^{しんねんどぜんき じゅぎょうかいし}
7月上旬～中旬 ^{じょうじゅん ちゅうじゅん}	<7月8日－19日>	冬休み（2週間程度） ^{ふゆやすみ（2しゅうかんていど）}
7月下旬	<7月22日>	後期授業開始
11月末 ^{まつ}	<11月29日>	授業終了 ^{じゅぎょうしゅうりょう}
	<11月30日－2月20日>	夏休み（約3か月間） ^{なつやすみ（やく3かげつかん）}

カンポベルデ校と日本人学校の友情週間での交流



カンポベルデ校 (Centro Educativo Campoverde)

カンポベルデ校の子どもの人数 (人)

ハルディン	年中 26
ブレスコラール	年長 26
1 年	26
2 年	26
3 年	25
4 年	25
5 年	25
6 年	25
7 年	24
8 年	24
9 年	24
高 1 年	22
2 年	17
3 年	14
合計	329

1 学年の定員は 26 名
(2019 年 9 月現在)

カンポベルデ校は、「将来の有徳なリーダーの育成を目指す」という校訓を掲げ、1993 年にスタートした、アスンシオンにある公立校です。2000 年 2 月に現在の場所に移転し、2019 年には、全校で約 330 人が集う大きな学校へと成長しました。

1 日の授業は、7:00 ~ 15:00 までとなっています。
毎朝 20 分間の全校集会があります。パラグアイの国歌を歌い、国旗をあげ、先生の話聞きます。

クラブ活動としてサッカークラブと音楽クラブが毎日の放課後 15:00 以降に行われていて、多くの児童生徒が参加しています。

また 1 年間のおもな行事としてサンファン祭り (6 月)、フォルクローレ祭り (8 月)、友情週間 (9 月)、スポーツデー (9 月)、家族の日 (10 月)、スクール・オブ・トゥモローの全国集会 (11 月) があります。

アスンシオン日本人学校
じかんわりひょう
 小学5年生の時間割表(2019年)

	時間	月	火	水	木	金
1	8:30~9:15	算数	英語	家庭	総合	理科
2	9:25~10:10	国語	音楽	家庭	算数	道徳
3	10:30~11:15	音楽	社会	英会話	国語	国語
4	11:25~12:10	社会	スペイン語	国語	理科	算数
5	13:20~14:05	理科	算数	算数	社会	図工
6	14:15~15:00	学活	国語	総合	英語	図工
7	15:10~15:55	裁量	体育	児童生徒会	体育	体育

カンボベルデ校
じかんわりひょう
 小学5年生の時間割表(2019年)

時間		月	火	水	木	金
1	7:00~7:20	集 会				
1	7:20~8:00	国語	国語	国語	国語	国語
2	8:00~8:40	算数	算数	体育	算数	ダンス
3	8:40~9:20	グアラ ニー語	社会	算数	グアラ ニー語	算数
	9:20~9:40	(休けい)				
4	9:40~10:30	社会	保健	理科	技術	グアラ ニー語
5	10:30~11:10	音楽	英語	英語	技術	英語
6	11:10~11:40	英語	英語	英語	技術	英語
	11:40~12:20	(昼食・休けい)				
7	12:20~13:20	英語による授業（算数・理科・社会・英語・英単語）				
8	13:30~14:10	英語による授業（算数・理科・社会・英語・英単語）				
9	14:10~15:00	英語による授業（算数・理科・社会・英語・英単語）				

じかんわり
 時間割は、このようになっています(例:5年生)。

きんねん
 近年、アメリカのプログラムを使って、英語を用いながらいろいろな教科を学習しているのが特
きょうか
 ちょう的です。

2019年には、アスンシオン日本人学校と12回目の友情週間(セマナ・デ・ラ・アミスタ)が行われました。



カンボベルデ校で日本人学校の生徒が授業体験



日本人学校でカンボベルデ校の児童が
 日本の学校体験

日本パラグアイ学院 (Colegio Japonés Paraguayo)



この学校は2001年に元駐日パラグアイ大使の豊歳直之氏によって創設された私立の学校で、幼稚園・小学校・中学校・高校が併設されています。同校の教育理念は、「パラグアイと日本の二つの文化を重んじ、人の上にたつて国の発展に寄与することのできる人材を育成する」というものです。日系人の主導で設立された同校ですが、現在、児童生徒のほとんどは非日系のパラグアイ人です。在籍する児童生徒数は約300人。そのうち非日系のパラグアイ人が85%、日本にルーツをもつ子どもたちが15%ほどです。50名以上の教師が在籍し、日本語教師も8名ほどいます。

同校のカリキュラムは大きく分けてスペイン語教育課程と日本語教育課程の二つ。スペイン語教育課程は、パラグアイ教育文化省が定める国のカリキュラムに沿って進められています。国語、算数、グアラニー語、芸術教育（図画工作・音楽）、社会（倫理、歴史・地理、人類学、哲学）、技術、コンピューター、体育、自然科学、保健教育、特別活動、道徳、英語、物理（中等課程）、化学（中等課程）といった科目が定められています。小学部は学年ごとに担任がいるほか、音楽、美術、体育、グアラニー語、英語、算数は別の教師が授業を担当しています。

日本語教育課程は、同校独自のカリキュラムとして、小学部では週に5日（計10コマ）、中高等部では週に4日（計5コマ）、小学校低学年の1～3年生までは学年別、小学校高学年と中・高等部の4～12年生はレベル別にクラス分けされて日本語の授業が行われています。生徒たちの日本語のレベルは、日本語をほぼ初めて学ぶ子ども（ゼロ初級）から、幅広く日本語を理解できる（日本語能力試験2級）程度までとなり、実際に日本語能力試験を受験する生徒も毎年30名ほどいるそうです。このほか、そろばん、和太鼓といった日本文化の授業なども行われています。



日本パラグアイ学院の授業風景

学校行事もいろいろあり、パラグアイの伝統行事のほか、日本の行事も行われています。たとえば3月にはひな祭り、5月にはこどもの日、7月には七夕、9月には敬老の日をお祝いするほか、10月には日本祭りという保護者会によるお祭りが開催されています。これ以外にも6月にはパラグアイの伝統的な行事であるサン・フアン祭り、8月にはfolklore祭りなどを開催しています。同校ではこれら以外にも教育の一環として、さまざまなイベントをおこなっています。

学校が始まるのは7時50分。終わるのは、16時00分。通常、パラグアイの公立校は午前中、または午後のみの授業ですが、この学校は全日制です。近年は公立校でも全日授業を実施する学校も増えてきていますが、すべての学校で行われているわけではありません。全日制だからという理由で同校を選択する家庭もあるようです。同校の児童生徒は放課後に習い事をしている子も多くいます。絵画、英語、水泳、パレエ、ギター、ドラム、ピアノなどです。学校の放課後のクラブ活動に参加している子どももいましたが、これはバレーボールとサッカーのみ。希望者が週一回ほど参加する形式だそうです。

帰りは、幼稚園から高校までの全校生徒が体育館に集まります。ここで、全員で帰りの会をし、その後、保護者の送迎を待ちます。しばらくすると、裏門が開き、保護者が子どもを迎えに入ってきます。門の外の通りは送迎の車で大渋滞になります。送迎には、学校側に事前に知らせている人物が迎えに来るきまりとなっており、保護者のほか、運転手が迎えに来るという子どももいるようです。



高等部の卒業式



ニホン・ガッコウ (NIHON GAKKO)

1993年に設立された私立学校。国費留学生として日本で研修を受けたパラグアイの方が、日本式の教育にとっても感銘を受けたことから、こうした校名の学校を設立しました。運動会も日本的な種目を取り入れて行っています。

幼稚園から高校（2歳～18歳）までの一貫教育を行っていて、今は大学・大学院も併設しています。約3000名が通う大きな学校です。授業は午前の部と午後の部にわかれています。この学校に通う生徒の95%以上はパラグアイ人です。日本文化を学んだり、日本の学校風に規律正しい学校生活を送ったりしています。授業はスペイン語ですが、グアラニー語・英語・日本語も学習しています。時間割の例は次の通りです。

小学5年生の時間割の例（午前の部 2019年）

時 刻	月	火	水	木	金
7:20 ~ 8:00	国 語	ダンス・空手	国 語	算 数	国 語
8:00 ~ 8:40	体 育	技術家庭	算 数	国 語	算 数
8:40 ~ 9:00	(休けい)	(休けい)	(休けい)	(休けい)	(休けい)
9:00 ~ 9:40	算 数	算 数	社 会	保 健	日本語
9:40 ~ 10:20	英 語	情 報	社 会	演 劇	理 科
10:20 ~ 11:00	音 楽	国 語	図 工	グアラニー語	理 科

中学2生の時間割の例（午前の部 2019年）

時 刻	月	火	水	木	金
7:15 ~ 7:55	会計学	体 育	Unisoft	数 学	音 楽
7:55 ~ 8:35	Omopa	体 育	方法論	数 学	演 劇
8:35 ~ 9:15	グアラニー語	グアラニー語	日本語	数 学	日本語
9:15 ~ 9:35	(休けい)	(休けい)	(休けい)	(休けい)	(休けい)
9:35 ~ 10:15	グアラニー語	方法論	国 語	保 健	詩の朗読
10:15 ~ 10:55	倫 理	歴 史	国 語	保 健	歴 史
10:55 ~ 11:30	倫 理	グアラニー語	国 語	保 健	歴 史
11:30 ~ 11:45	(休けい)	(休けい)	(休けい)	(休けい)	(休けい)
11:45 ~ 12:25	理 科	国 語	数 学	科 学	英 語
12:25 ~ 13:00	オリエンテーション	国 語	数 学	理 科	ダンス・空手

イツルベ校 (Colegio Nacional Vicente Ignacio Iturbe)



イツルベ校の校舎



イツルベ校の授業の様子

日本人学校の近くにある現地の公立小中学校。小学1年生から中学3年生までが通っています。この学校も午前の部と午後の部にわかれています。校内には、休けいで食べるおやつを売っているカンティーナがあります。

かつては日本人学校と交流を行っていましたが、現在では、近くに日本人学校があることを、児童生徒たちはあまり知らないようです。1学年1学級程度の規模です。

中学2年生の時間割の例（午前の部 2019年）

時刻	月	火	水	木	金
7:00 ~ 7:40	美術	国語	音楽	数学	数学
7:40 ~ 8:20	美術	国語	音楽	数学	数学
8:20 ~ 9:00	保健	保健	技術家庭	数学	体育
9:00 ~ 9:40	保健	倫理	技術家庭	歴史	体育
9:40 ~ 9:50	(休けい)	(休けい)	(休けい)	(休けい)	(休けい)
9:50 ~ 10:30	技術家庭	保健	グアラニー語	総合	グアラニー語
10:30 ~ 11:10	技術家庭	理科	グアラニー語	総合	グアラニー語
11:10 ~ 11:50	国語	理科	技術家庭	歴史	歴史
11:50 ~ 12:30	国語	倫理		歴史	総合

4

1 パラグアイのおもな産業

パラグアイの産業や経済には、どのような特色があるのだろう。

パラグアイの経済は、第1次産業である農業および牧畜業が中心です。一部の軽工業を除くと工業はそれほど活発とはいえません。近くの国とくらべて観光で人をよべるようなところも多くはありませんが、パラグアイには豊かな自然が多くあり、エコツアーなどにおとずれる人が増えてきています。

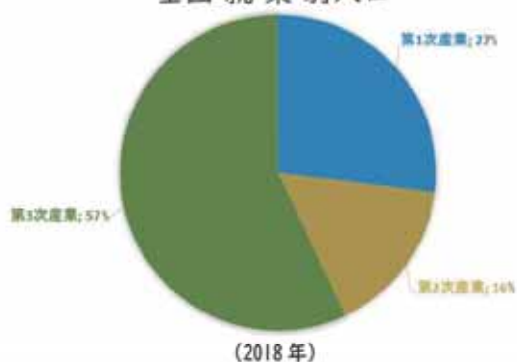
GDP（国内総生産）は、2000年の82億ドルから2017年の351億ドルへと急成長しており、近年も安定した成長を続けていることから、外国人投資家や企業の注目を集めています。農業中心の経済構造は基本的に変わっていませんが、年間900万～1000万トンをはこる大豆の生産・輸出と、増加傾向にある牛肉の輸出に支えられ、パラグアイの経済は年々成長しているといえます。

働いている人の人口は、農村部では圧倒的に農業をしている人が多いのですが、アスンシオンなどの都市部では、逆にサービス業を中心とした第3次産業といわれる仕事をしている人が多い状況です。パラグアイ全体でも、第3次産業の仕事をしている人が半数以上をしめています。

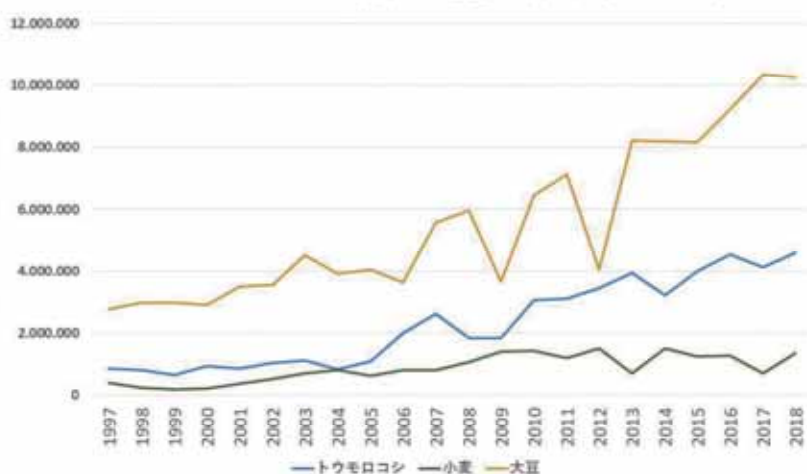
主要な輸出品である大豆、トウモロコシについては、右図に示すよう

に、90年代の終わりから、急速に生産量が増えています。特に、大豆の生産量は世界第6位、輸出額も世界第4位となっています。（2018年）

全国就業別人口



パラグアイの穀物生産量の推移（万トン）

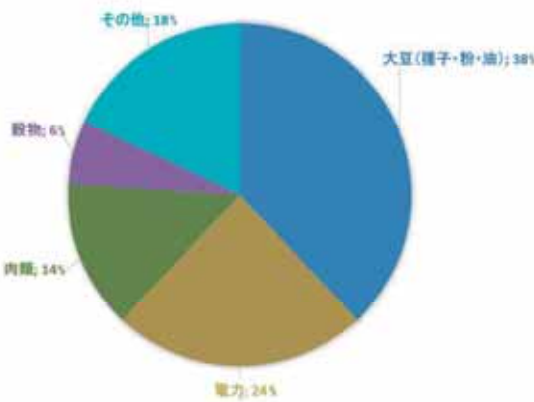


牧畜に関しては、牛肉の生産に力を入れていて、輸出量も年々拡大し、世界第6位となっています。南米だけではなく、ロシアやイスラエルにも多くの食肉がパラグアイから輸出されています。近年では、品種の改良が進み、品質も向上しているため、今後いっそう輸出が増えることが見込まれています。

そのほかの輸出用の農作物としては、ゴマ、綿花、サトウキビなどがあります。その中でもゴマは比較的新しい作物であり、ここ数年で急速に生産量をのばしています。パラグアイ産のゴマは日本にも多く輸出され、日本にとっての主要なゴマ輸入先となっています。

パラグアイのおもな輸出相手国は、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ロシアです。特に南米の二大国であるブラジルとアルゼンチンとの貿易は活発で、パラグアイの経済には、両国の経済情勢が反映されているといえます。

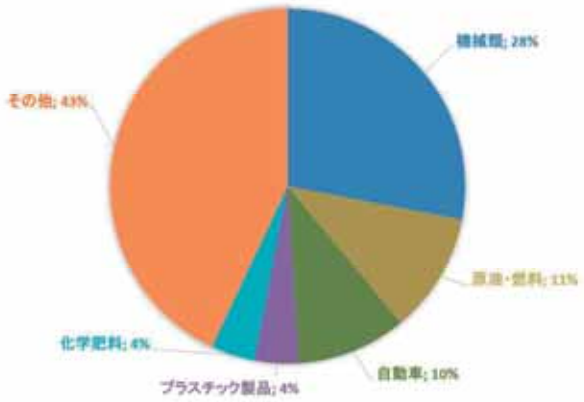
輸出の内訳 (2017 年)



おもな輸出相手国 (2017 年)

	輸出相手国	割合 (%)
1	ブラジル	32.0
2	アルゼンチン	13.4
3	チリ	7.2
4	ロシア	6.8
5	トルコ	3.3

輸入の内訳 (2016 年)



おもな輸入相手国 (2016 年)

	輸入相手国	割合 (%)
1	中国	27.6
2	ブラジル	24.5
3	アルゼンチン	14.4
4	アメリカ合衆国	7.1
5	日本	2.3
5	ドイツ	2.3



2

交通網

パラグアイは、日本とほぼ同じ面積の国土をもっています。
広い国内には、どのような交通網が広がっているのだろう。

(1) 陸路

パラグアイの道路の総延長距離は、8万km以上といわれ、そのうち約7万kmの道路は舗装されていません。鉄道のないパラグアイにとって、国道は最も重要な陸上輸送ルートで、国内の重要な地域を結んでいます。現在、主要な舗装道路は、8756 kmあり、2019年現在、12の国道があります。今後さらに、22の新しい国道にわけられる予定です。



おもな国道は、アスンシオン～エンカルナシオンを結ぶ国道1号、アスンシオン～シウダー・デル・エステ間を結ぶ国道2号・7号、トランスチャコと呼ばれる国道9号です。国道9号は、となりの国のボリビアまで続いています。ブラジルのパラナグア港までの道路や、ブエノスアイレスまでを結ぶ



道路は、貿易のためにはとても重要です。また、となりの国のブラジル、アルゼンチン、ボリビアの各都市や、チリ、ウルグアイなどに向けた国際長距離バスが、アスンシオンのバスターミナルからたくさん運行されています。

(2) 空路

シルビオ・ペティロッシ国際空港は、パラグアイ国内で最も大きい空港です。首都アスンシオン市のとなりにあるルケ市にあります。1980年3月、アルフレド・ストロエスネルの軍事政権の間に、現在の場所に建てられ、その時は「ストロエスネル大統領」国際空港と命名されました。ストロエスネル政権が終わり、1989年に民主主義が回復されると、パイロットで航空の先駆者であるシルビオ・ペティロッシを記念して、「シルビオ・ペティロッシ」国際空港に改名されました。

開港以来、シルビオ・ペティロッシ空港では、多数の国内外の航空会社が運行しています。2020年3月現在、国内線3か所と国外9か国を結ぶ合計12の航空会社があります。2012年に空港の拡張と改修工事が実施され、このターミナルを通過する乗客数は、年間120万人に増加しました。

(3) 水路

パラグアイには約3000kmの内陸水路があります。パラグアイ川とパラナ川は国の二つの主要な川です。パラグアイ川は北から南に流れ、パラグアイ南西部でパラナ川に合流し、パラグアイの港に向かう船の大部分の入り口であるラプラタ川の河口に向かって流れています。

アスンシオンの南に位置するビリェタは、パラグアイの主要な港です。ここは、国内唯一の近代的な港であり、ほかにもエンカルナシオンとサンアントニオにも主要な港があります。



パラグアイでは、どんな伝統工芸品がつくられているのだろう。

パラグアイでつくられている工芸品の中で、代表的なものは「ニャンドウティ (Ñanduti)」と呼ばれる手芸品です。アスンシオン近くのイタグアという町でさかんにつくられています。起源はアラブですが、スペインを経由して18世紀にパラグアイに伝わりました。そして、パラグアイの自然（植物や動物）をモチーフにした独特の美しく細やかな模様のレース編みとして独自に発達してきました。「ニャンドウティ」という名前は、美しい巣をつくるクモの名前から来ているのだそうです。

そのほかにも、アレグアやイタの町では焼き物が、アスンシオンのとなりにあるルケの町では金銀細工やアルパ (Arpa) の製作がさかんです。



アレグアの町



手作りの銀細工

<ニャンドウティのつくり方>

- 1 木枠に麻布を強くはる。
- 2 布に下絵をかく。
- 3 中央から刺繍をはじめる。
- 4 刺繍が完成したら木枠を外し、手洗いして天日で干し、のり付けをする。



ニヤンドウティにまつわるお話

山奥の森の中にあったインディヘナの部落の話です。インディヘナの 酋長の息子が、ある美しい娘と結婚することになりました。娘の父親は、酋長の息子にこう言いました。

「娘のために何かすばらしいプレゼントをするように」

酋長の息子は、大好きな彼女のために何かめずらしいものを探してこようと思い、森の奥へ奥へと出かけていきました。娘は彼の帰りを楽しみに待っていました。ところが、彼は何日たっても帰ってきませんでした。

来る日も来る日も「明日こそは」と思いながら待ち続けましたがとうとう彼は帰ってきませんでした。ある日、娘は「彼を探しに行こう」と決心し、森の中に入っていくことにしました。周りの人たちは必死でとめました、娘の願いには勝てません。娘は危険な動物たちがたくさんいる森の中をあちこち探しまわりました。

そうしたある日、娘はとうとう、トラに襲われて変わりへた彼の姿を見つけました。娘はそれから三日三晩、彼のそばで泣き続けました。涙も枯れへたとと思われるころ、彼のそばにあった木の枝にふと目をやると、そこには美しいクモの巣がはられていました。太陽の光を浴びて、きらきらと銀色に輝くそのクモの巣に娘は強く心を打たれました。娘は一匹のクモが自らはきだす細い糸で、網目模様をつくりあげていく動きをじっと見ていました。

村にもどった彼女は、そのクモの動きを思い出しながら、素晴らしい織物をつくり上げました。それはクモの糸のように細く、クモの巣のように繊細で美しいものでした。それ以来その織物は、クモの巣（ニヤンドウティ）とよばれるようになったそうです。その技術がインディヘナの女性たちに広まり、今ではパラグアイを代表する伝統的な織物として有名になりました。

「わたしたちのパラグアイ 第2版」より引用



アルパのつくり方

アルパは、音を調節する金具がつけられるカベサ (Cabeza)、胴体にあたるカハ (Caja)、カベサとカハをつなぐパランカ (Palanca) にわけられます。アルパは、この三つの部分をそれぞれつくり、組み立て、金具をつけて、最後に弦をはって完成です。



1 カハをつくる

カハは、箱という意味です。カハの横を最初につくり、次に、裏側にあたる丸い部分をつくり、最後に弦を通す表側のカラ (Cara) をつけます。そして、ニス (ニス) をきれいに塗って磨きます。

2 カベサをつくる

型^{かた}の木に合わせて、
木を切り取ります。同じ
ものを2枚つくってはり
合わせます。そして、ニ
スを塗って磨きます。

はり合わせているところ

2枚を合わせた
カベサ



3 パランカをつくる

木の棒^{ぼう}を丸く削^{けず}って
いきます。最後にニス
を塗り、きれいに磨き
ます。



組み立てる作業



弦をはる作業

4 組み立てて弦をはる

それぞれにつくった、カハ、カベサ、パランカを組み立て、最後に弦をはります。弦は、わかりやすいように「ド」の音が青色、「ファ」が赤色、それ以外が白の3色にわけられています。弦の材質はナイロンですが、昔は馬のしっぽの毛が使われていたこともあったそうです。

パラグアイの政治のしくみはどうなっているのだろう。

パラグアイの正式な国名はパラグアイ共和国といい、立憲共和制の国です。日本の政治と同じで「立法（法律をつくる）」「行政（政治を実際に行う）」「司法（裁判を行う）」がそれぞれの働きをする「三権分立」のしくみになっています。

○ 立法

立法府（国会）は、二院制で上院と下院があります。定数は上院 45 名、下院 80 名です。被選挙権（立候補できる権利）は、上院が 35 才以上、下院が 25 才以上のパラグアイ国民です。議員数の配分は、各政党が獲得した得票率により決定されます（※ドント方式）。議員の任期は 5 年で大統領選挙と同時に行われます。選挙権は 18 才以上の国民にあり、有権者は、2018 年 4 月現在で、約 260 万人います。

※ドント方式・・・

各政党の総得票数をそれぞれ 1、2、3・・・と自然数で割っていき、得られた商（得票数）の大きい順に議席を配分する方式です。日本でも、参議院・衆議院の比例代表選挙などに用いられています。



国会議事堂の外観



国会内の本会議場

○ 行政

大統領は直接選挙で選出され、任期は 5 年です。1992 年の憲法改正により、2 期連続で政権を担当することはできなくなりました。大統領は、国家元首であり、陸海空 3 軍の最高司令官です。また、各大臣を任命して政治を行います。2018 年 4 月に大統領選挙が行われ、マリオ・アブド・ベニテス氏が選ばれました。



○ 司法

司法のしくみは、三審制で地方裁判所、高等裁判所、最高裁判所があります。最高裁判所の判事は9人で、その中から毎年、最高裁判所長官を決めます。司法審議会が候補者を選び、国会（上院）と行政の同意を得て就任します。任期は5年です。



最高裁判所

高等裁判所

地方裁判所

裁判の種類

民事（離婚・損害賠償など個人間のトラブルに関係すること）

刑事（犯罪に関係すること）

労事（仕事に関係すること）

パラグアイは、南米のほかの国とどのようなつながりをもっているだろう。ここでは、特徴的な二つの例について紹介します。

＜南米南部共同市場（メルコスール）の発足＞

南米南部共同市場（メルコスール）は、エリア内の関税をなくすことなどを目的とした関税同盟で、1995年1月1日に発足しました。2018年現在、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイの4か国が加盟していて（ベネズエラは加盟資格停止中、ボリビアは加盟議定書に署名済で各国の批准待ち）、チリ、コロンビア、エクアドル、ペルー、ガイアナ、スリナムの6か国が準加盟国となっています。

1995年1月より、加盟国どうしの関税は原則としてゼロになっています。現在、自動車、自動車部品および砂糖を除き、関税はかかりません。このような例外品目は国ごとにも決められています。

2011年6月、アスンシオンで開催された第41回メルコスール首脳会合に、日本が初めて招待されました。松本剛明外務大臣（当時）がスピーチの中で、成長戦略の柱の一つである経済の協力を進めることの大切さを述べるとともに、日本とメルコスール間の経済関係をより良くするための場として、「日・メルコスール経済対話」の立ち上げを提案して、2012年11月にブラジルで「第1回 日・メルコスール経済関係緊密化のための対話」を開催しました。その後、2017年5月までに4回の対話を実施しています。



メルコスールの旗

アンデス共同体

メルコスール



<国際共同開発プロジェクト～イタイブダム計画>

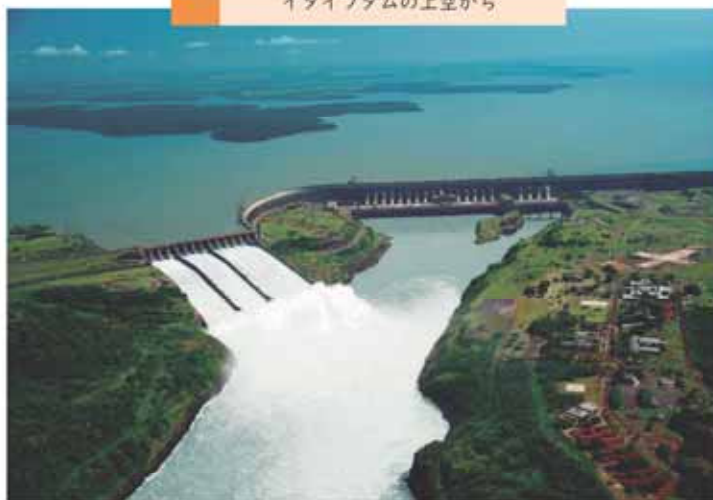
イタイブダムは、ブラジルとパラグアイの国境を流れるパラナ川につくられた巨大なダムです。ブラジルとパラグアイが共同出資し、完成後の管理も両国が共同で行っています。

複数の国の国境を流れる国際河川を横断するダムを建設するためには、何より国際協力が大切です。開発計画の出発点は、1966年にブラジルとパラグアイの間で結ばれた「イグアス協定」でした。当初は、ブラジル単独で考えていたパラナ川の水力開発を、2国間の共同プロジェクトとして実施することになったのです。この水力発電プロジェクトで産み出される電力を2国間で均等にわけ、さらに一方が使いきれない分のあまった電力については、他方が優先的に買い取ることができるという方式についても合意しました。

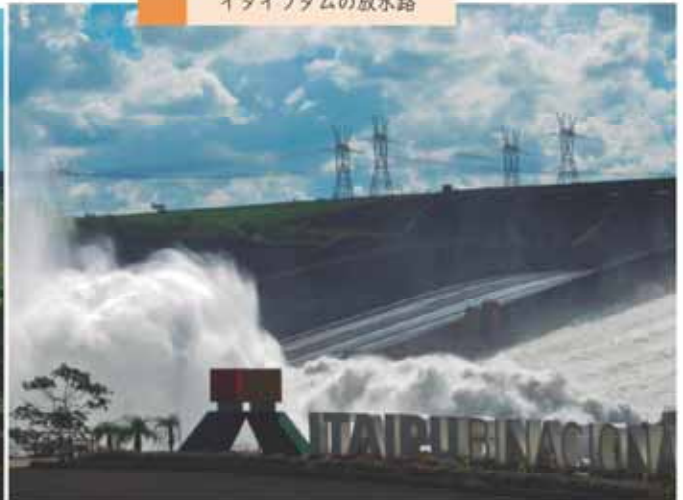
このイグアス協定に基づき、ブラジルとパラグアイの国際共同事業体として「イタイブ・ピナシオナル (Itaipu Binacional)」公社が1974年に設立され、1975年10月にはダムの工事に着工しました。土木工事の最盛期の1978年には3万2000人の建設労働者が現場で働き、スケジュール通りに1982年には、ダム本体の工事を完成させました。

ついに、1984年5月に第1号基の運転を開始して、最初にパラグアイに送電をしました。現在、総発電出力は中国の三峡ダムに次ぐ世界第2位となっています。水力によって発電した電力は、ブラジルとパラグアイで均等にわけることになっていますが、人口の少ないパラグアイにとっては、その電力の一部で国内需要のほぼすべてを満たせるので、残りはブラジルに売電しています。

イタイブダムの上空から



イタイブダムの放水路



なぜ、遠く離れたパラグアイにたくさんの日本人が
移住したのか知りたいね。

(1) 戦争前の移住

■なぜパラグアイに？

パラグアイへの移住がはじまったのは、1936年（昭和11年）8月のことです。ラ・コルメナに11家族81人の人々が移住してきました。なぜ、パラグアイへの移住がはじまったかというと、日本の国策移民の最大の受け入れ国であったブラジルで、日本人をふくむ外国人移民の受け入れの人数を制限したからです。そのため、日本政府はブラジルにかわる新たな移住先としてパラグアイを選んだのです。1934年から土地の調査が行われ、準備が進められました。そして、日本からの移住の前に、まずブラジルから指導移民が入植しました。



■ラ・コルメナまでの道のり

移民たちは船でアルゼンチンのブエノスアイレス港に着きました。その後、河船に乗りかえてアスンシオンの港まで行きました。次に、アスンシオン駅から汽車に4時間ほど乗り、ラ・コルメナに近いイピチミ駅に着きました。さらに駅から10時間以上、牛車にゆられてラ・コルメナに着いたそうです。当時、南米で一番早くつくられた鉄道が、パラグアイを通過していました。



パラグアイ第一次移民を乗せたサントス丸



ブエノスアイレス港から河船でアスンシオン港へ



1939年アスンシオン駅

開拓の様子

移住してきた人たちは、まず収容所^{しゅうようじょ}に入りました。自分の土地^ちが決まると、次の日^{つぎ}からさっそく仕事^{しごと}に取りかかりました。はじめに原生林^{げんせいりん}を切り倒して山焼き^{やまや}をします。今のように機械^{きかい}のない時代^{じだい}だったので、みんな斧^{おの}（アーチャ）だけで仕事^{しごと}に取り組みました。大がかりな作業^{さぎょう}のときには、パラグアイ人の人夫^{にんぷ}をやといました。住むところ^すを建て、井戸^{いど}をほり、山^{やま}を切り開き、道^{みち}をつくり、大変な苦勞^{くろう}をかさね、開拓を進めていきました。

開拓当時の農業

当時パラグアイ政府は輸出^{ゆしゅつ}産業^{さんぎょう}として綿作^{わたさく}に力を入れていました。ラ・コルメナに入植した日本人の多くは綿花^{めんか}の栽培^{さいばい}にたずさわりました。1939年に綿ブーム^{めんぷーむ}が起こり、パラグアイの綿^{わた}は良質^{りょうしつ}であると世界市場^{せかいしやう}でも好評^{こうひやう}を得ました。パラグアイの綿^{わた}の95%は日本人農家^{せいさん}が生産^{せいさん}していました。

開拓当時の日本語学校

1936年8月の入植でしたが、同じ年の11月には日本語学校^{かいごう}が開校し、日本から校長先生^{はげん}が派遣^{はんせん}されました。移住がはじまってすぐに学校が開かれたのです。



土地の調査



綿花の栽培



ラ・コルメナ日本語学校開校式

(2) 戦時中の移住地

1936年にはじまった移住は、その後、第二次世界大戦によって1941年を最後に中断^{ちゆうだん}されました。1942年の1月にはパラグアイと日本との国交^{こくこう}が切れるという不幸な事態^{じたい}になりました。1942年には日本語学校が閉鎖^{へいさ}となり、日本から派遣^{はんせん}されていた先生も帰国させられました。1945年には、日本語学校校舎^{こうしや}の没収^{ぼっしやう}、集会^{しゅうかい}を開くことを禁止^{きんし}されるなど住民^{じゅうみん}の言動^{げんどう}も大幅^{おほはば}に制限^{せいげん}されました。

金澤代津子さん（1941年移住 移住当時3才）

わたしの記憶^{きおく}にあるのは、日本とアメリカの戦争^{せんそう}のはなしばかりでね。田中ドクターさんがラジオ^{らじお}をもって、朝3時おきしていつも情報^{じやうほう}を聞いて、患者^{かんじや}さんが田中さんのところへ行ったら、黒板^{くわくばん}に情報^{じやうほう}を全部書いておいてくれて、それで情報^{じやうほう}がわかったみたい。ラジオは日本の電波^{でんぱ}でした。

鈴木やしまさん（1938年移住 移住当時4才）

戦争が始まって、一番^{いちばん}感じたのは日本からいっさい本^{ほん}が来なくなったこと。だから日本の本を読む楽しみ^{たのしみ}がなくなった。日本語学校にあった教科書^{きょうこしょ}なんかを大事^{だいじ}に大事^{だいじ}に、先生も生徒^{せいと}に教科書^{きょうこしょ}をいためなように厳しく指導^{きびしくしどう}していました。

(3) 戦後の移住地

■移住再開

1945年から1950年代前半まで、日本は敗戦による戦地からの引揚げ者や失業者であふれていました。また土地の不足、食糧不足が発生して社会問題となっていました。それらを解決する一つの方法として、海外移住がすすめられました。

1952年、パラグアイ政府が120家族のラ・コルメナへの移住を許可しました。しかし、ラ・コルメナ移住地には入植に適した土地がわずかしかなかったために、パラグアイ南部のチャベスへの移住が計画されました。チャベス移住地は日本政府ではなく、パラグアイ政府が開いた移住地です。1955年に日本から移住者が到着しました。チャベス移住地への入植がパラグアイ南部への日本人移住の歴史のはじまりです。

■パラグアイ移住最盛期

十分な受け入れ準備が整わないまま、チャベス移住地は入植する土地がなくなり、次々と移住してくる日本人のために新しい入植地が必要になりました。1956年には、日本政府直轄移住地の開設が本格的に進められ、チャベス移住地の地続きとなる1万7000ヘクタール(ha)のフラム(今のラパス)移住地が開設されました。

同じころ、パラグアイ北部アマンバイ地区にも多くの日本人が移住してきました。アマンバイは、コーヒー農園で日本人が雇われるという移住のしかたでした。日本からの移住が進められる中、1957年、ようやくパラグアイと日本の国交が回復し、アスンシオンに公使館が開設されました。



パラグアイ政府が、ラ・コルメナへの移住を許可したのは、戦前に移住した日本人が、一心に農作業にはげみ、パラグアイの発展につくしてきたことの証といわれています。

アマンバイではアメリカ人が経営するコーヒー農園で働くため、約1000人の日本人が移住しました。経営者はブラジルのコーヒー農園でまじめに働く日本人の評判を聞き、日本人が働きに来てくれることを強く希望したそうです。



チャベス移住地 原生林を切り開く



アマンバイコーヒー農園

■大規模移住の始まり

1959年、日本とパラグアイ間で移住協定が結ばれました。これは、その後30年間で8万5000人まで日本から移住してきてもよいという国と国の約束です。これにより、日本移住振興株式会社および日本海外移住協会連合会による大規模移住計画がはじまりました。

1960年に世界最大といわれたアルトパラナ（今のピラポ）移住地（約8万4000ha）、1961年にはイグアス移住地（約8万7000ha）が開設されました。各移住地に海外移住事業団の事業所や移住者受け入れのための収容所もつくられました。しかし、1964年の東京オリンピックを境に、移住してくる日本人の数は減っていきました。

■移住地の農業

移住者はいろいろな農作物の栽培を行いました。トマトやメロンなどの野菜や、ぶどうなどの果物栽培など、各移住地に合った作物を見つけるまで苦労が続きました。南部では1973年ごろから大豆の栽培が増えていきました。大豆の値段が上がったことと、イグアス移住地で不耕起栽培が成功したことが大きな理由です。また、小麦の栽培がさかんなラパス、イグアスに製粉工場がつくられ、地域の産業の発展につながりました。ラ・コルメナ移住地では、果物や野菜づくりが中心の農業が営まれています。日本人移住者がはじめた大豆やトマト、メロンなどの作物はパラグアイ人の農家にも広まり、パラグアイの農業の主要な農産物になっています。

「日本移住振興株式会社」
「日本海外移住協会連合会」
とは何でしょう？

国の政策による移住では、現地の受け入れや入植地の整備、移住者への農業の指導を行う組織が必要になります。それらを行っていた機関です。

1963年には二つが合わさり海外移住事業団になりました。

1973年には国際協力事業団（今のJICA）となり、移住事業から国際協力事業へと方針が変まりました。

1970年代大豆の収穫風景



1970年代トマト栽培



1970年代大豆の脱穀



2018年大豆の収穫風景



2

いじゅうちたんぼう 移住地探訪

パラグアイには6つの移住地があります。
それぞれの移住地の特色や歴史を学ぼう。



■ラ・コルメナ移住地

アスンシオン市の南東130km（パラグアリ^{けん}県）にあります。入植^{にゅうしょく}当時は綿花^{めんか}を中心に育てていました。1965年にアスンシオンに通じる道路（ラ・コルメナ^{どうろ}～アカカイ間）が整備されたことにより、アスンシオンの市場に向けたトマト・ピーマンなどの野菜栽培^{やさいさいばい}がさかんになりました。現在ではぶどうなどの果物栽培^{くだもの}を中心とした農業^{のうぎょう}が行われています。「Capital de las frutas（果物の都^{みやこ}）」ともいわれています。



■チャベス移住地

エンカルナシオン市の北東 20km (イタプア県) にあります。1952 年パラグアイ政府によって、利用されていない大地主の土地が解放され、当時の大統領の名前がつけられました。チャベス移住地は、日本人だけではなく、ドイツ、ロシア、フランス、ウクライナ、ベルギーなど、いろいろな国からの移住者が住んでいる国際的な移住地です。



■ラパス移住地

エンカルナシオン市の北 45km (イタプア県) にあります。1955 年から入植がはじまりました。パラグアイでの大豆発祥の地とされています。1960 年ごろから大豆栽培をはじめています。全体的な大豆ブームは 70 年代からです。もともとは自分の家で食べるための豆腐、みそ、しょうゆの原料としてつくっていました。大豆脱穀機も開発されました。今では、大豆、小麦が生産されているほか、稲作や牧畜も行われています。



■ピラポ (アルトパラナ) 移住地

エンカルナシオン市の北東 72km (イタプア県) にあります。日本人移住地の中で最も大きい移住地です。1960 年、急増する日本からの移住者のために、移住振興会社が 8 万 4000 ヘクタール (ha) の土地を買いました。おもに大豆、小麦のほか、米や果物の生産、牧畜などが行われています。





イグアズ日本語学校

■イグアズ移住地

アスンシオン市の東 286km (アルト・パラナ県) にあります。入植当時は、トウモロコシ、マンディオカ、陸稲などの自給自足的な農業からはじめましたが、1970年代にはトマト、メロンの栽培がさかんになりました。先に植えた作物を収穫した後、ふたたび土地を耕すことなく、そのまま次の作物を育てる「不耕起栽培」のはじまりの地であり、現在は、大豆、小麦を中心に機械化大型畑作をしています。また、イグアズの滝に近いこともあり、日本からの旅行者が多く「観光移住地」としての期待が高まっています。



アマンバイ日本語学校

■アマンバイ移住地

パラグアイ北部、ブラジルにとなり合っている地区です。アメリカ人の経営するコーヒー農園で働くために、約 1000 人の日本人が移住してきました。1959年にそのコーヒー農園が倒産してしまった後は、自営農になったほか、ペドロ・ファン・カバリエロ市に移り、商工業・製材業に関わる人もできました。

アスンシオン市、シウダー・デル・エステ市、エンカルナシオン市の三つの都市にも日系人が多く住んでいます。



アスンシオン日本語学校



エステ日本語学校



エンカルナシオン日本語学校

地区別日系人人口（パラグアイ日本人会連合会人口センサスより 2017年6月）

移住地名	移住	日本語学校	移住の形体	人数
ラ・コルメナ移住地	1936年	○	戦前の移住地	382
チャベス移住地	1953年	○	パ国側移住地	199
ラパス移住地	1956年	○	事業団直営	701
ピラポ移住地	1960年	○	事業団直営	1170
イグアス移住地	1961年	○	事業団直営	853
アマンバイ移住地	1953年	○	雇用農業移住	501
アスンシオン		○		2263
シウダー・デル・エステ		○		443
エンカルナシオン		○		743



3 いっせい みな 一世の皆さんをたずねて

パラグアイに、夢や希望を抱いて移住してきた一世の人々の願いを知ろう。

やまにししろう
山西司朗さんヘインタビュー

アスンシオン^{ざいじゅう}在住
香川県^{かがわけん}出身
1965年移住
移住当時15才



■移住地まで、どのような方法で行きましたか。

両親^{りやうしん}と兄、妹でイグアスに移住しました。わたしたち家族^{かぞく}を含めて6家族で移住してきました。そのとき乗ってきた船はさくら丸でした。ブエノスアイレスから汽車でエンカルナシオンまで、エンカルナシオンからはトラックでイグアスまで行きました。

■そのときの移住地はどんな様子でしたか。また当時の開拓の様子を教えてください。

海外移住事業団^{じぎょうだん}（現在の JICA）が世話^{せわ}をしてくれて、入植地^{にゅうしょくち}を決めてくれました。決められた入植地はジャングルでした。道はできていたけれど、どんどん狭^{せま}くなって行って木がうっそうとしていました。川沿いに仮小屋^{かりこや}をたて、丸太を切り出して自分たちで家をたてました。パラグアイの人たちに頼^{たの}んでジャングルを伐採^{ばっさい}して、乾燥すれば火をつけて焼き、農地^{のうち}をつくっていきました。

■生活の様子を教えてください。

最初に栽培^{さいばい}したのはトウモロコシです。家畜^{かちく}のえさで、すぐにお金になるのです。この当時、自分たちが食べられるのはマンディオカと畑でつくった陸稻（おかば）の米でした。イグアスでは、先に入植した人が水田で米をつくっていたので、米を買うことができました。70年ごろには養豚^{ようどん}もはじめました。繁殖^{はんしよく}から全部自分たちでやり、大きくなればサンロレンソの Ochsi（ハムやソーセージをつくるメーカー）の加工工場に共同で運んでいき売りました。

■イグアスでの思い出を教えてください。

家族は農業をやっていたのですが、私は農協で仕事をしていた時期もあります。青年団に入っていたころは、日本から来る映画のフィルムがみんなの楽しみでした。倉庫や車庫を借りて、その上映会をやっていました。農協の総会は、夜中まで会議が続くことがありました。みんな自分たちの生活がかかっているから、真剣に話し合っていました。

■日本人学校、日本語学校で学ぶ子どもたちにメッセージをお願いします。

夜空には、数多の星が輝いていますが赤き星もあれば、白く輝く星もある。どれ一つ同じ輝きを放つものはありません。人も同じです。それぞれが違います。あなたでなければできないことがあります。一度きりの人生です。後悔しないようにあなたの人生を生きてください。

聞いてみよう！開拓の様子 Aさんの話

まず原生林から使える木材を切り出し、下刈りをして、斧で大きな木を倒します。大木を切り倒すときが一番危険でした。これで命を落とした人もいます。次に枝打ちをして木を地面に降ろし、乾燥させ火を入れ、「山焼き」をします。「山焼き」のとき、よく乾燥していなかったり、天候が悪かったりすると「不焼け」になります。「不焼け」になると、もう一度株から芽を出させて「再生林」にして、「山焼き」をやり直さなければなりません。焼け跡を整理して、畑にマيس（トウモロコシ）やマンディオカを植えました。

今のように機械のない時代でしたので、みんな斧だけで仕事に取り組みました。大がかりな作業のときには、パラグアイ人の人夫を雇いました。土に残った根を掘り出す作業（抜根）も大変でした。夜はドラム缶でつくったお風呂に入りました。近くの森からは猛獣の鳴き声が聞こえてきて、子どもたちが怖がりました。空には満天の星が輝いていました。

（私たちのパラグアイ 第2版より）

イグアス ^{ざいじゅう}在住
^{くもとけんしゅっしん}熊本県出身
1975年移住
^{いじゅう}移住当時 28才
^{ふうふ}ご夫婦で移住



■なぜ、^{のうぎょう}農業をめざしたのですか。

家は「はきもの屋」をしていたけど、「食っていくためには農業が一番」ということで農業をめざしました。大学はまよわず東京農業大学、日本でただ一つの「^{たくしよく}拓殖学科」に入りました。そのころから、広い海外への夢があったのでしょね。海外移住研究部に入り、大学3年生のときには南米の農場を回りました。そのときにパラグアイにも行きました。

■イグアスに着いたときは、どんな気持ちでしたか。

パラグアイのイグアス移住地には、東京農業大学の^{すぎのきょうじゅ}杉野教授の^{じっせん}実践農場として、「杉野農場」がすでに開設されていました。わたしたちもその農場に^と飛びこみ夢を追ったのです。ぼくは飛行機での移住で、新移住者のくちですね。イグアスに着いた時は「さあやってやるぞ」という気持ちでいっぱいでしたね。

■どのような作物を栽培しましたか。

杉野農場は1年で解散。^{かいさん}もって行ったお金はなくなったので、^{のうきょう}農協でお金を借りてトマトづくりに^と取り組み、なんとか生活できるようになりました。おまけに、日本からもっていった12品種のメロンのうち、一つの品種がパラグアイの気候に合い良く育ったのです。それからは、トマトとメロンが中心で、^{ひっし}必死に^{はたら}働きました。

■夢を教えてください。

もっとあまくて日もちのよいメロンをつくるのが夢です。日もちがすると輸出できるでしょう。輸出できる、そして箱に入れて売る「堤ブランドメロン」を育てていきたいです。

■日本人の移住について、どのように感じますか。

移住地はもともとジャングルだったのが、日本人が移住して開拓してからパラグアイ人が集まってきたのです。野菜栽培や大豆を普及したのも日本人です。自分が食べていくために移住したが、自分のためだけではなく、パラグアイのためになっていると感じます。

■日系人の若者にどんな願いをもっていますか。

自分は「ふる里づくり」のつもりで、ここイグアスで農業をやってきました。「ふる里づくり」は大体できてきています。若者にはここを引き継いでほしいですね。若者自身が仕事をつくっていくことが大切なので、出ていってしまっただけで移住地に若者が残らないのは残念です。イグアスの歴史を知って、若い人なりの考えをもった移住地づくりをしてほしいと思っています。

■日本人学校・日語校の子どもたちにメッセージをお願いします。

ここパラグアイに住んでいるあなた方は、日本とはまるで価値観の異なる中でくらしているわけです。でもこの国に滞在したことは、将来を生きる上で、一つのチャンスになるかもしれません。人が生きている分、みんな考え方が異なっていて、それが当たり前だという判断のものの考え方をしっかり知り、そしてなおかつ、自分の考えを相手に伝えられる人になることこそ大切なことと思います。がんばってください。

聞いてみよう！移住のきっかけ

- Aさん わたしは農家の三男でした。家は兄が継いだので、わたしは広い土地にあこがれて移住してきたのです。
- Bさん わたしは兵隊でした。戦争に負けて1年半後に日本に戻りましたが、日本はみんな苦い生活をしていました。そこで夢と大きな可能性のある南米を選んで移住してきました。
- Cさん 家は東北地方の農家でした。ある時、県が移住をすすめるスライドを公民館で見せてくれたのです。兄弟も多く、貧しいくらしでしたから、このまま日本にいるよりは移住してがんばろうと考えたのです。

(私たちのパラグアイ 第2版より)

聞いてみよう！移住したころのくらし

関淳子さん 1936年移住 移住当時1才

食べ物には苦労して、やはり最初の年は野菜がないものですから、野菜の代わりにタンポポでもなんでも口に入る青物など、いろいろなものを口にしていたのを覚えています。苦くて食べられなかったのも記憶しています。日本人ってのは、野菜を必要としますからね。

(かたりベ ラ・コルメナ 移民一世たちの記憶より)



4 かつやく につけいじん みな 活躍する日系人の皆さん

パラグアイの中での、日系人の皆さんの活躍を知ろう。

■ のうぎょう 農業での活躍

パラグアイの日系人の約半数が農業を営んでいます。移住してきた人々はいろいろな作物を試行錯誤しながら栽培し、各移住地の特色を活かした農業が定着してきました。特にパラグアイ南部では、大型農業機械を使い、広大な農地で夏には大豆、冬には小麦を栽培する農業が営まれています。日本人移住者がはじめた大豆栽培は、パラグアイ人の農家にも広まり、パラグアイの主要農産物となっています。また今では、新鮮な野菜や果物が店に並んでいます。それらの作物も日本人の移住者がはじめ、パラグアイの農業に広まったものです。日系人の農業がパラグアイの食卓を変えたともいわれています。牧畜ではチャコ地方では大規模な肉牛飼育牧場を営んでいる人や、アスンシオン市の近くで和牛の生産にチャレンジする日系人がいます。様々な農業分野で日系人農家の皆さんが活躍しています。

■ としぶ 都市部での活躍

アスンシオンやエンカルナシオンなどの都市に移って商工業を営む人も多く、スーパーマーケット、レストラン、旅行会社、修理工場などの経営、農機具販売、保険、金融、両替商の分野で活躍される方も多くいます。また、弁護士、会計士、医師、歯科医師などの専門職につく人、石油公団総裁、農牧省副大臣などの政府の重要な職につく二世の方も出てきています。今後も、様々な分野での日系人の皆さんの活躍が期待されています。

聞いてみよう！日系人の活躍

移住地で農業をする方々のほか、アスンシオン、シウダー・デル・エステ、エンカルナシオンなどの都市で活躍する日系人の方々がいらっしゃいます。

ジェミタ (Yemita)

イタ市 30km^{ようけいぎょう}で養鶏業を営んでいるのは前原^{まえはら}さんです。アスンシオンやパラグアイ全国に向けて毎日たくさんの卵^{たまご}を出荷しています。

トヨトシ (Toyotoshi)

自動車販売を中心とした会社を営んでいるのが豊歳^{とよとし}さんです。創業時^{そうぎょうじ} 5名だった会社は、今では 700 名以上の会社になりました。日本のトヨタというメーカーの自動車をおもに扱っています。

白沢グループ (Shirosawa)

食品・加工販売^{はんばい}や様々な作物の栽培に取り組み、輸出産業^{しゅつぎょう}に成長させました。サン・ペドロの農家にゴマの生産をすすめて、収穫^{しゅうかく}したゴマをおもに日本へ輸出しています。また、パラグアイで初めて落花生^{はじらっかせい}の生産も行いました。

カサ・ニッセイ (Casa Nissei)

1985 年、グスタボ・三浦社長がエステ市に創業した電化製品小売業^{でんかせいひんこうりぎょう}です。グループ全体で約 300 人の従業員^{じゅうぎょういん}をパラグアイ・ブラジル・アルゼンチンから直接雇用^{ちやうくう}しています。

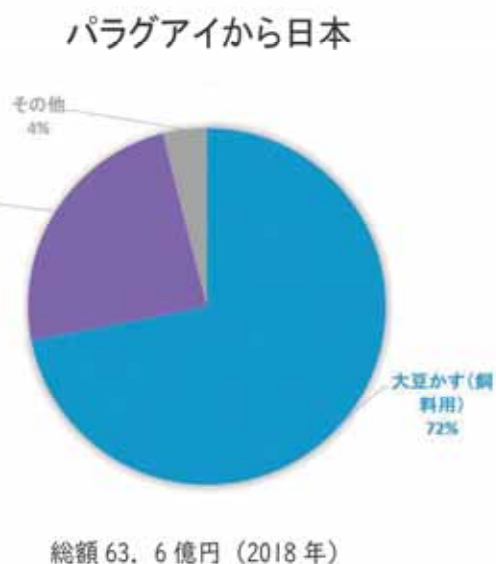
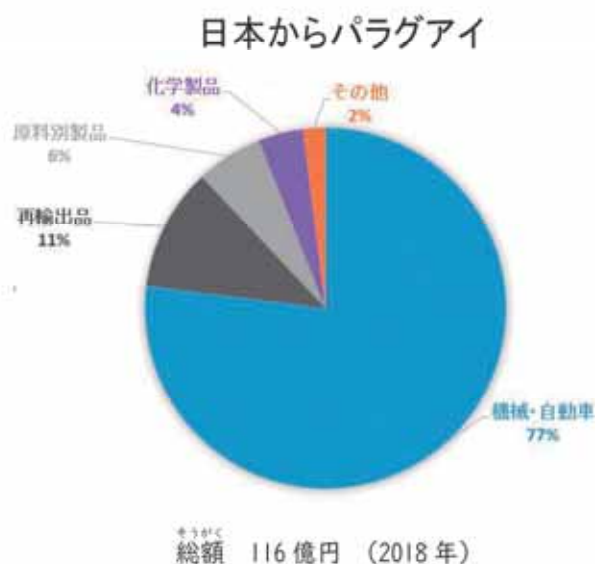




5 日本とパラグアイの^{けいざい}経済・文化交流

日本とパラグアイの^{ぼうえき}つながりで、貿易や^{ぎじゆつ}経済、技術協力、そして文化交流にはどのようなものがあるのか調べてみよう。

(I) パラグアイと日本との貿易関係



財務省貿易統計より (<https://www.customs.go.jp/toukei/info/>)
検索ページでパラグアイ国番号 411 を入れると、調べられます。



(2) 経済協力

日本は、1959年から現在まで、パラグアイの国の発展のため、経済・技術協力を実施してきました。経済協力には、いくつかの種類があります。

有償資金協力

パラグアイ政府に長い期間、安い利子でお金を貸し、国の発展に必要な施設をつくるものです。

これまでのおもな有償資金協力

衛星通信地上局（パラボラアンテナ） （国際通信のための施設）	エステ市空港建設
アカアイ〜ラ・コルメナ道路建設	送電・配電施設建設
	農業部門強化事業

2019年前後の有償資金協力

地方道路整備事業	東部輸出回廊整備事業
----------	------------

地方道路整備事業

地方から市場への農産物輸送や住民の学校・病院訪問が効率よく行われるため、合計で約350kmの地方道路を整備する事業を行っています。

東部輸出回廊整備事業

農産物（穀物）の輸送が効率よく行われるために、約150kmにわたるパラナ川沿いの舗装道路を整備する事業を行っています。

無償資金協力

国の発展や人々の生活に必要な施設や物をつくり、お金を返してもらう必要のない協力です。

これまでのおもな無償資金協力

職業訓練センター	アマンバイ地域医療センター建設
南部パラグアイ農林業総合開発センター	アスンシオン大学獣医学部拡充
中央医療研究所、熱帯病病院建設	人造りセンター

2019年前後の無償資金協力

パラグアイ川浚渫（しゅんせつ）機材整備計画

※浚渫とは 水深を深くするために、海底、河底などの土砂を削ること

パラグアイ川浚渫（しゅんせつ）機材整備計画

パラグアイには海がないので、河川を使った輸送は最も重要な輸出入の方法です。特にパラグアイ川ーパラナ川を通る輸送は近年増えています。しかし、河底にたまった土砂が、スムーズな輸送のさまたげとなっていました。この事業では、河底にたまった土砂を取り除くための船や機材の整備を行います。その結果、年間を通して輸送船を運航できるようになり、パラグアイや南米地域の輸送がはかどるようになることを目的としています。

(3) 技術協力

パラグアイ人の研修員受け入れ

パラグアイ人が日本に行って、技術の研修を受けます。教育、医療、福祉、農業、工業、産業、環境保全など幅広い分野で各種研修を実施しています。1959年からはじまり、2018年までに4249人が日本を訪れ、日本の技術を学びました。

資料 2014年～2018年の受入れ実績

年度	2014	2015	2016	2017	2018
人数	101名	62名	56名	66名	32名

日本人専門家による技術指導

様々な技術をもった日本人がパラグアイに来て、技術協力・開発協力を行っています。農業・畜産・中小企業振興・検定・検査技術向上・職業能力促進・看護・助産教育など、様々な分野で活躍しています。

ボランティア事業

日本からパラグアイへのボランティアの派遣は1978年にはじまりました。南米では最初に日本からのボランティア隊員を受け入れました。これまでに1750名をこえるボランティアが派遣されてきました。現在は日本語教師、小学校教諭、看護師、コミュニティ開発、家畜飼育、スポーツ指導など約50名のボランティアが活動しています。パラグアイ日系社会への支援と協働を目的に、日系社会ボランティアも派遣されてきています。

区分	海外協力隊	日系社会海外協力隊	合計
派遣中の人数	40名	10名	50名

2019年のデータ

技術協力プロジェクト

専門家派遣、研修員受け入れ、機材 供 与などを総合的にまとめたものを技術協力プロジェクトと呼びます。

2019 年前後の技術協力プロジェクト

小 規模農家の輸出農作物安全性向上プロジェクト

東部地域・酪農振興のための農業研修拠点の形成と人材育成支援プロジェクト（草の根技術教育 / 帯広畜産大学）

パラグアイ農村女性生活改善プロジェクト：横浜からともに夢をつむぐ（草の根技術協力 / 横浜国立大学）

ジャスレタダム湖隣接地域総合開発調査プロジェクト

家畜衛生対策強化アドバイザー

産業界のニーズに応える高度技能人材育成プロジェクト

プライマリーヘルスケア対策強化アドバイザー

小規模農家の輸出農作物安全性向上プロジェクト

パラグアイの農家は、約 85 パーセントが土地所有面積 20 ヘクタール (ha) 未満の小規模農家です。1990 年代にゴマの栽培が広がりはじめ、日本にも多く輸出されるようになりました。しかし、2009 年に日本での輸入時検査において、パラグアイ産のゴマから日本の基準値をこえる残留農薬が検出されるという問題が発生したのです。そのため、パラグアイ産ゴマの競争力が下がってしまいました。この技術協力プロジェクトは残留農薬問題を解決し、パラグアイのゴマの品質を向上させ、安全性を確保するためにたちあげられました。残留農薬を測るための機械を供与し、専門家を招いて農産物の生産・流通・検査・輸出の指導をしています。

JICA のホームページ ODA 見える化サイト (<https://www.jica.go.jp/oda/>) で、いろいろなプロジェクトを調べてみよう。



(4) 文化交流

日本の文化をパラグアイへ

日本国大使館が主催する「日本文化月間」などの文化事業、国際交流基金主催の展示会やコンサートを通じて、様々な日本文化が紹介されています。特に、2019年には、日本-パラグアイ外交関係樹立100周年を記念して多くのイベントが催されました。伝統的な日本文化では、生け花、書道、武道、和太鼓への関心が集まっています。このほかにアニメやマンガ、コスプレなどの日本発のポップカルチャーの人気の若者の間で高まっています。



パラグアイの文化を日本へ

パラグアイから日本への文化発信で、代表的なものはアルパ（パラグアイ・ハープ）です。パラグアイ人演奏家、日本人演奏家がそれぞれ相手国で演奏を行うなど交流が進展しています。2019年には、東京で日本-パラグアイ外交関係樹立100周年を記念し100台のアルパコンサートが開催されました。また、2012年より毎年東京でパラグアイフェスティバルが開催されており、アルパ、ニャンドウテイのほか、アサード、チパなどの食文化を日本に紹介しています。



6 パラグアイにある日本の機関

日本とパラグアイを結ぶ仕事には、どんな仕事があるのかな。

(1) 大使館 (在パラグアイ日本国大使館)

日本大使館は基本的に各国の首都におかれ、その国に対して日本政府を代表するものです。2020年1月現在195か国に日本国大使館があります。おもな仕事は、次のようなものがあります。

1. 相手国と国際社会での協力について話し合い、取り決める。
2. 相手国と経済協力や技術協力について、いろいろな取り決める。
3. 政治・経済その他のほかの情報を集め、分析する。
4. 日本を正しく理解してもらうための広報文化活動を行う。
5. 日本人の生命、財産を守り、パスポートの作成などのサービスを行う。



コラム 在外選挙って？

海外に住んでいる日本人が、外国にしながら国政選挙に投票できる制度を「在外選挙制度」といいます。在外選挙を行うため、投票用紙を日本から取り寄せ、記載済みの投票用紙を日本に届けることなども大使館の仕事です。

ここでは、5の仕事について詳しく見ていきましょう。この仕事はおもに大使館の中の領事部というところで行われています。

～領事部の仕事～

- ① パスポートをつくるなどの領事サービス
 - ・ 在留届の受付
 - ・ パスポートをつくる
 - ・ 出生届、死亡届、婚姻届などの受付
 - ・ 在外選挙
 - ・ 外国人が日本に入国するためのビザを発行する
- ② 日本人や日本企業の安全や財産を守る仕事
- ③ 日系人への支援
- ④ 日本人学校への援助



(2) JICA (独立行政法人国際協力機構) Japan International Cooperation Agency

国際協力機構 (JICA ジャイカ) とはいったい何をしているところでしょうか。

日本政府の開発途上国支援 (政府開発援助 ODA) を実施する機関
ODA Official Development Assistance

やさしい言葉でいうと

「日本政府が発展のとちゅうにある国に対して約束した援助を、日本政府の代わりになって実行する」機関です。

JICAには大きくわけて6つの仕事があります。

(PI46～PI49「5 日本とパラグアイの経済・文化交流」も参照してください。)



① 開発途上国への技術協力

相手国の研修員を日本に受け入れ、また相手国に専門家を派遣することで、国の発展に向けた能力向上を支援します。

② 有償資金協力

銀行で借りるより安い利子で、開発途上国に資金を貸すことにより、道路や橋、発電所、空港など必要な施設をつくり、その成長・発展を支えます。

③ 無償資金協力

事業に必要なお金を援助する協力です。援助したお金は返してもらいません。学校、病院、井戸、道路をつくることや、医療機材や教育訓練機材などの調達にあてられます。

④ 国際緊急援助

海外で大規模な災害が発生した場合、要請に応じて日本政府の決定のもと国際救急援助隊 (具体的には医者、消防隊など、日本の災害の現場でも活躍する人) を派遣します。被災者の捜索や救出、災害からの復旧活動に取り組みます。

⑤ 調査・研究

開発途上国への国際協力プロジェクトを成功させるための研究を行っています。

⑥ 市民参加協力

青年海外協力隊派遣などのボランティア事業。そのほか NGO、自治体、大学などによる国際協力活動への参加を支援しています。

JICA の日系社会支援・連携事業

全世界で約 360 万人いる移住者・日系人は様々な分野で活躍し、移住先国の発展や、日本との「懸け橋」として重要な役割を果たしています。こうした日系社会が日本とのより強い絆になっていくよう、JICA は日系社会との連携・協力のための事業を行っています。

- ・ 日系社会海外協力隊（日本語教育 高齢者介護 スポーツ分野など）
- ・ 日系社会研修
- ・ 日系社会次世代育成研修
- ・ 日系社会リーダー育成事業

JICA パラグアイ事務所に勤めている 井川晴彦さんにインタビュー

JICA の仕事をするのに必要なことはどんなことだと思いますか。

- ① だれかのために何かをしたいという気持ち
- ② 海外で働くので、言葉ができるとういことです。自分はこの分野で何かができるという強み
- ③ 専門家、ボランティアなどの国際協力を行う人の活動が進むように、調整し実行に移す行動力



仕事をする上で大切にしていることはどんなことですか。

日本は何をすべきか、何を協力できるかを考えて実行に移すことが私の仕事です。相手国は何を必要としているかを、相談しながら一緒に考えていくことを大切にしています。

日本人学校・パラグアイの日系人の子どもたちに願うことは何ですか。

日本人でも、日系人でも、パラグアイ人でも、自分のアイデンティティをしっかりとった上で相手の事も考えられるようになってほしいです。

参考資料

日本語資料

- アスンシオン日本人学校編『アスンシオンに生きる』アスンシオン日本人学校、1994。
- アスンシオン日本人学校編『パラグアイ』アスンシオン日本人学校、1990。
- アスンシオン日本人学校編『わたしたちのパラグアイ』アスンシオン日本人学校、2003。
- アスンシオン日本人学校編『わたしたちのパラグアイ 第2版』アスンシオン日本人学校、2014。
- ウィキペディア「イタイブダム」
<https://ja.wikipedia.org/wiki/イタイブダム>
- かたりベ ラ・コルメナー移民一世たちの記憶―(DVD)2013、2014。
- パラグアイ日本人移住五十周年記念祭典委員会・記念誌編纂委員会編『パラグアイ日本人移住五十年史「栄光への礎」』
パラグアイ日本人移住五十周年記念誌刊行委員会、1987。
- パラグアイ日本人会連合会編『パラグアイ日本人移住70年誌「新たな日系社会の創造」』パラグアイ日本人会連合会、
2007。
- パラグアイ日本人会連合会編『パラグアイ日本人移住80周年記念誌「変わりゆく日系社会」』パラグアイ日本人会連合会、
2017。
- パラグアイ日本人会連合会「日系人人口センサス 調査日2017年6月30日」
- 石田直裕「パラグアイの最近の経済情勢について～経済成長をつづけるパラグアイにおける投資優位性～（パラグアイ・
ビジネスセミナー石田在パラグアイ日本大使プレゼン資料）」2018。
<http://jp.camaradojapao.org.br/upload/files/パラグアイ・ビジネスセミナー石田在パラグアイ日本大使プレゼン資料.pdf>
- 外務省「南米南部共同市場（メルコスール）」<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/latinamerica/keizai/mercosur/index.html>
- 在日パラグアイ共和国大使館「経済と貿易」http://www.embapar.jp/ja/paraguay/economy_and_commerce/
- 財務省「財務省貿易統計」<https://www.customs.go.jp/toukei/info/>
- Think Daily「ゴミが楽器に パラグアイのリサイクルオーケストラが来日」<http://www.thinktheearth.net/jp/sp/thinkdaily/news/education/1096recycle-orchestra.html>
- 『新編 新しい社会 歴史』東京書籍、2016。
- 田島久蔵、武田和久編『パラグアイを知るための50章』明石書店、2011。
- 独立行政法人国際協力機構「JICAと中南米日系社会」https://www.jica.go.jp/regions/america/ku57pq0000207h3n-att/pam-phlet_201903.pdf
- 独立行政法人国際協力機構「JICA PROFILE (2019)」
https://www.jica.go.jp/publication/pamph/about/ku57pq00002r32s-att/jica_profile.pdf
- 独立行政法人国際協力機構「ODA見える化サイト」<https://www.jica.go.jp/oda/>
- 松本達也著『南米大陸メルコスール（南米共同市場）の挑戦』キャンパスシネマ、1998。
- 村上雅博「パラナ川とイタイブ・ダム：国際河川の水資源開発と水環境管理の試金石」『水文・水資源学会誌』Vol.8, No.6
pp.602-607、1995。https://www.jstage.jst.go.jp/article/jishwr1988/8/6/8_6_602/



■ スペイン語資料

- ABC Color. "Creció el volumen de basura que se genera en Asunción". 5 de Febrero de 2013. <https://www.abc.com.py/edicion-impresa/locales/crecio-el-volumen-de-basura-que-se-genera-en-asuncion-535696.html>
- ABC Color. "Preocupa cantidad de basura que se genera". 9 de Agosto de 2019. <https://www.abc.com.py/edicion-impresa/locales/2019/08/09/preocupa-cantidad-de-basura-que-se-genera/>
- DINAC. "INFORME ESTADISTICO DEL TRANSPORTE AÉREO ENERO a DICIEMBRE 2018". http://www.dinac.gov.py/estadisticas/aisp_estadisticas_2018.pdf
- DGDEEC. "PARAGUAY Proyecciones de población nacional, áreas urbana y rural, por sexo y edad, 2019". https://www.dgeec.gov.py/Publicaciones/Proyecciones%20departamentos/2019/11_Central_2019.pdf
- DGDEEC. "PARAGUAY. PROYECCIÓN DE LA POBLACIÓN POR SEXO Y EDAD, SEGÚN DISTRITO, 2000-2025 Cuadro 01". <https://www.dgeec.gov.py/microdatos/indicador.php?ind=MTY=>
- Embajada de la República del Paraguay en Japón. "100 Arpas Paraguayas en Tokio, Japón". <http://www.embapar.jp/100arpas/>
- Enciclopedia Virtual Paraguay. <http://www.portaleducativo.gov.py/index.php?title=EstuSoci4toGradoUnidad7>
- Geografía del Paraguay*. Editorial Atlas. 2018.
- Grupo Editorial Atlas. "Catálogos". <http://grupoeditorialatlas.com/wp-content/uploads/catalogos/Catalogo-Editorial-Atlas-Educacion-Ana-hi-Estudiantes-2018.pdf>
- Itaipu Binacional. "Energy". <https://www.itaipu.gov.br/en/energy/energy>
- Ministerio de Relaciones Exteriores del Paraguay. <https://www.mre.gov.py/>
- Orquesta de Reciclados de Cateura. <https://www.recycledorchestracateura.com/>
- Pedro Gómez Silgueira. *Descubriendo Asunción*. Editorial en Alianza. 2019.
- Terminal de Ómnibus de Asunción. <http://toa.asuncion.gov.py/>
- The World Bank Data. "Paraguay". <https://donnees.banquemondiale.org/pays/paraguay?view=chart>
- Weather Atlas. <https://www.weather-atlas.com/es/paraguay/asuncion-clima#temperature>
<https://www.weather-atlas.com/es/japon/tokyo-clima>
- Wikipedia. "Anexo: Autoridades de Paraguay". https://es.wikipedia.org/wiki/Anexo:Autoridades_de_Paraguay
- Wikipedia. "Elecciones generales de Paraguay de 2018". https://es.wikipedia.org/wiki/Elecciones_generales_de_Paraguay_de_2018
- Wikipedia. "Silvio Pettrossi International Airport". https://en.wikipedia.org/wiki/Silvio_Pettrossi_International_Airport



協力機関名・協力者名

海外子女教育振興財団協賛 AG5プロジェクト アスンシオン日本人学校副読本製作事業
協力機関名・協力者名（あいうえお順、敬称略）

アスンシオン日本語学校
アスンシオン日本人会
アマンバイ日本語学校
イグアス日本語学校
イグアス農業協同組合
エステ日本語学校
エンカルナシオン日本語学校
在パラグアイ日本国大使館
JICAパラグアイ事務所
田中秀穂写真記念館（ラ・コルメナ移住地）
全パラグアイ日系人教育推進委員会
チャベス日本語学校
ピラポ日本語学校
パラグアイ日本人会連合会
ラ・コルメナ日本語学校
ラパス日本語学校
Centro Educativo Campoverde（カンポベルデ校）
Colegio Japonés Paraguay（日本パラグアイ学院）
Colegio Nacional Vicente Ignacio Iturbe（イツルベ校）
Colegio Nihon Gakko（ニホンガッコウ）

Cuerpo de Bomberos Voluntarios de Asunción, La
Estación de la Plaza de las Américas
Cuerpo de Bomberos Voluntarios de Nueva Italia
Delicias Japonesas, Fernando de la Mora
Delimarket, Shopping del Sol
EMPO（カテウラゴミ処理場）
ESSAP, Planta de Tratamiento de Viñas Cué
（ビニヤスクエ浄水場）
Policía Nacional Comisaría 10ª Asunción
Superseis, Paseo La Galería
Wasabi Bento

井川晴彦
大前由美子
菊池明雄
田邊一樹
堤広行
林二三雄
山西司朗

執筆者および担当か所

第1部

1-①、1-②、2-①、2-② 田中宏昌 教諭
3-①、3-②、4-①、4-② ブラッシュ鳥越智美 教諭
5-① 金元弘子 教諭 5-② 大家光洋 教諭

第2部

第1章 大家光洋 教諭
第2章、第3章 加藤雅亮 校長
第4章、第5章、第6章 伊原達也 教諭
第7章 金元弘子 教諭

監修： 中央大学 森茂岳雄 東京学芸大学 見世千賀子
文章校正： 鈴木清美 平岩佐江子
校内協力： 岸田省一 田村能子
写真協力： Photo Writer かどまどか
装丁・デザイン： Creamost S.A., Sofia Bittinger（グラフィックデザイン）
Creamost S.A., Maria Belen Andrada（イラスト）

『わたしたちのパラグアイ 第3版』

発行: 2020(令和2)年3月
発行者: アスンシオン日本人学校 (Colegio Japonés en Asunción)
住所: Mayor Perencio Merlo y Cnel. Alejo Silva, Asunción - Paraguay
電話番号: +595-21-660-499 / +595-991-410-640
Eメール: asuncoljap@tigo.com.py / coljapenasu@gmail.com
ウェブサイト: <https://coljap2blog.wordpress.com/>





アスンシオン日本人学校